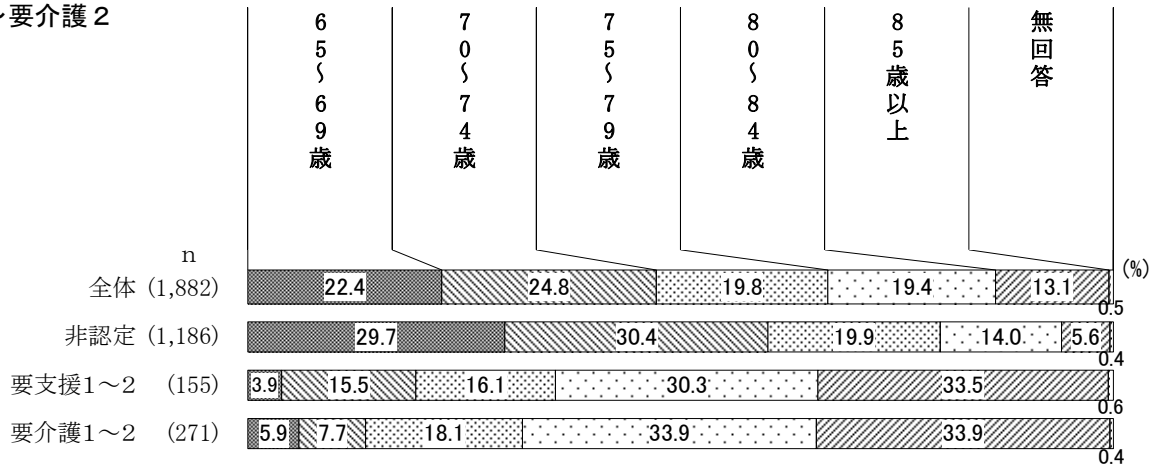


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

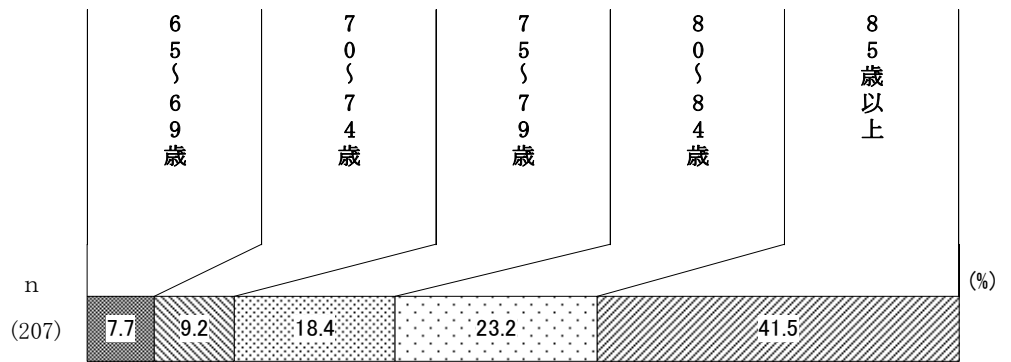
1. 基本属性

(1) 年齢

非認定～要介護2

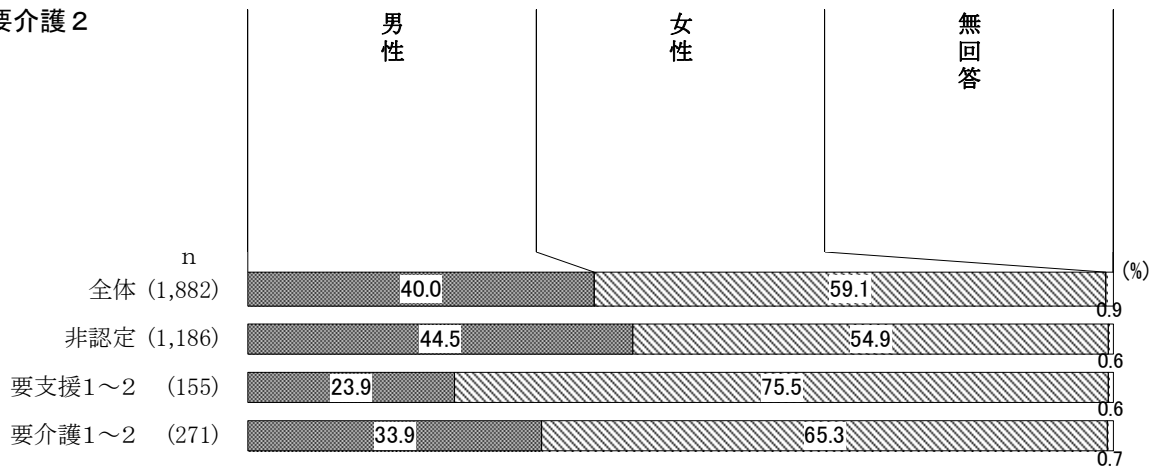


要介護3～5

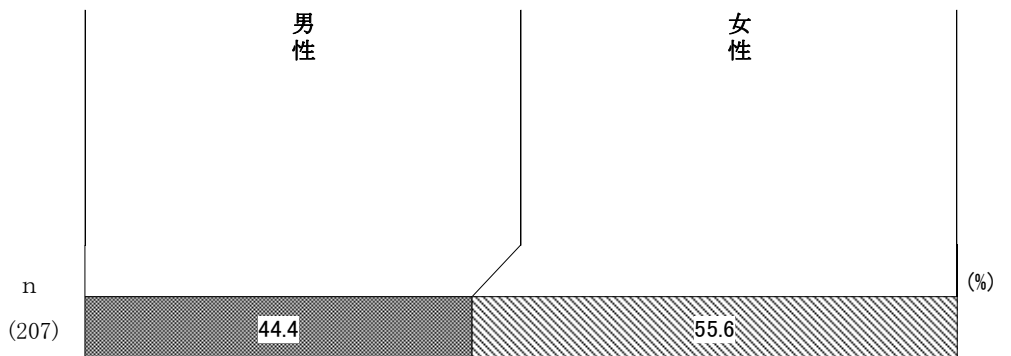


(2) 性別

非認定～要介護2



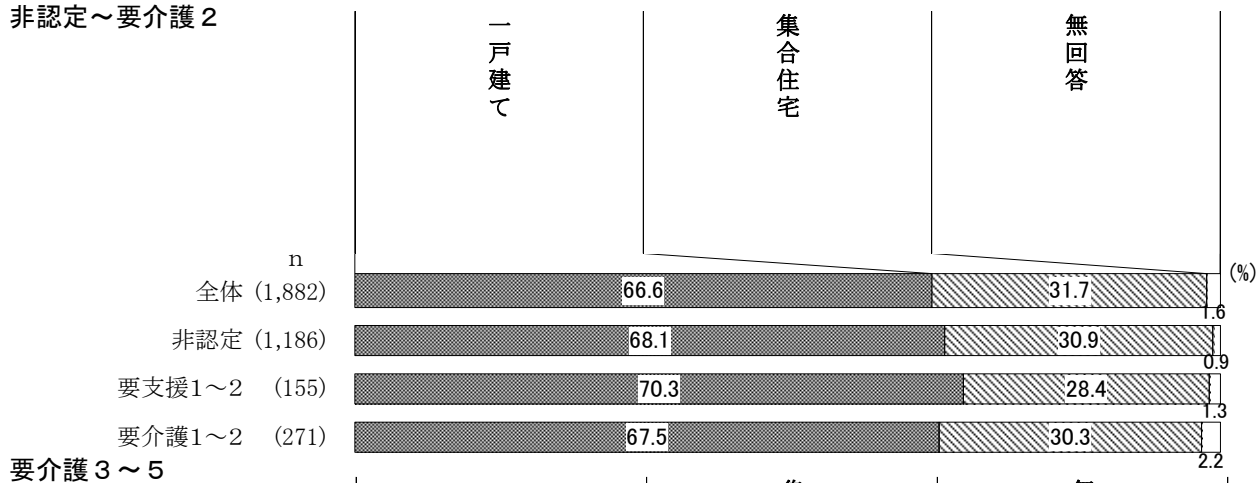
要介護3～5



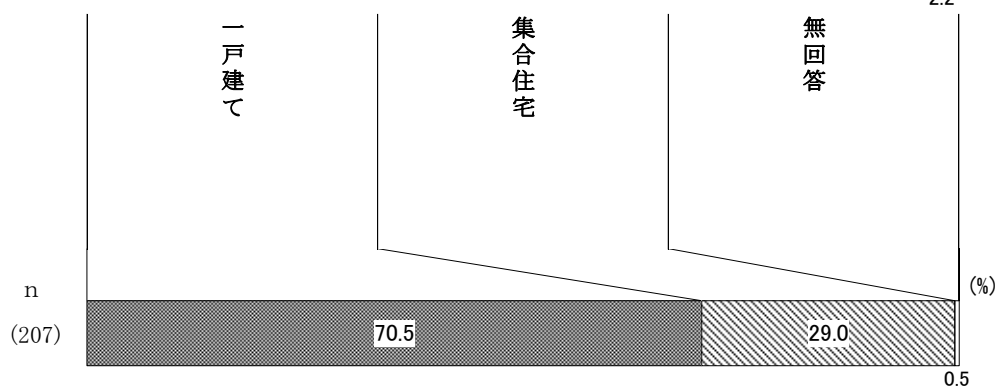
(3) 住まい

【戸建て／集合住宅】

非認定～要介護2

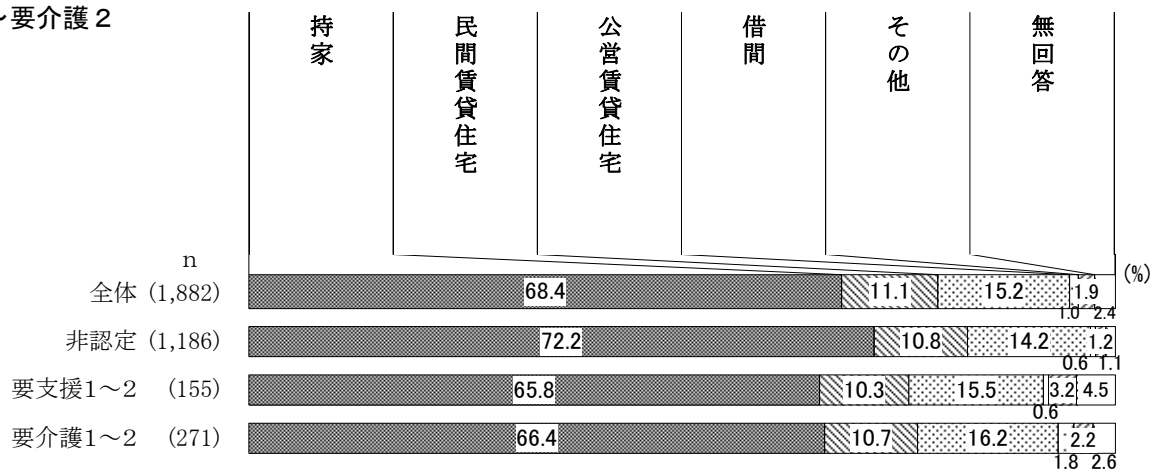


要介護3～5

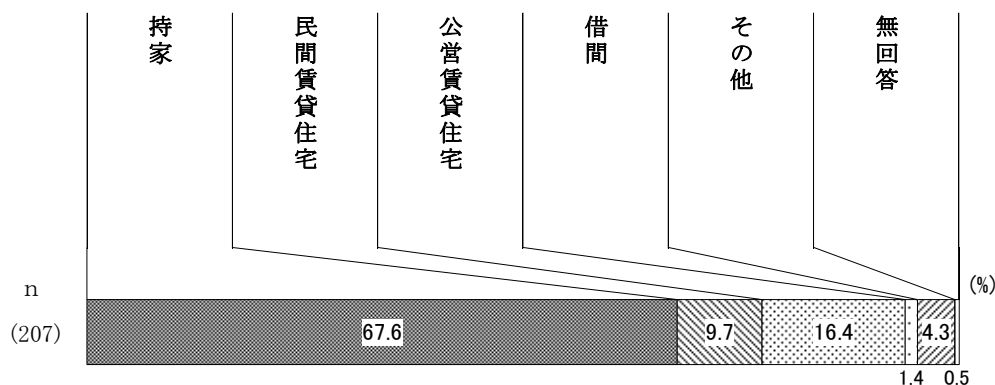


【持ち家／賃貸】

非認定～要介護2

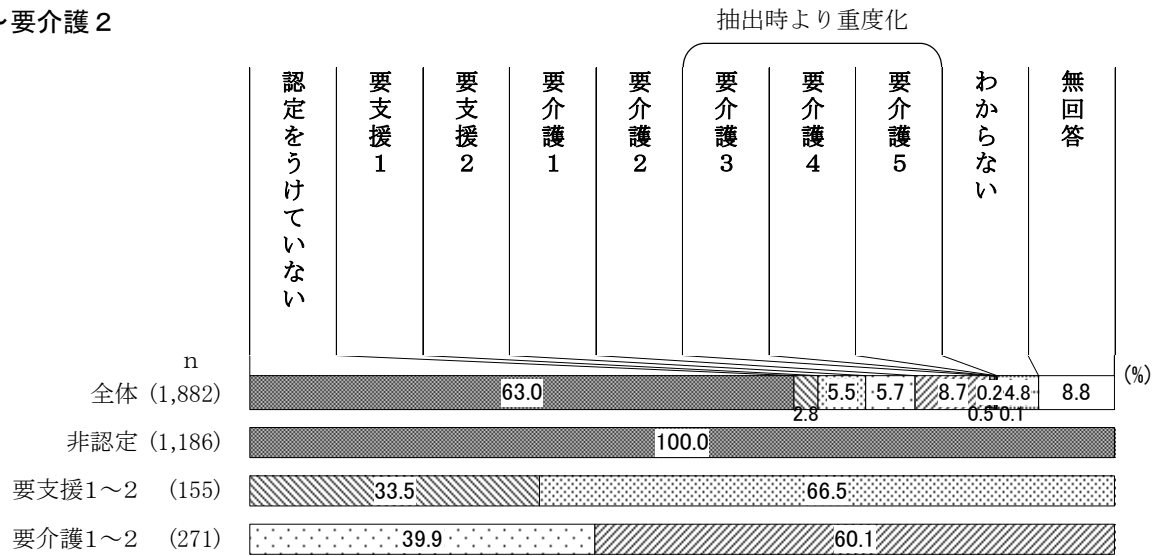


要介護3～5

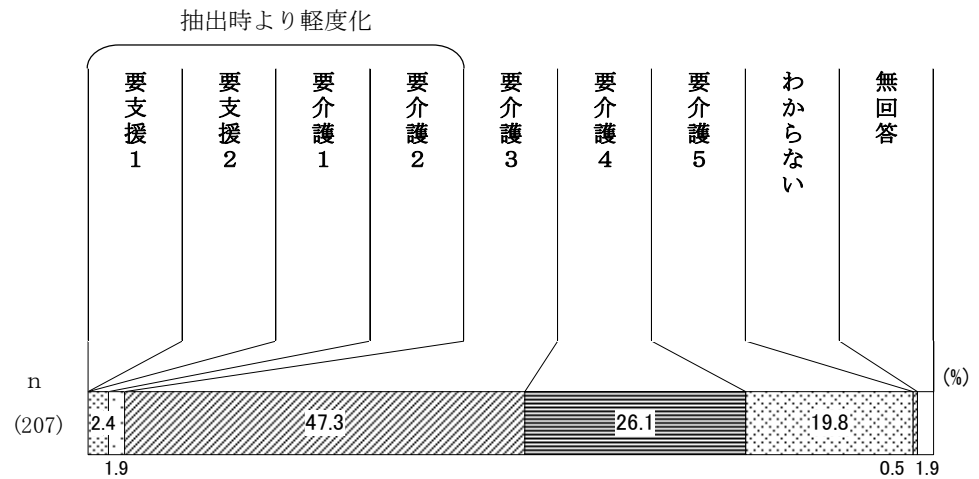


(4) 要介護度

非認定～要介護2



要介護3～5

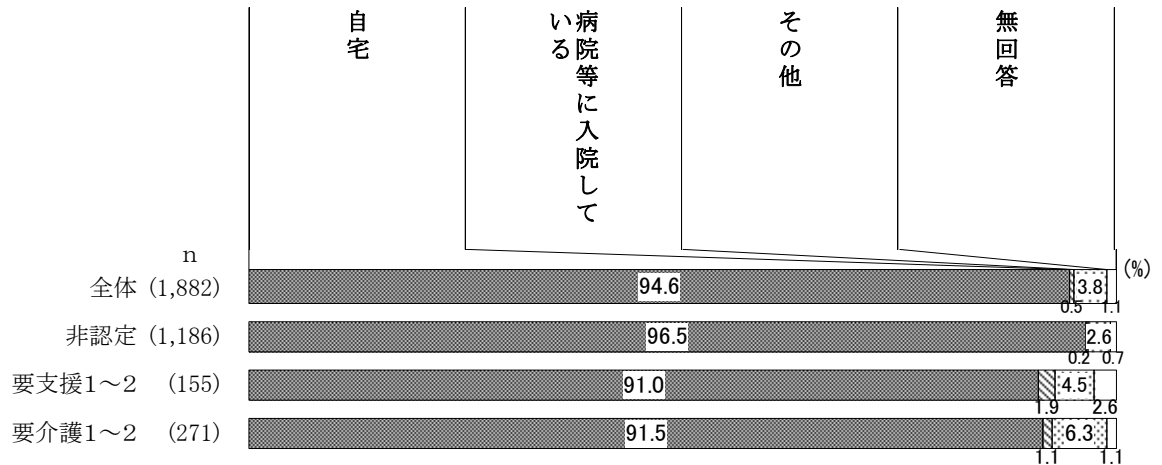


2. 生活の状況

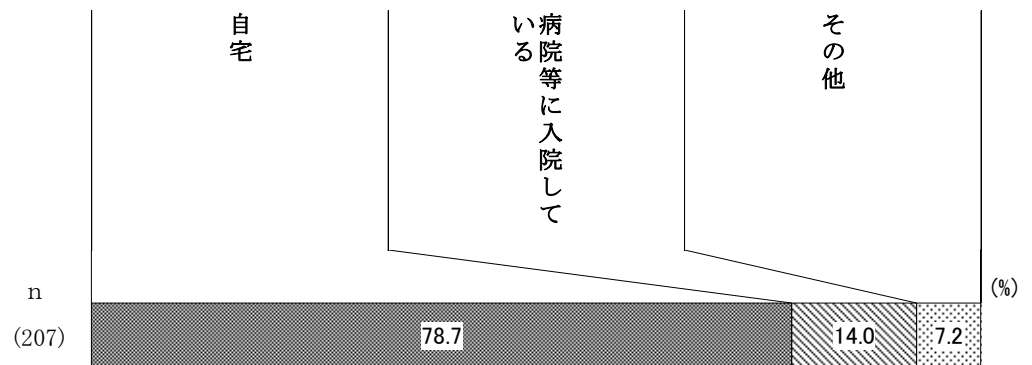
(1) 現在の居場所

問1 あなた（あて名ご本人）は、現在どちらにいますか。[1つに○]

非認定～要介護2



要介護3～5

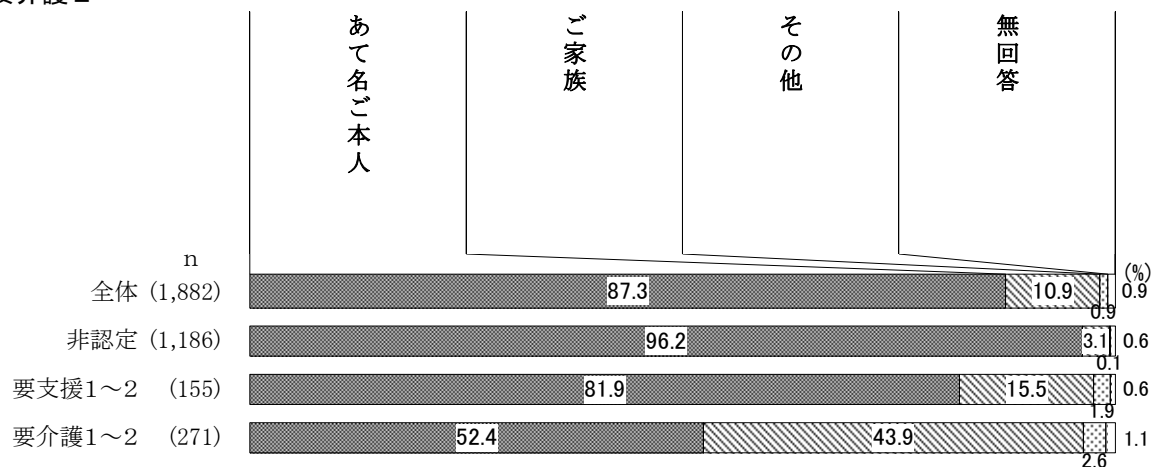


現在の居場所は、非認定、要支援1～2、要介護1～2では、「自宅」が9割を超えて最も多くなっています。要介護3～5では、「自宅」が7割台後半、「病院等に入院している」が1割台前半となっています。

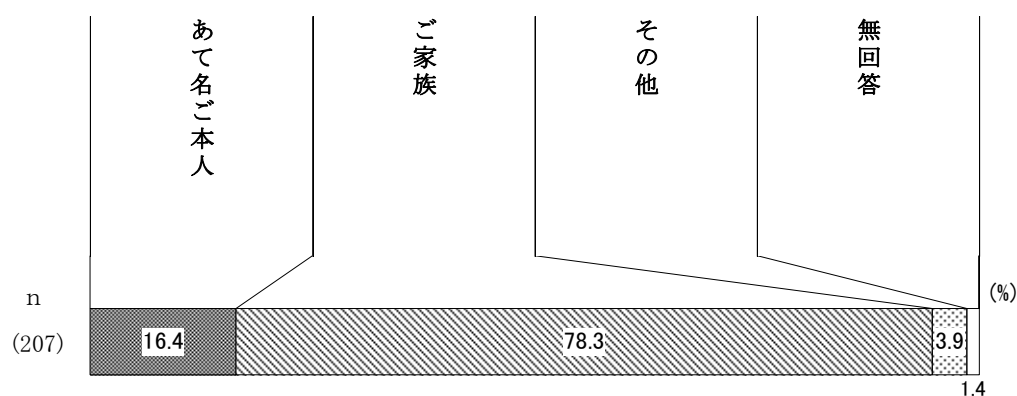
(2) 記入者

問2 この調査票はどなたがご記入されますか。[1つに〇]

非認定～要介護2



要介護3～5

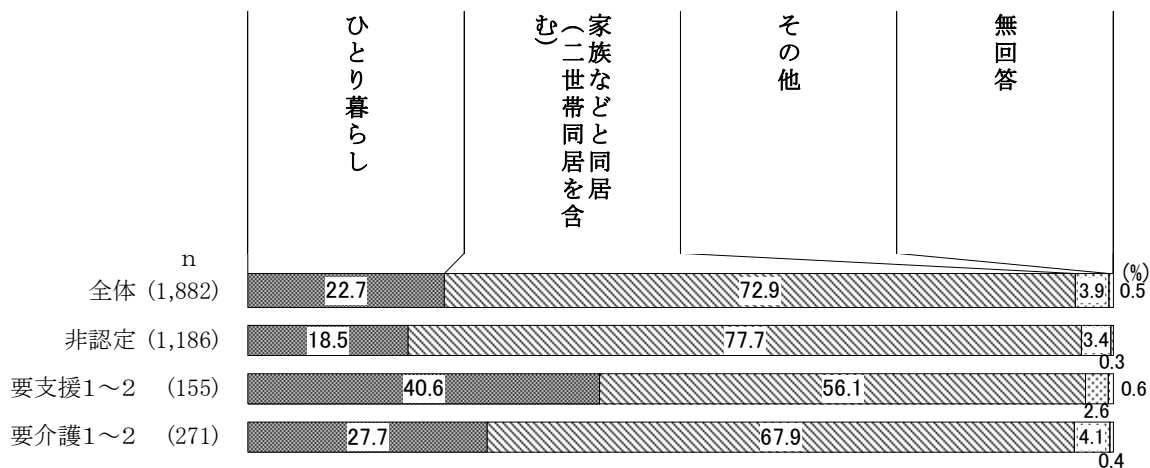


調査票の記入者は、非認定では「あて名ご本人」が9割台後半で最も多く、要支援1～2は「あて名ご本人」が8割台前半、要介護1～2では5割台前半と低くなり、「ご家族」の割合が4割台前半で高くなっています。要介護3～5では、「ご家族」が7割台後半、「あて名ご本人」が1割台後半となっています。

(3) 家族構成

【非認定～要介護2調査のみ】

問5 家族構成をお教えてください。[1つに〇]



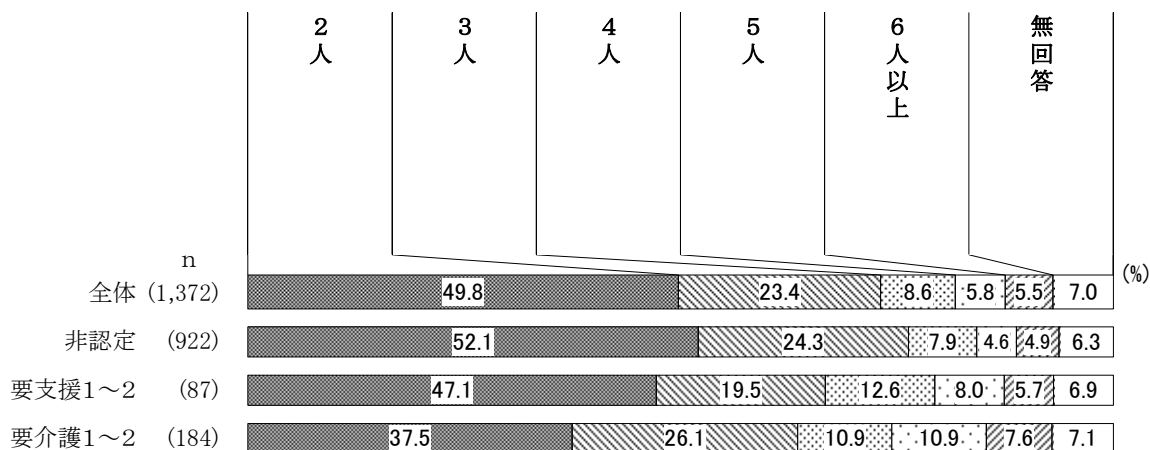
家族構成は、非認定では「家族など同居（二世帯同居を含む）」が7割台後半と多く、「ひとり暮らし」は要支援1～2が約4割で非認定、要介護1～2と比較して多くなっています。

(4) 同居人数

【非認定～要介護2調査のみ】

問5で「2. 家族など同居（二世帯同居を含む）」と答えた方におたずねします。

問5-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。[人数を記入]



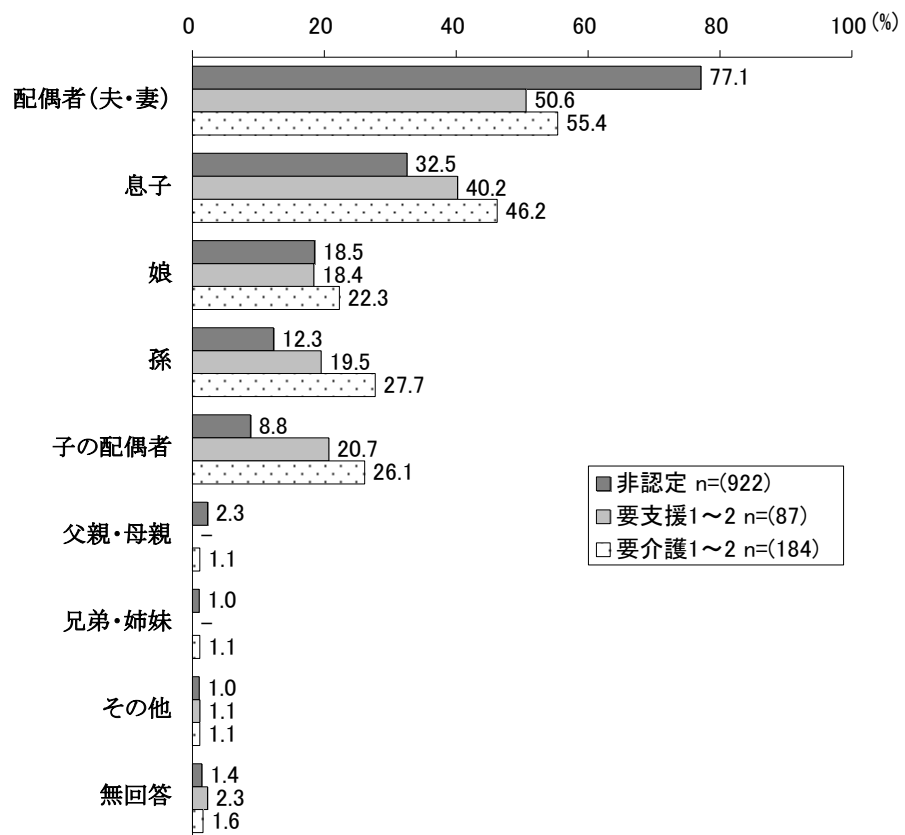
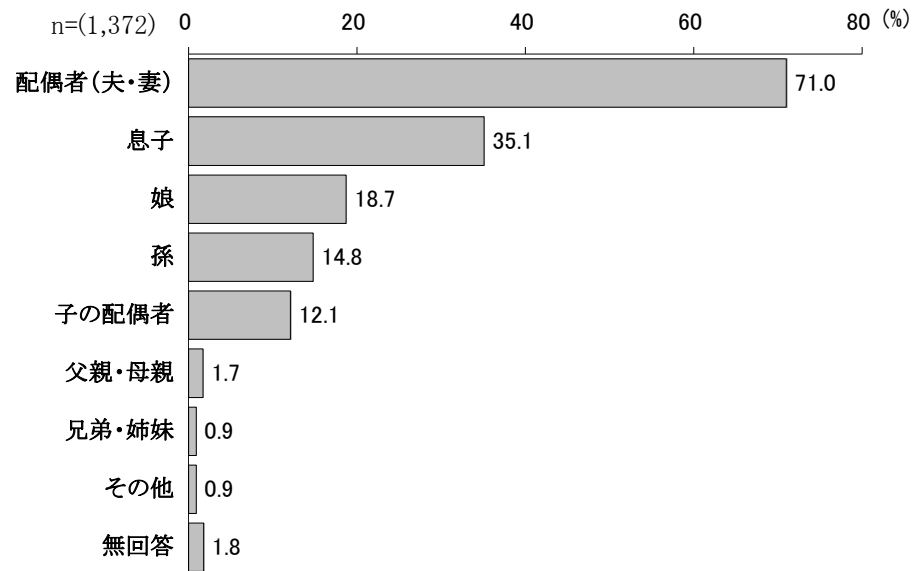
同居人数は、「2人」が非認定では5割台前半で最も多く、要支援1～2は4割台後半、要介護1～2は3割台前半で介護度が上がるにしたがい減少しています。「3人」は非認定と要介護1～2で2割台となっています。

(5) 同居者の続柄

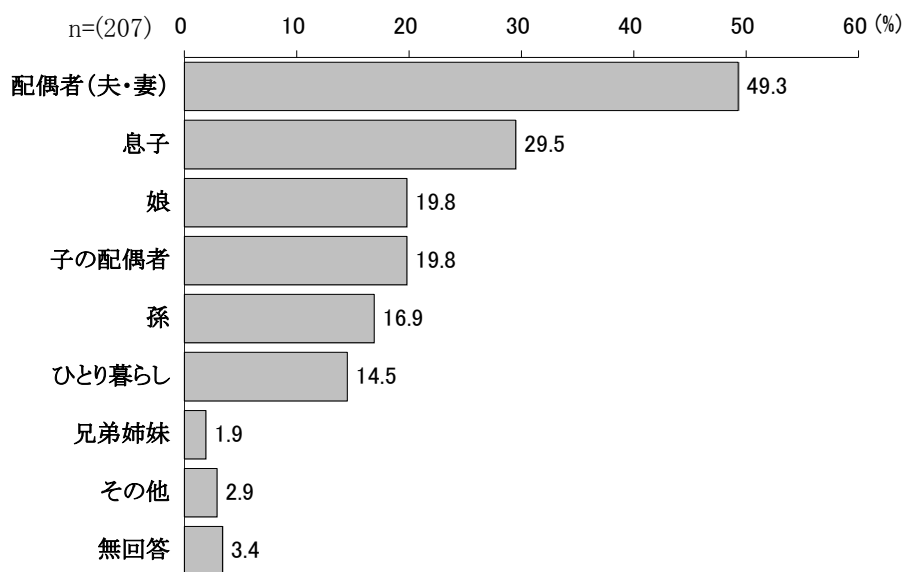
問5-2 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

【要介護3～5／問5】

非認定～要介護2



要介護3～5

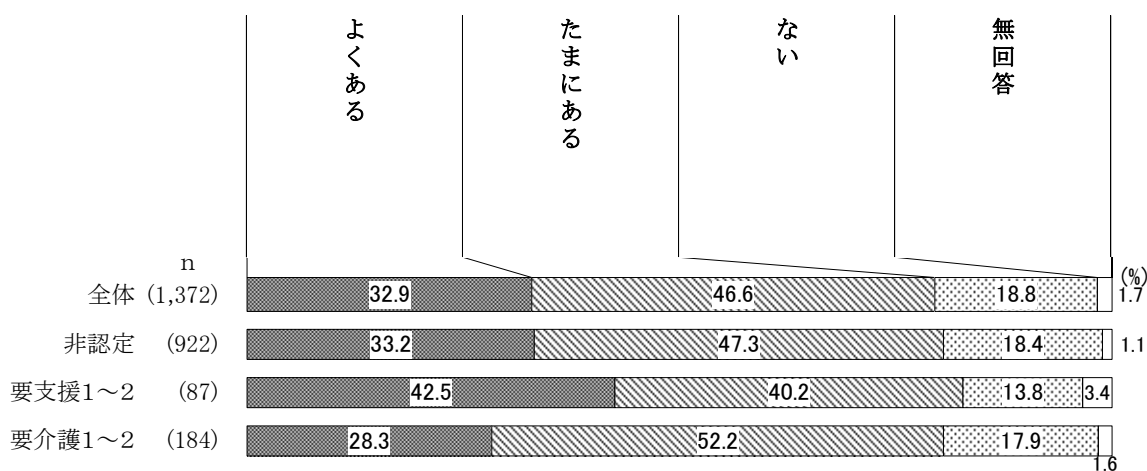


同居者は、非認定、要支援1～2、要介護1～2とも、「配偶者(夫・妻)」が最も多く、非認定では7割台後半、要支援1～2と要介護1～2では約5割～5割台半ばとなっています。次いで「息子」は要介護1～2が最も多く4割台後半、要支援1～2が約4割、非認定が3割台前半となっています。「娘」「孫」「子の配偶者」も要介護1～2の割合が多くなっています。要介護3～5では、「配偶者(夫・妻)」が約5割、「息子」が約3割、「娘」「子の配偶者」が約2割と続いています。一方、1割台前半が「ひとり暮らし」と回答しています。

(6) 日中独居の状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問5-3 日中、一人になることがありますか。[1つに○]

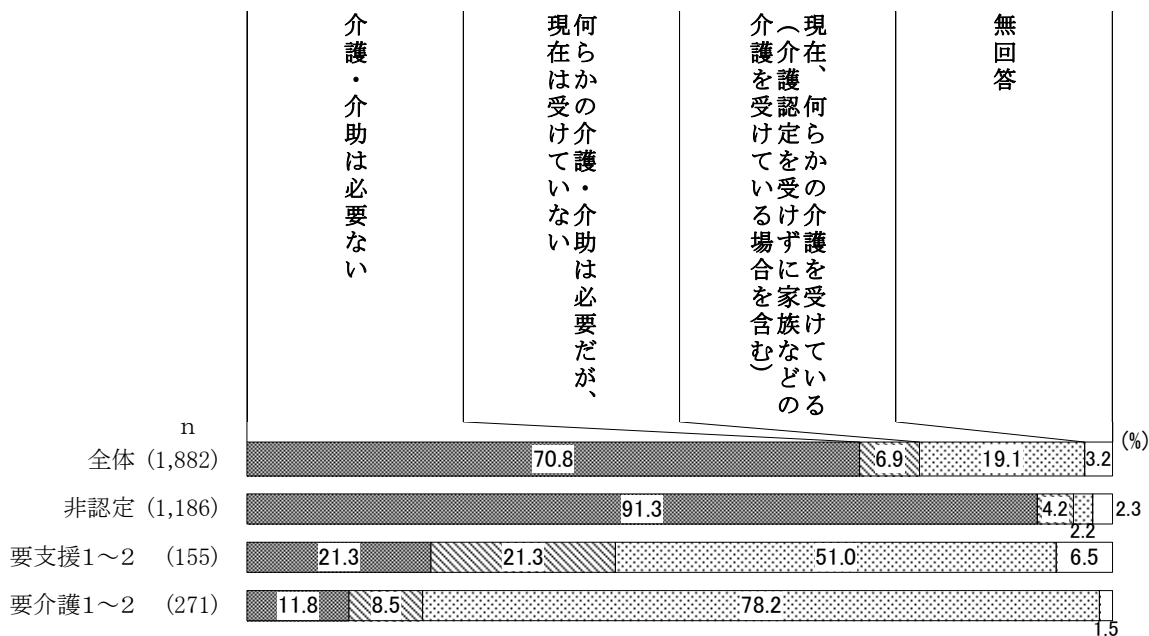


日中、一人になることが「よくある」は要支援1～2が4割台前半と多く、「たまにある」は、要介護1～2で5割台前半と多くなっています。

(7) 介護・介助の必要性

【非認定～要介護2調査のみ】

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[1つに○]



「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合を含む）」は要支援1～2では約半数、要介護1～2では7割台後半で多くなっています。

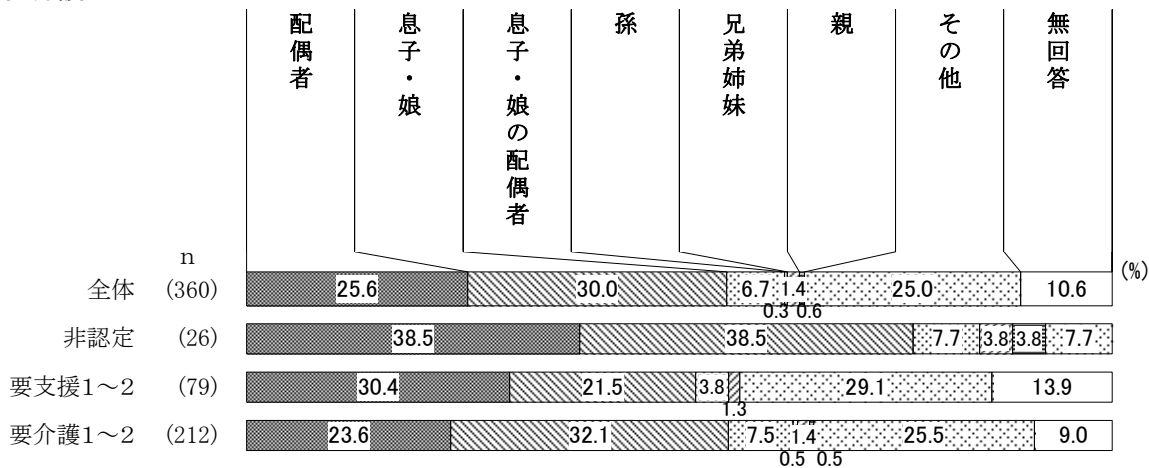
(8) 主な介護者の続柄

問6で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方におたずねします。

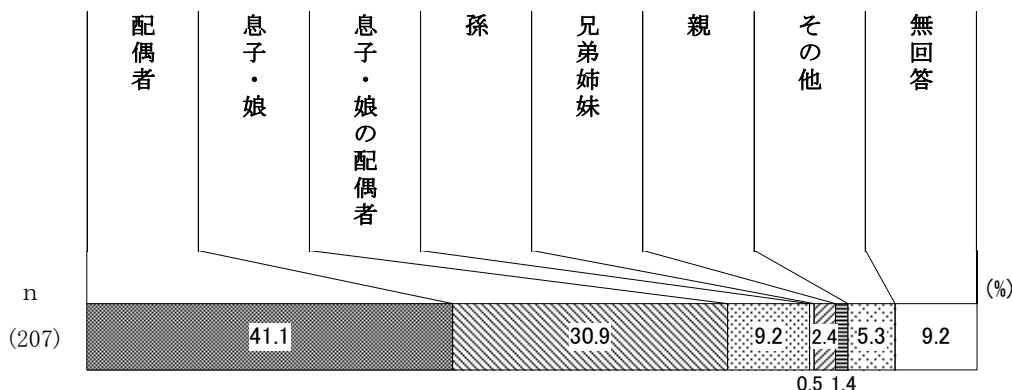
問6-1 主にどなたの介護・介助を受けていますか。[1つに○]

【要介護3～5/問23】

非認定～要介護2



要介護3～5

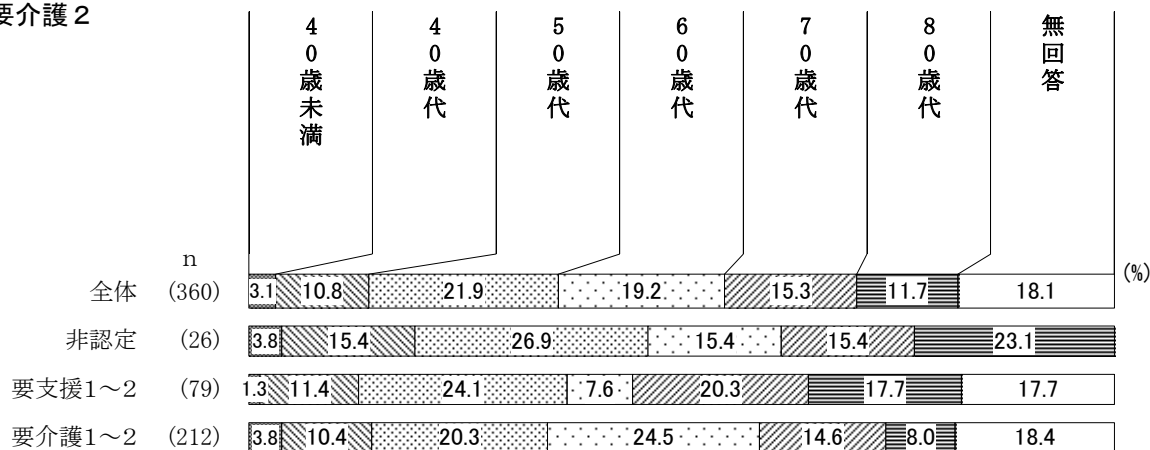


主な介護者の続柄は、要支援1～2では「配偶者」が約3割、「その他」が約3割となっています。要介護1～2では、「息子・娘」が3割台前半、「その他」が2割台半ばとなっています。要介護3～5では、「配偶者」が4割を超え、「息子・娘」が3割で続いています。

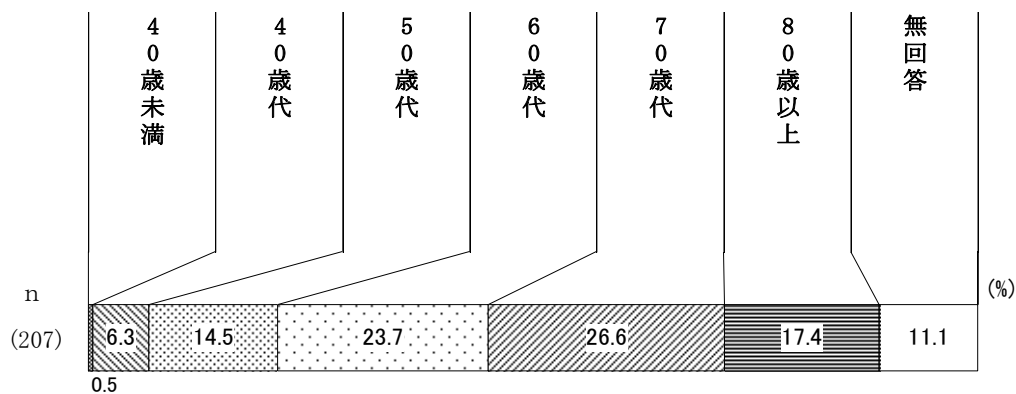
(9) 主な介護者の年齢

問6-2 介護・介助している方の年齢は、どれですか。[1つに○]
【要介護3～5/問24】

非認定～要介護2



要介護3～5

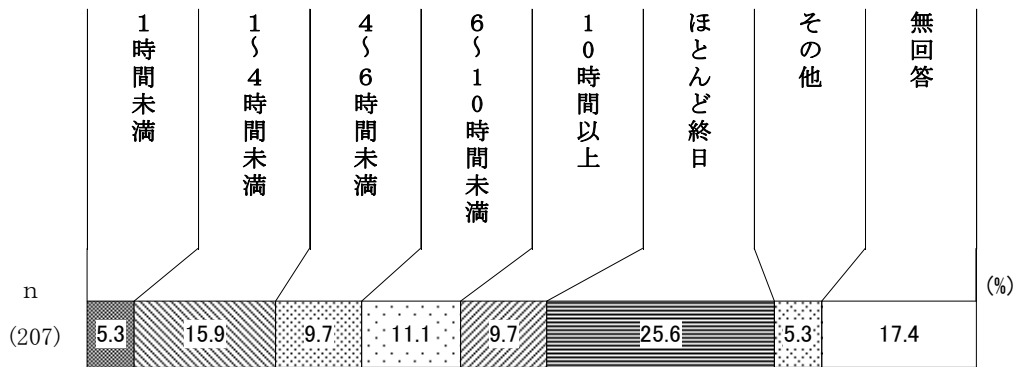


主な介護者の年齢は、要支援1～2は「50歳代」が2割台前半、「70歳代」が約2割となっています。要介護1～2では、「60歳代」が2割台前半、「50歳代」が約2割、要介護3～5では「70歳代」が2割台後半で、介護度が上がるにしたがい介護者の年齢も上がる傾向となっています。

(10) 1日の介護時間

【要介護3～5調査のみ】

問25 あて名ご本人を介護する時間は、1日平均どのくらいですか。[1つに○]

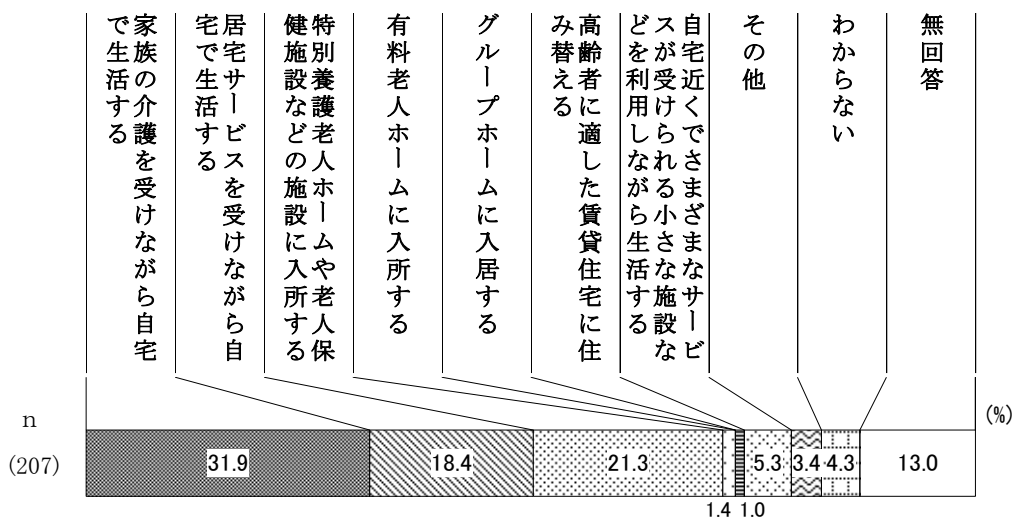


1日の介護時間は、「ほとんど終日」が2割台半ばで最も多く、次いで「1～4時間未満」が1割台半ば、「6～10時間未満」「4～6時間未満」「10時間以上」が1割前後が続いています。

(11) 今後望ましい本人の生活場所

【要介護3～5調査のみ】

問26 今後、あて名本人は、どこで生活するのが良いと思いますか。[1つに○]

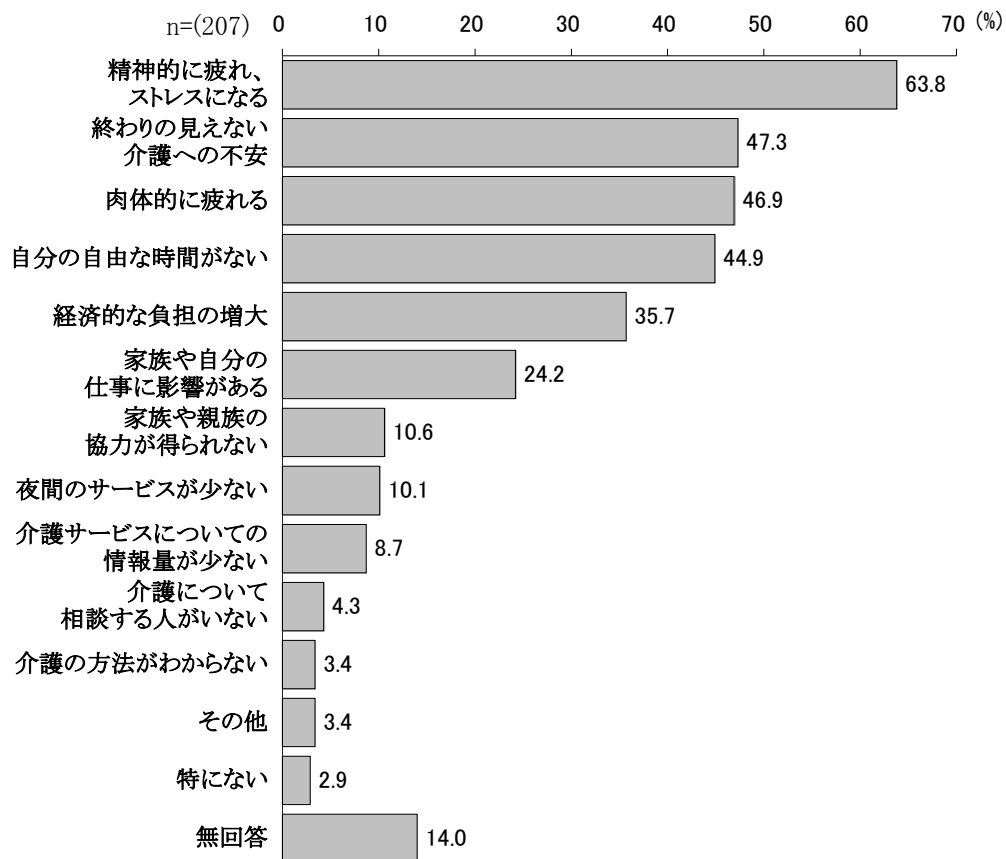


今後望ましい本人の生活場所について介護者に聞いたところ、「家族の介護を受けながら自宅で生活する」が3割を超え、「居宅サービスを受けながら自宅で生活する」を含めると自宅での生活を希望する人が5割を占めています。次に「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」「居宅サービスを受けながら自宅で生活する」が2割前後が続いています。

(12) 介護をしていく上での問題点

【要介護3～5調査のみ】

問27 介護をしていく上で、どのような問題がありますか。[いくつでも○]

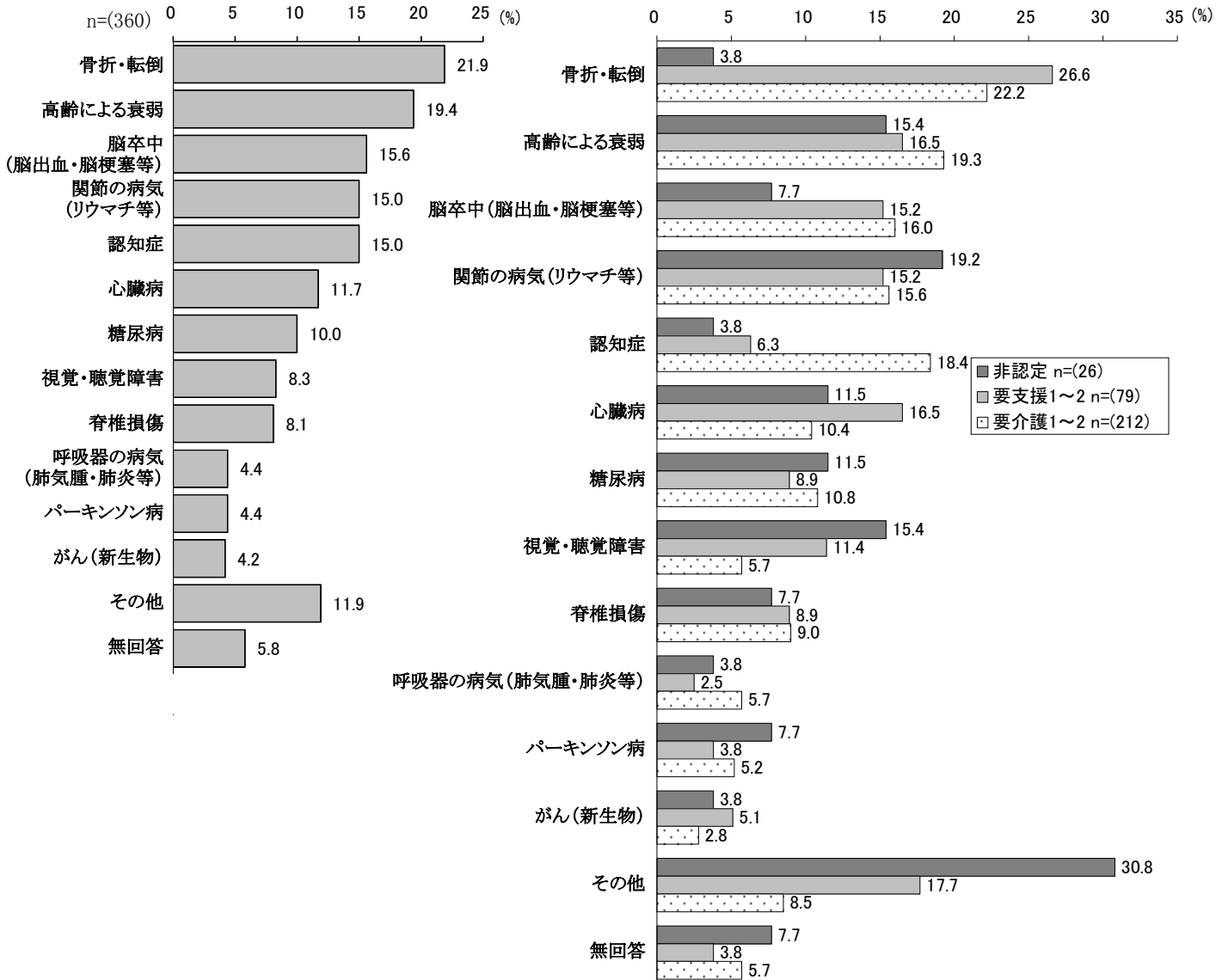


介護していく上での問題点を介護者に聞いたところ、「精神的に疲れ、ストレスになる」が6割台前半で特に多くなっています。次に「終わりの見えない介護への不安」「肉体的に疲れる」「自分の自由な時間がない」が4割台で続いています。

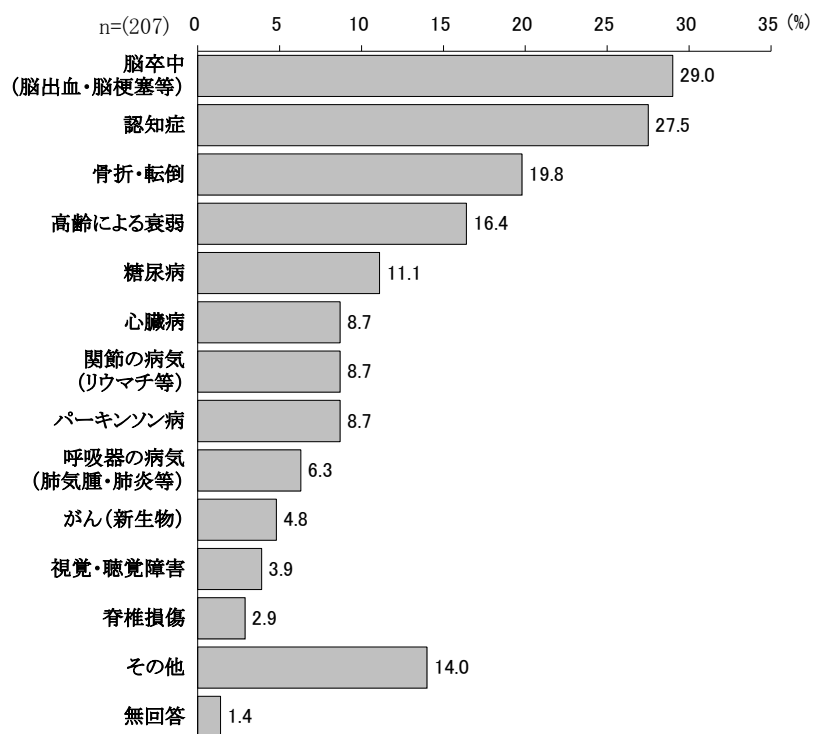
(13) 介護・介助が必要になった主なきっかけ

問6-3 介護・介助が必要になった主なきっかけはなんですか。[いくつでも○]
【要介護3~5/問7】

非認定~要介護2



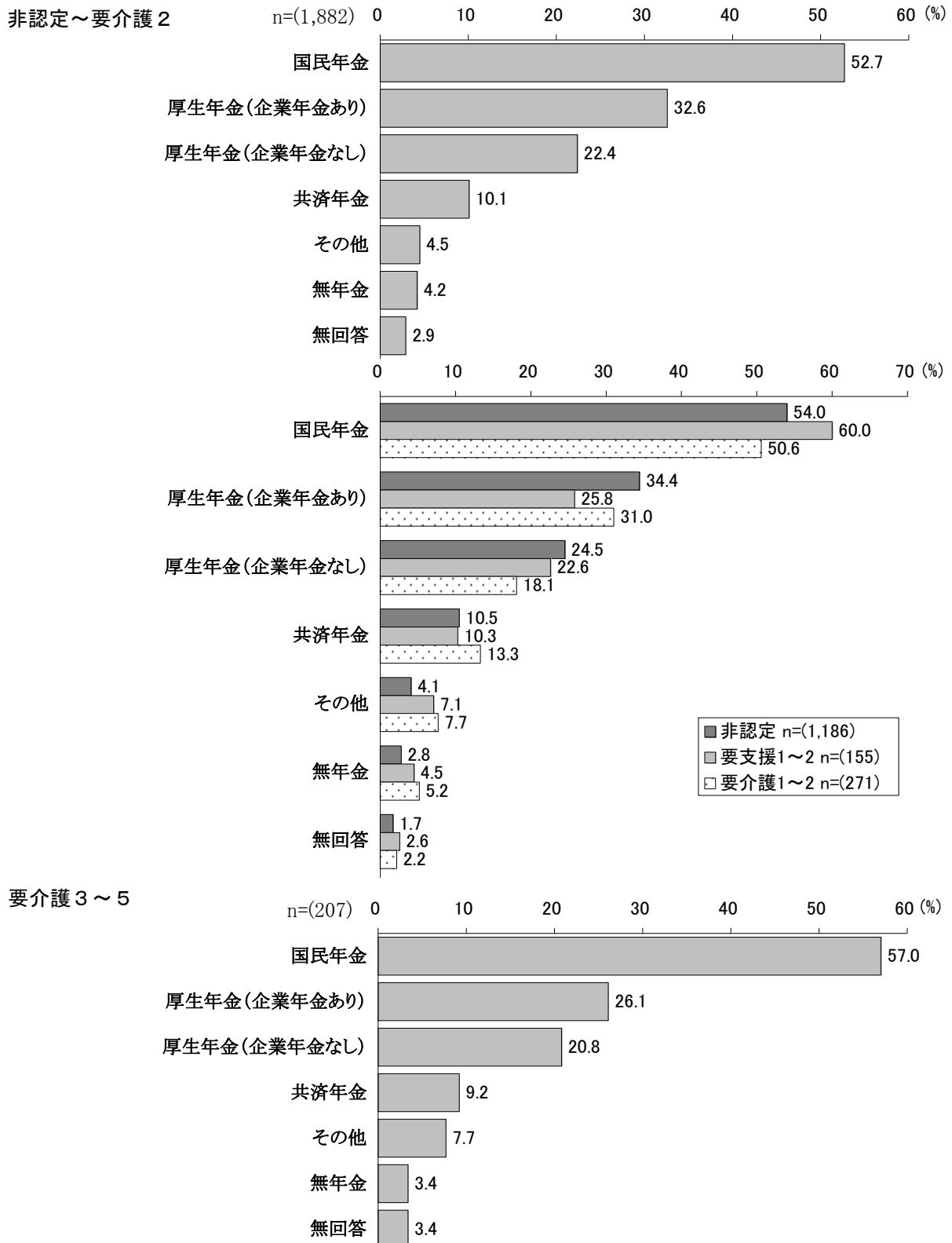
要介護3～5



介護・介助が必要になった主なきっかけは、要支援1～2では「骨折・転倒」が2割台後半で最も多く、次いで、「高齢による衰弱」「心臓病」が1割台後半、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」「関節の病気 (リウマチ等)」と続いています。要介護1～2でも同様に、「骨折・転倒」が2割台前半で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が約2割、「認知症」が1割台後半と続いています。要介護3～5では、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」「認知症」が3割前後で多く、次いで「骨折・転倒」となっています。

(14) 年金の種類

問7 年金の種類は次のどれですか。[いくつでも○] 【要介護3～5/問9】

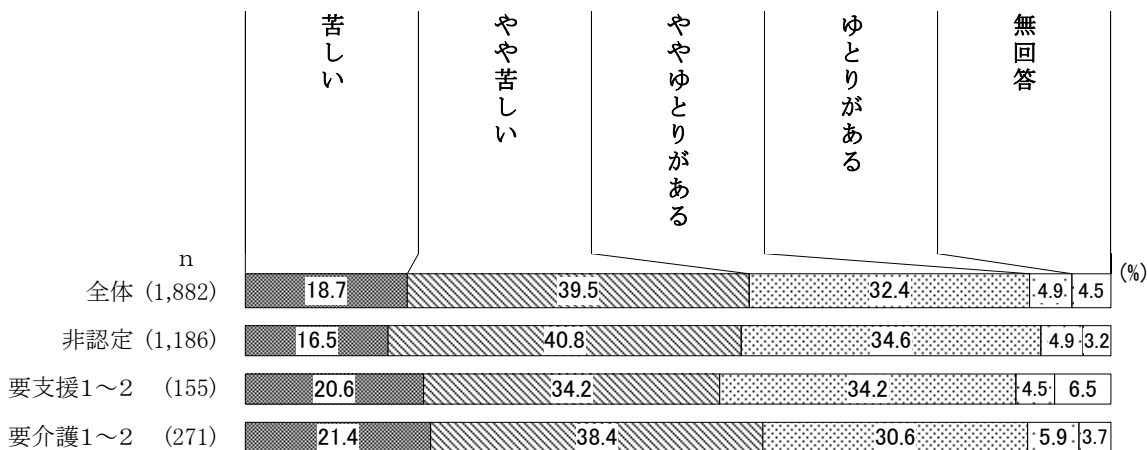


年金の種類は、非認定、要介護1～2、要介護3～5で、「国民年金」が半数を超え最も多くなっています。次いで「厚生年金(企業年金あり)」が非認定では、3割台前半、要介護1～2では3割台前半、要支援1～2と要介護3～5では2割半ば前後となっています。

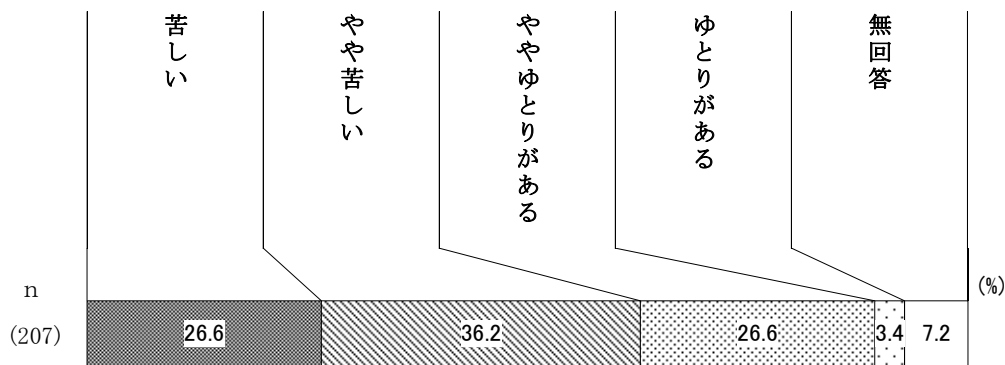
(15) 経済的な暮らしの状況

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに○]
 【要介護3～5／問10】

非認定～要介護2



要介護3～5



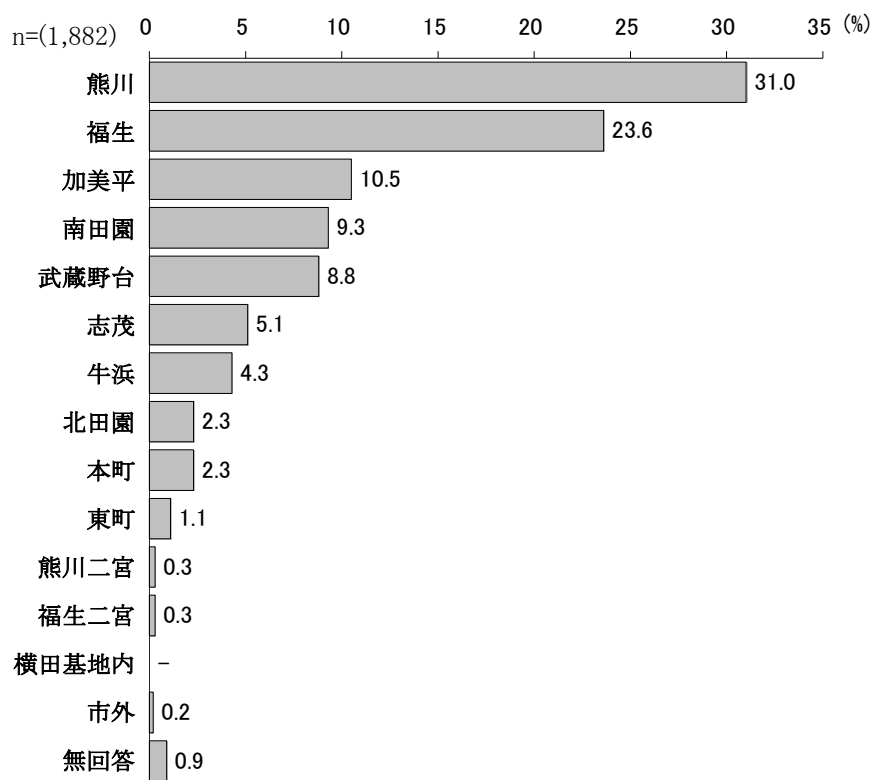
経済的な暮らしの状況については、介護度が上がるにしたがい「苦しい」の割合が増加し、要介護3～5では2割台後半となっています。「やや苦しい」は非認定が約4割、他の階層では3割台前半～後半となっています。「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた<苦しい>は、要介護3～5では6割台前半となっています。一方、「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた<ゆとりがある>は非認定で約4割、要介護3～5では3割と多くなっています。

3. 住まいについて

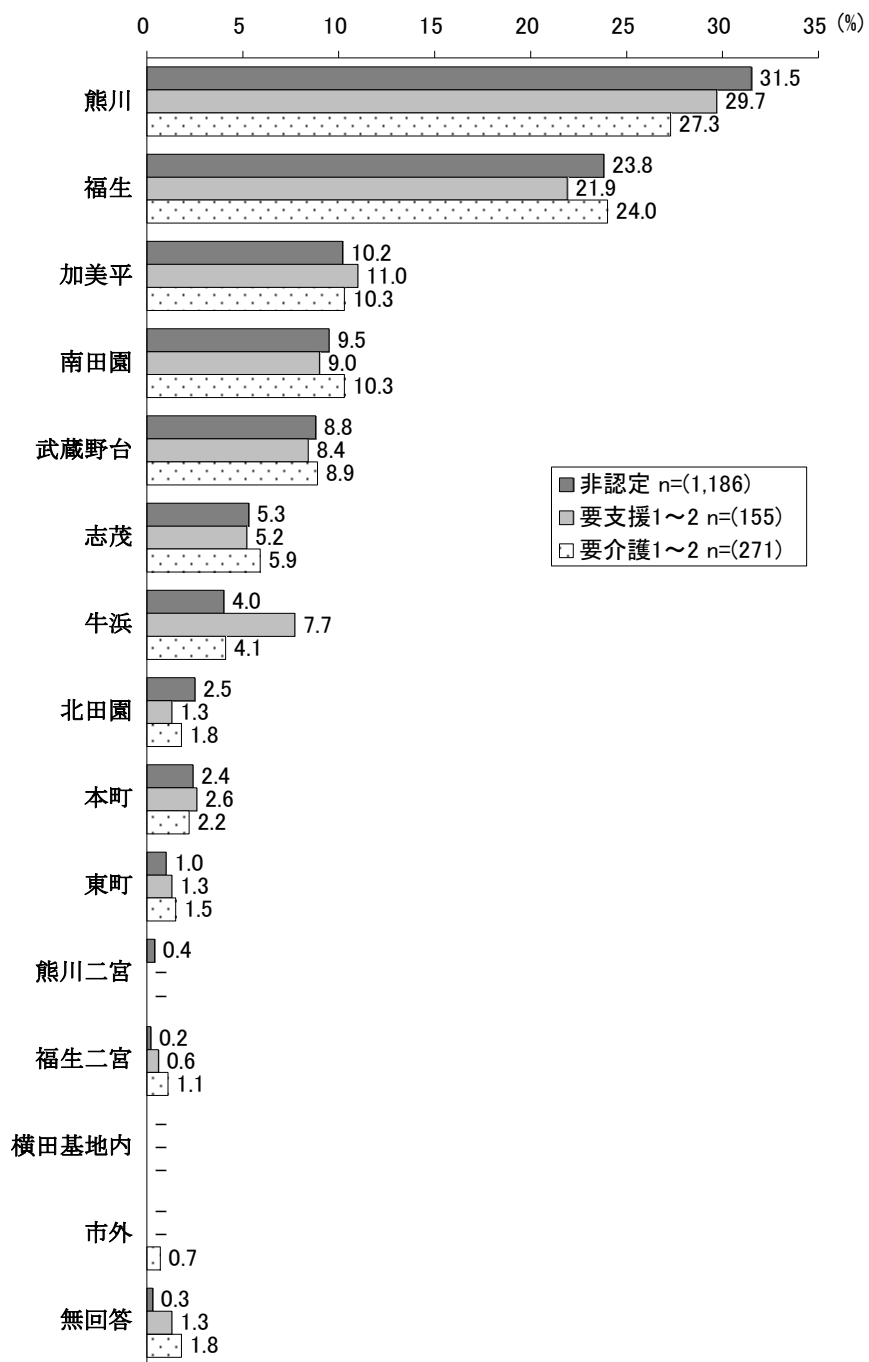
(1) 居住地区

問9 あなたのお住まいは、どちらですか。[1つに○] 【要介護3～5/問11】

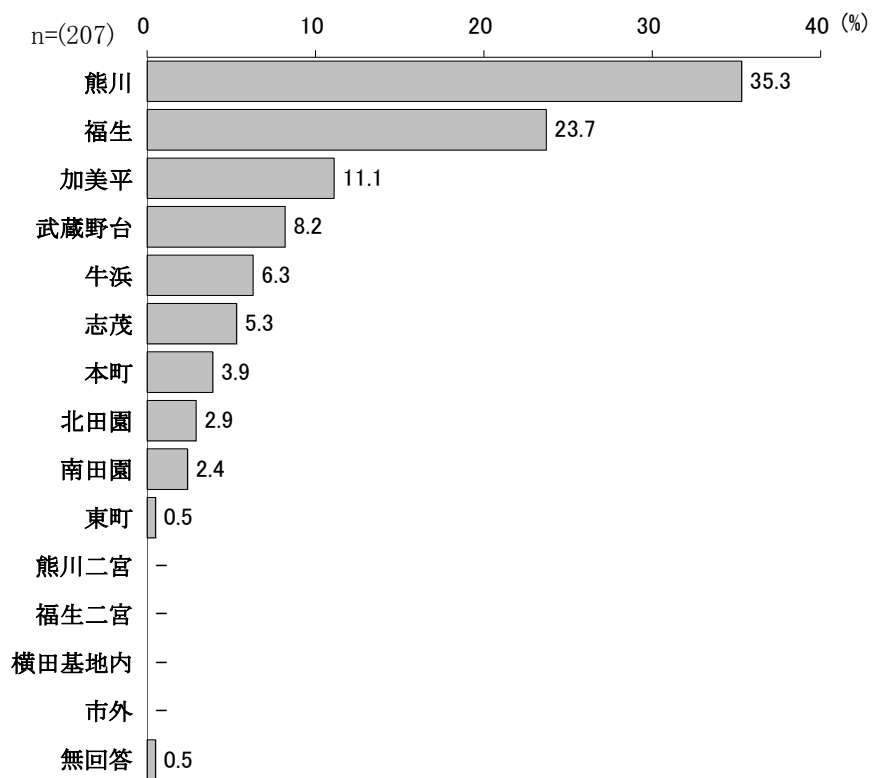
非認定～要介護2



第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



要介護3～5

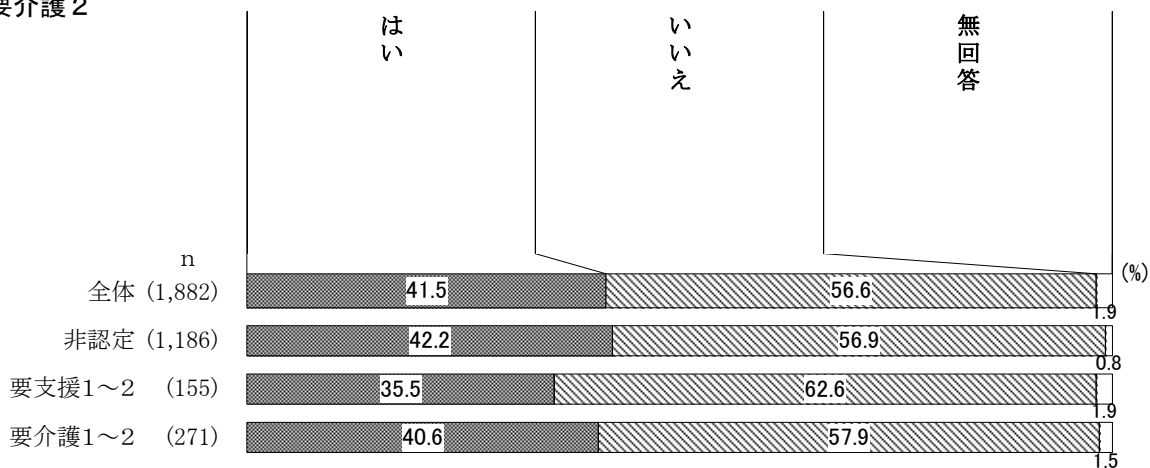


居住地区は、すべての階層で、「熊川」が最も多く、次いで「福生」となっています。

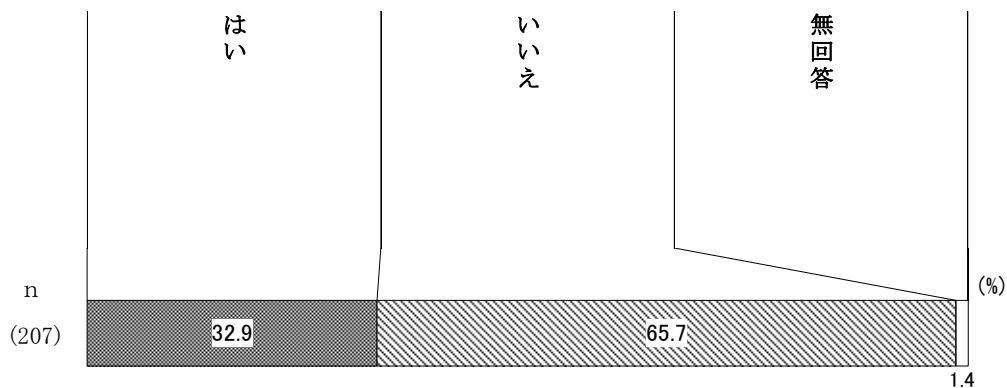
(2) 2階以上の生活場所の状況

問12 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。[1つに○]
 【要介護3～5／問14】

非認定～要介護2



要介護3～5



主に生活する部屋が2階以上にあるかどうかを聞いたところ、「はい」は非認定と要介護1～2で4割台半ば、要介護3～5で3割台前半となっています。

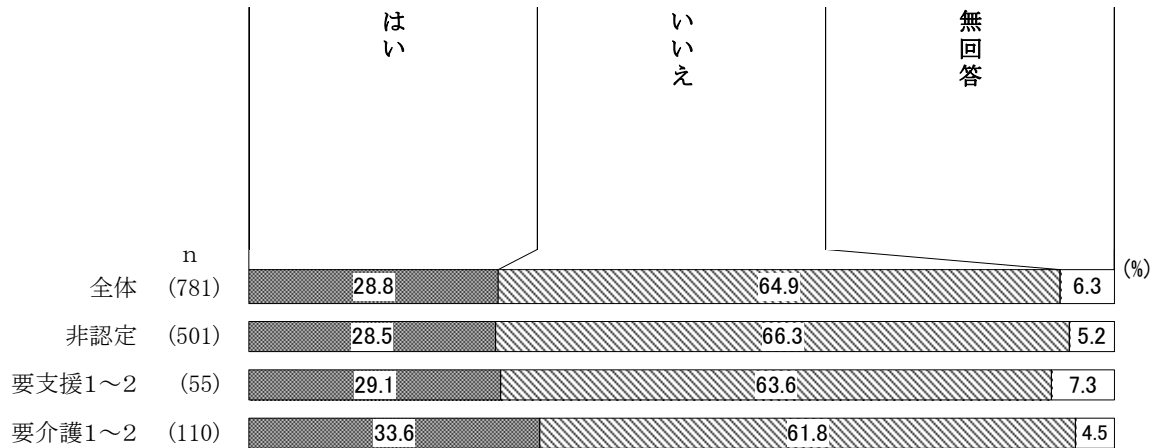
(3) エレベーターの設置状況

問12で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

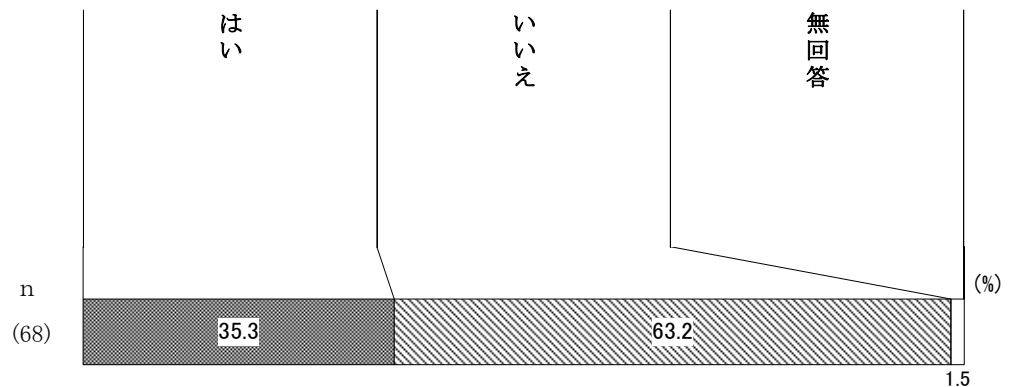
問12-1 お住まいにエレベーターは設置されていますか。[1つに○]

【要介護3～5/問14-1】

非認定～要介護2



要介護3～5



主に生活する部屋が2階以上にあると回答した方にエレベーターの設置を聞いたところ、すべての階層で「いいえ」が6割台が多く、エレベーターの設置は低い状況となっています。

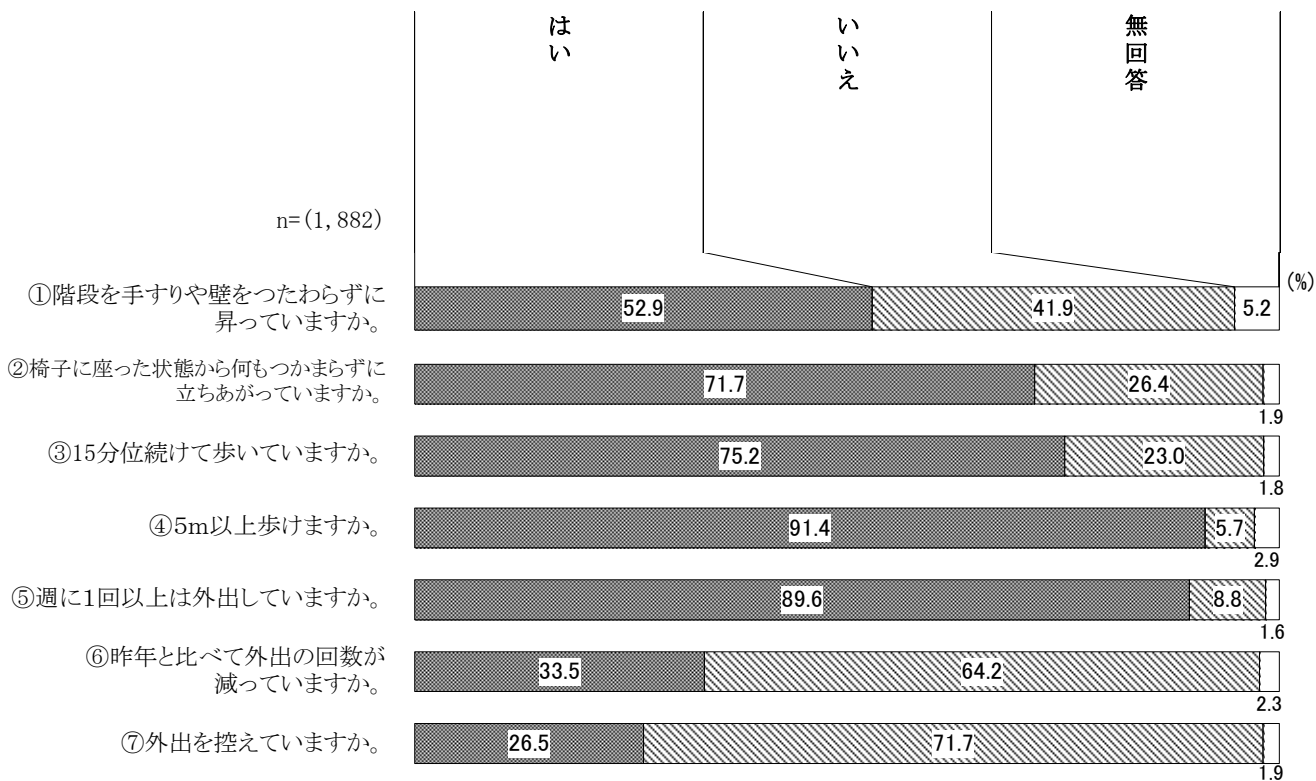
4. 運動や外出について

(1) 運動や外出

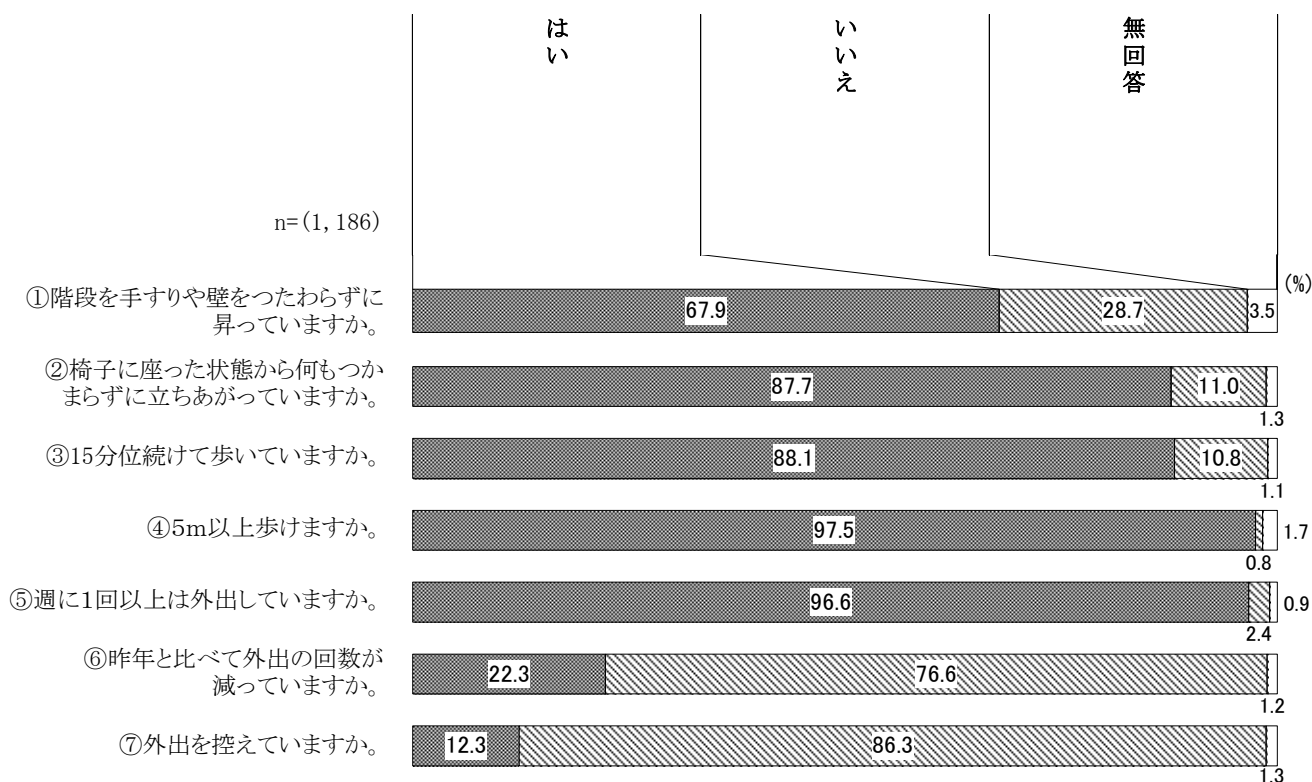
【非認定～要介護2調査のみ】

問13 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

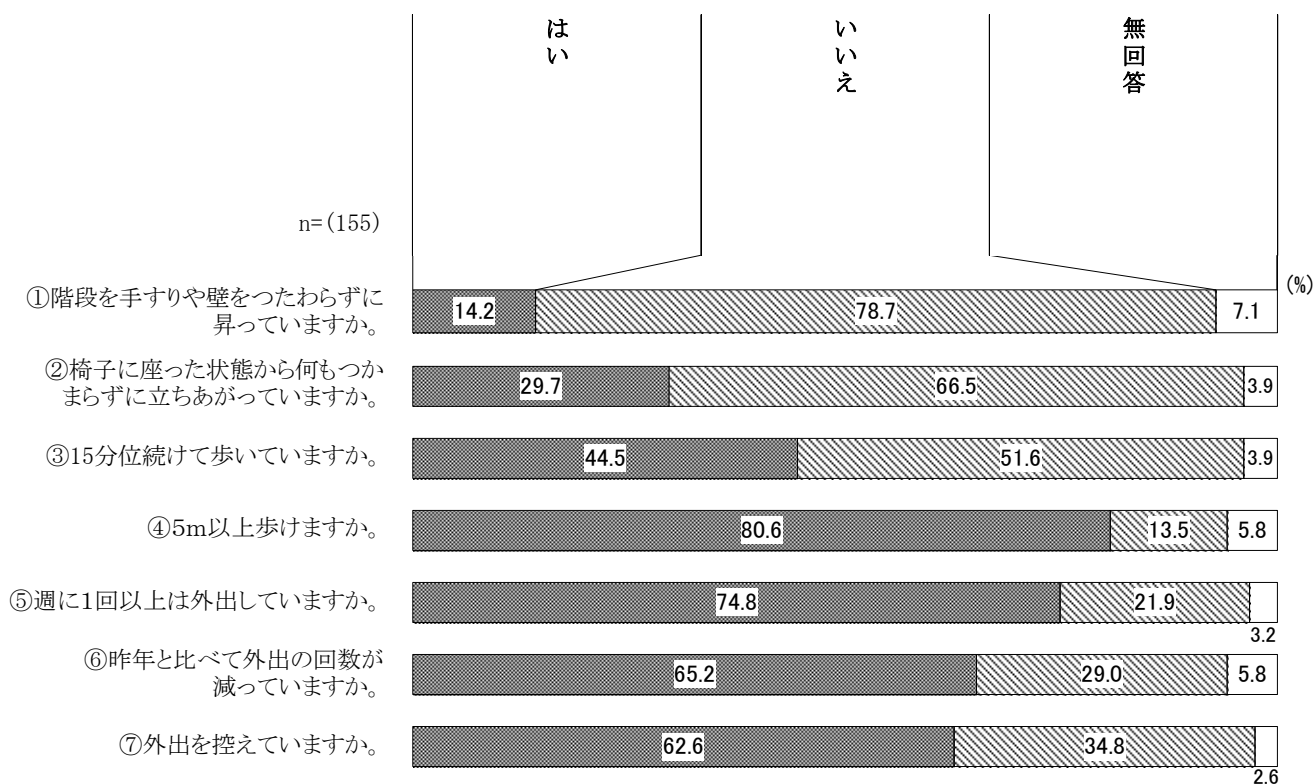
全体



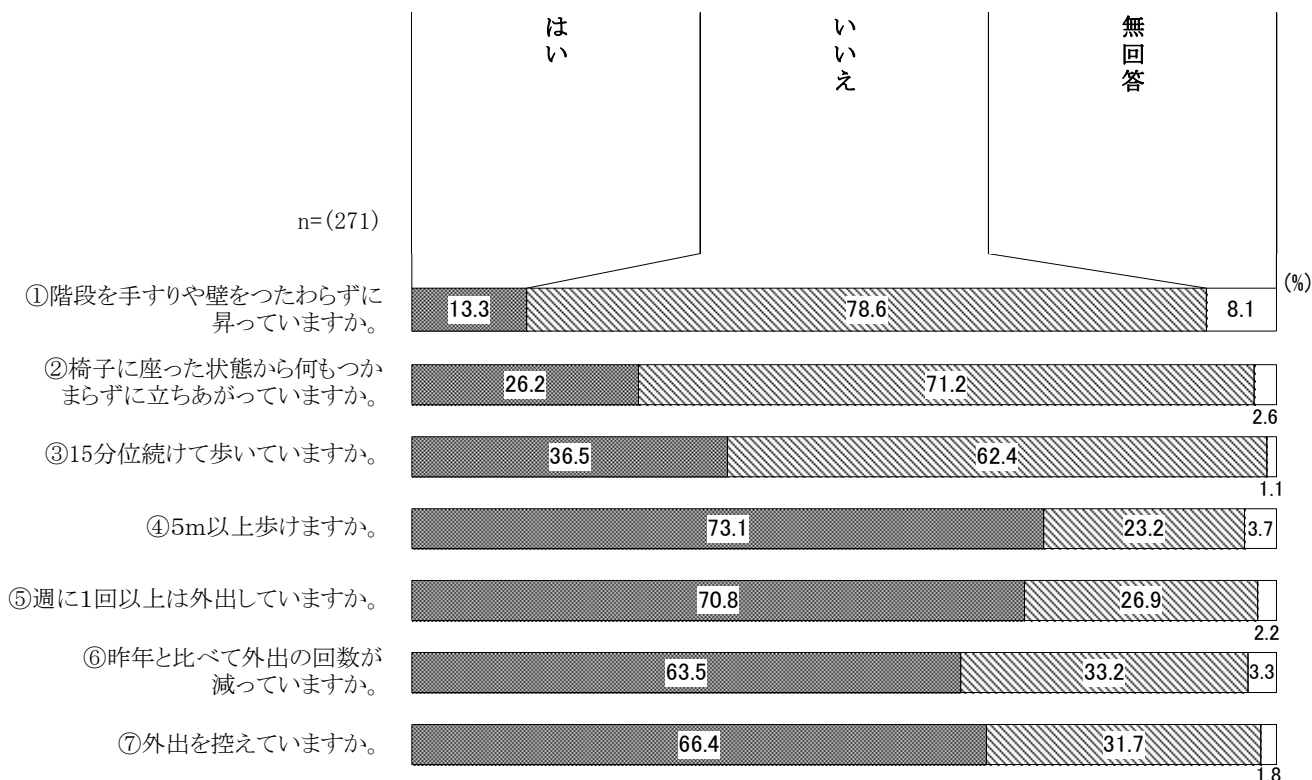
非認定



要支援1～2



要介護1～2



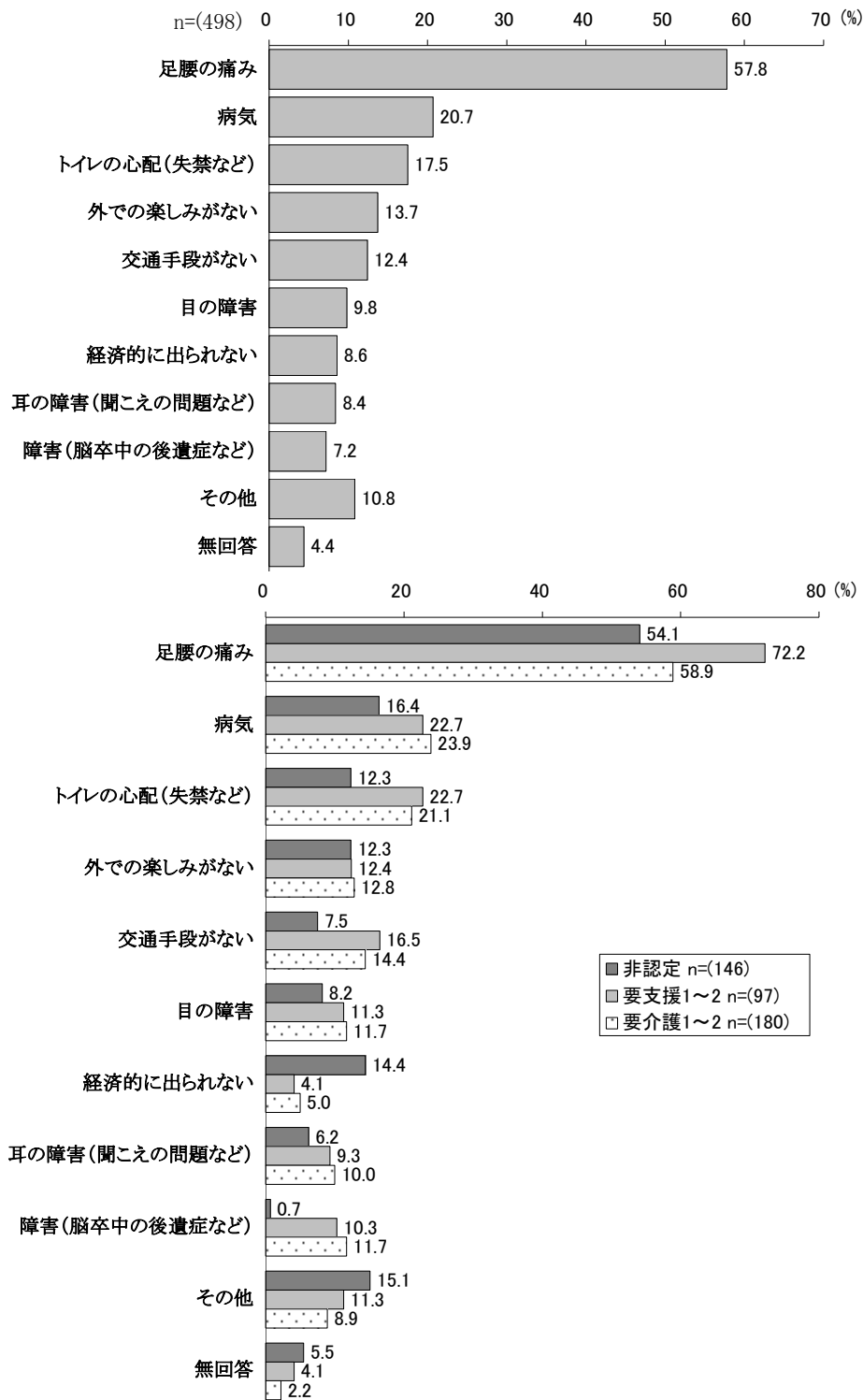
日常生活での運動や外出について聞いたところ、非認定では<階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか>が2割台後半となっていますが、それ以外の項目では、運動に関して支障のある回答は見られません。要支援1～2と要介護1～2では、運動と外出について同じような傾向ですが、介護度が上がるにしたがって、困難度も上がる傾向にあります。<椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか>は要支援1～2では「いいえ」が6割台後半、要介護1～2では、7割台前半で4.7ポイント増加しています。<15分位続けて歩いていますか>は要支援1～2では「いいえ」が5割台前半、要介護1～2では、6割台前半で10.8ポイント増加しています。

(2) 外出を控えている理由

【非認定～要介護2調査のみ】

問13⑦で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。[いくつでも○]



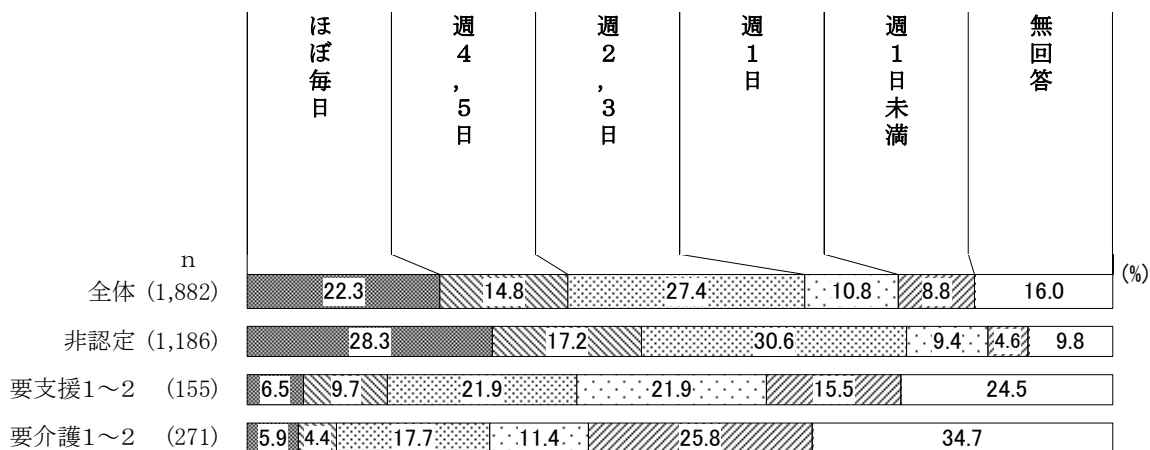
外出を控えている理由を聞いたところ、すべての階層で「足腰の痛み」が最も多く、要支援1～2では7割前半となっています。次いで「病気」「トイレの心配(失禁など)」「外での楽しみがない」「交通手段がない」と続いています。

(3) 外出する頻度

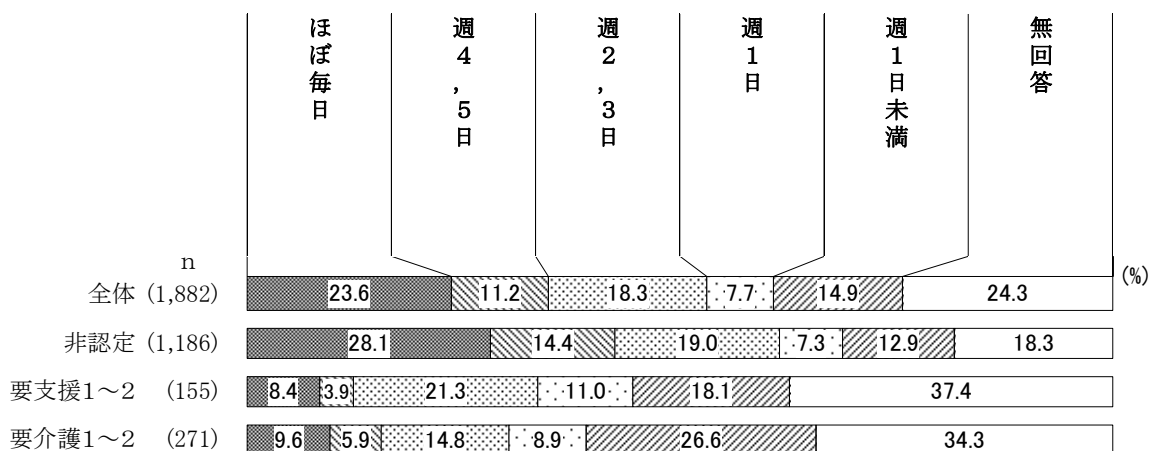
【非認定～要介護2調査のみ】

問14 外出する頻度はどのくらいですか。[それぞれ1つに○]

買物



散歩

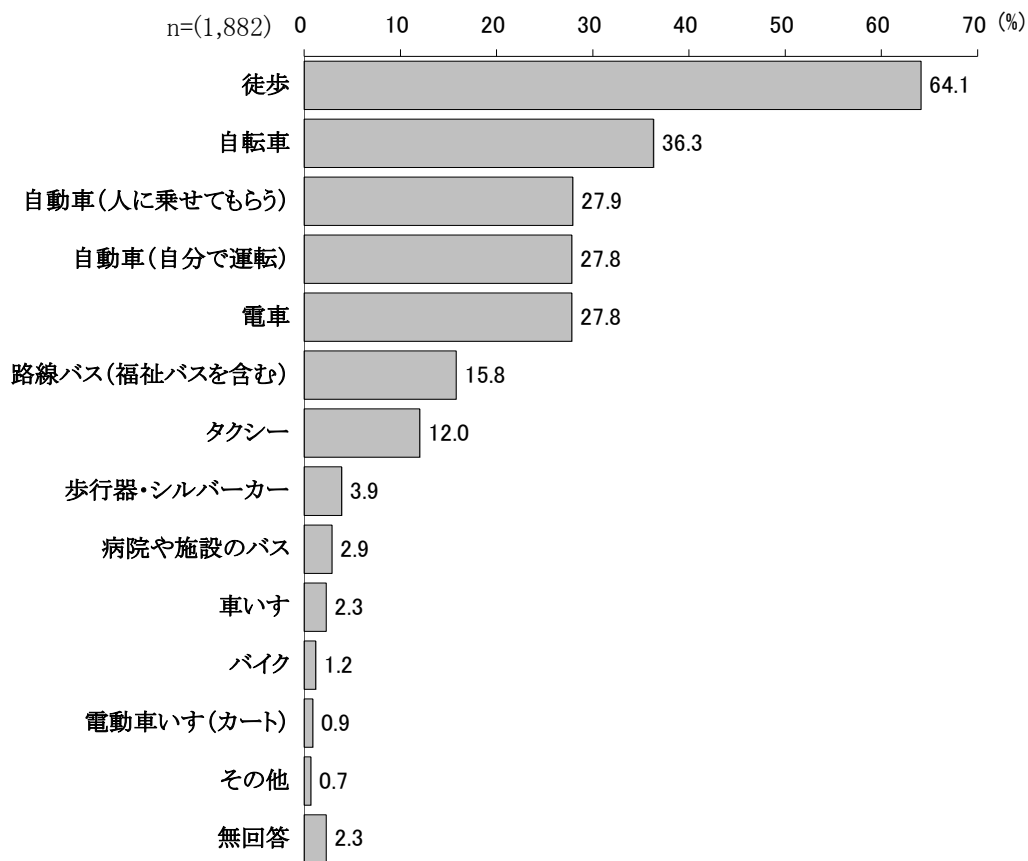


外出する頻度は、買物は非認定では、「週2、3日」が約3割で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が2割台後半となっています。要支援1～2は、「週2、3日」と「週1日」が2割台前半で多く、要介護1～2では、「週1日未満」が2割台半ばで最も多くなっています。散歩は非認定が2割台後半で最も多く、要支援1～2は「週2・3日」が2割台前半、要介護1～2は「週1日未満」が2割台後半で多くなっています。買物、散歩とも介護が上がるにしたがい、外出の回数が減少しています。

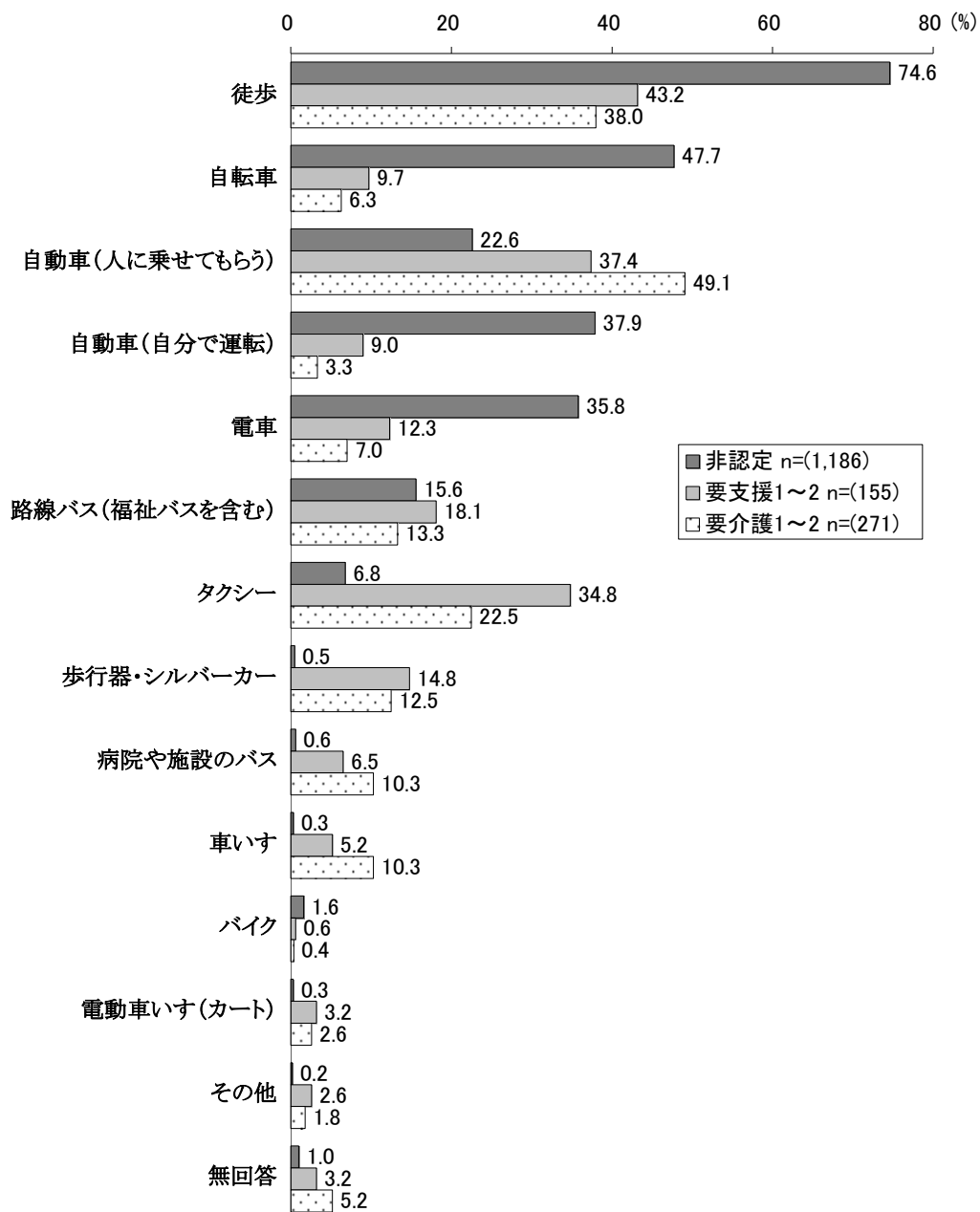
(4) 外出する際の移動手段

【非認定～要介護2調査のみ】

問15 外出する際の移動手段は何ですか。[いくつでも○]



第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



外出する際の移動手段は、非認定では「徒歩」が7割台前半で最も多く、次いで「自転車」が4割台後半、「自動車（自分で運転）」「電車」が3割台半ば～後半で続いています。要支援1～2は「徒歩」が4割台前半と最も多くなっています。次いで、「自動車（人に乗せてもらう）」が3割台後半、「タクシー」が3割台前半となっています。要介護1～2では、「自動車（人に乗せてもらう）」が約5割で最も多く、次いで「徒歩」が3割台後半となっています。

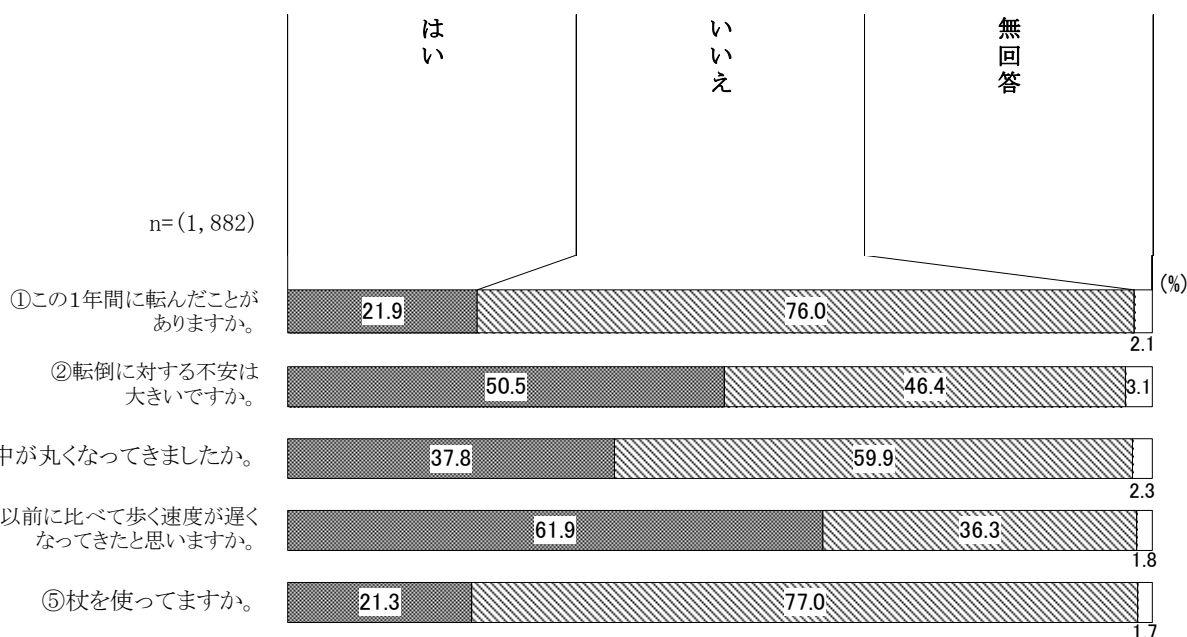
5. 転倒について

(1) 転倒の不安や歩行速度等

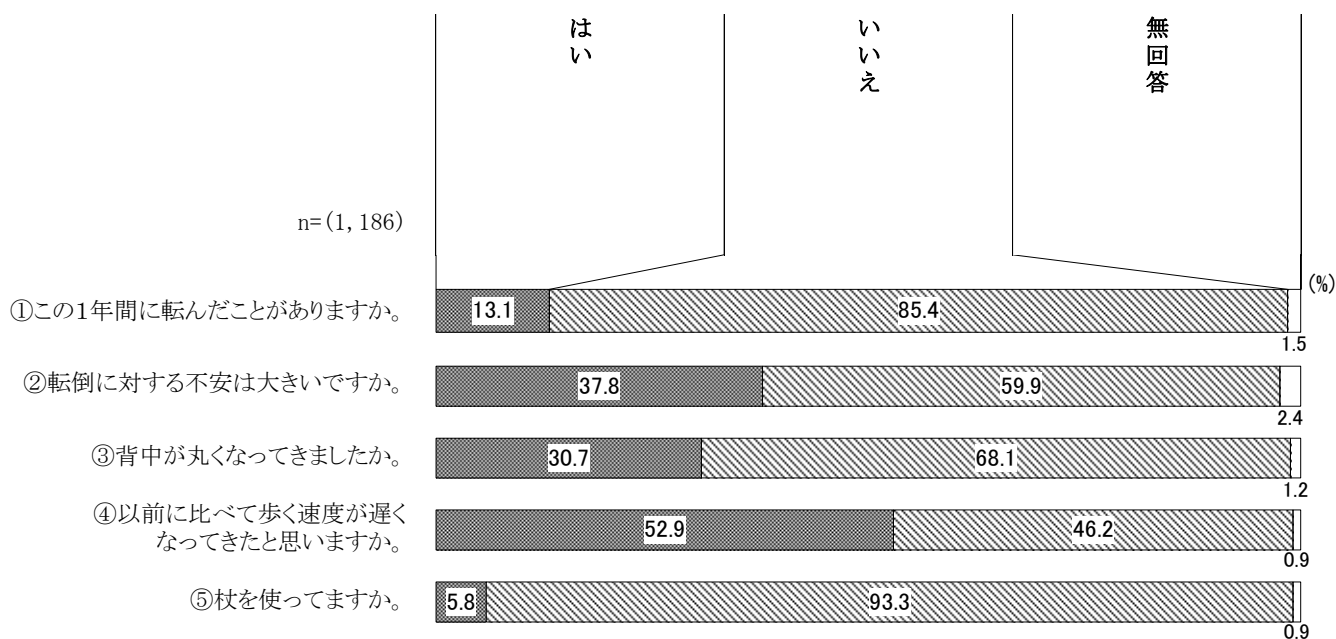
【非認定～要介護2調査のみ】

問16 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

全体

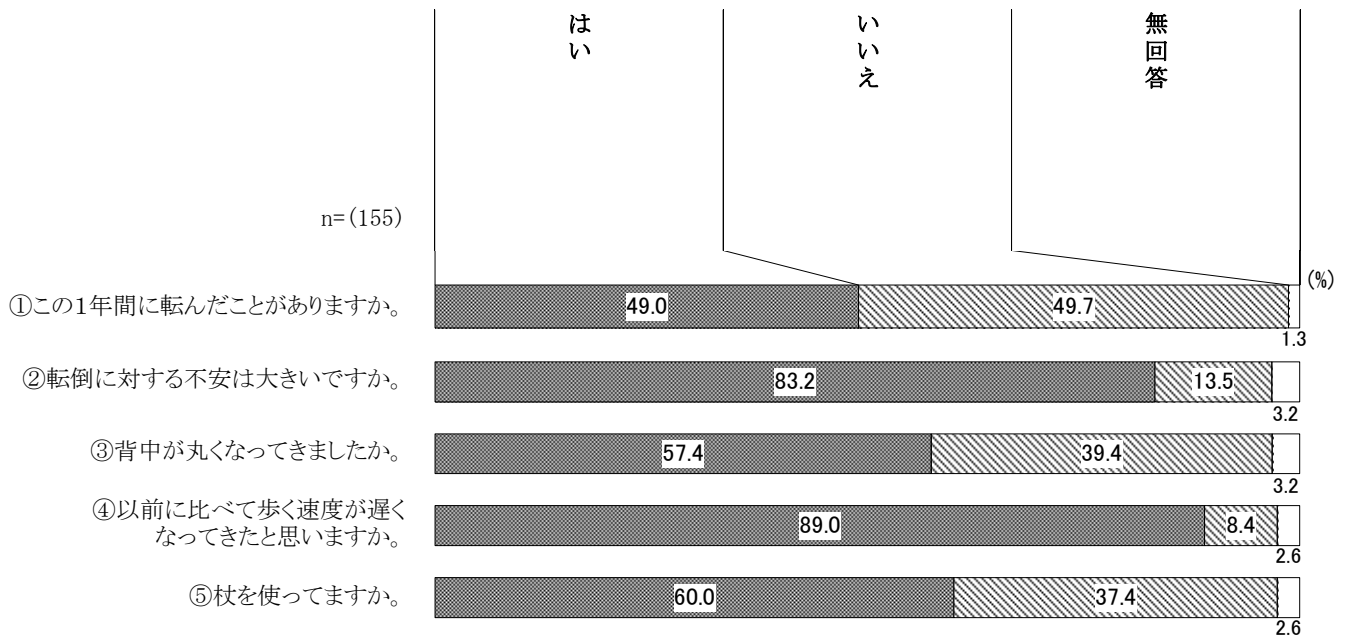


非認定

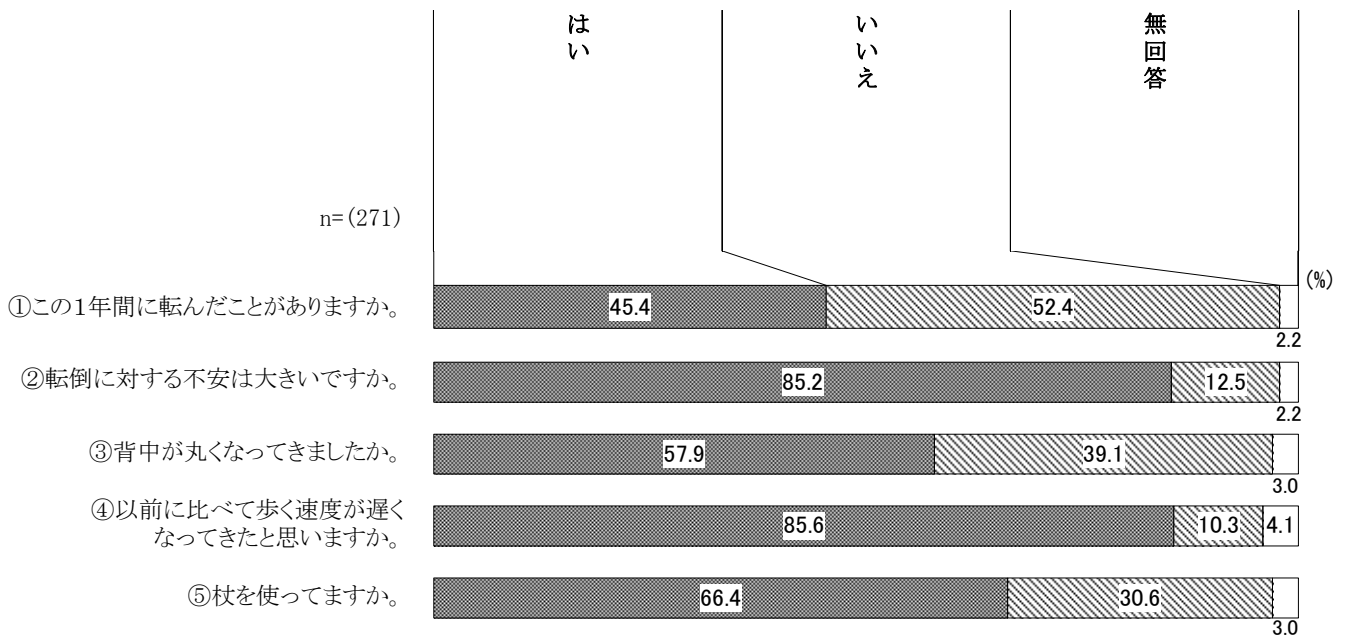


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

要支援1～2



要介護1～2



転倒の不安や歩行速度等について、要支援1～2と要介護1～2では同じ程度の傾向となっています。＜転倒に対する不安は大きいですか＞と＜以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか＞は「はい」が8割を超え特に多くなっています。

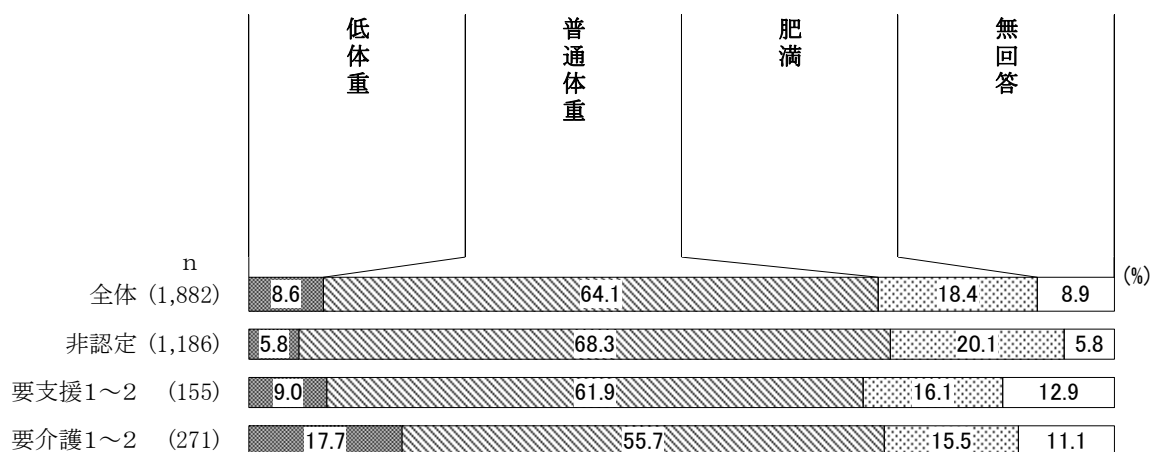
6. 口腔・栄養について

(1) 身長と体重

【非認定～要介護2調査のみ】

問17 身長と体重をご記入ください。

BMIによる肥満の判定

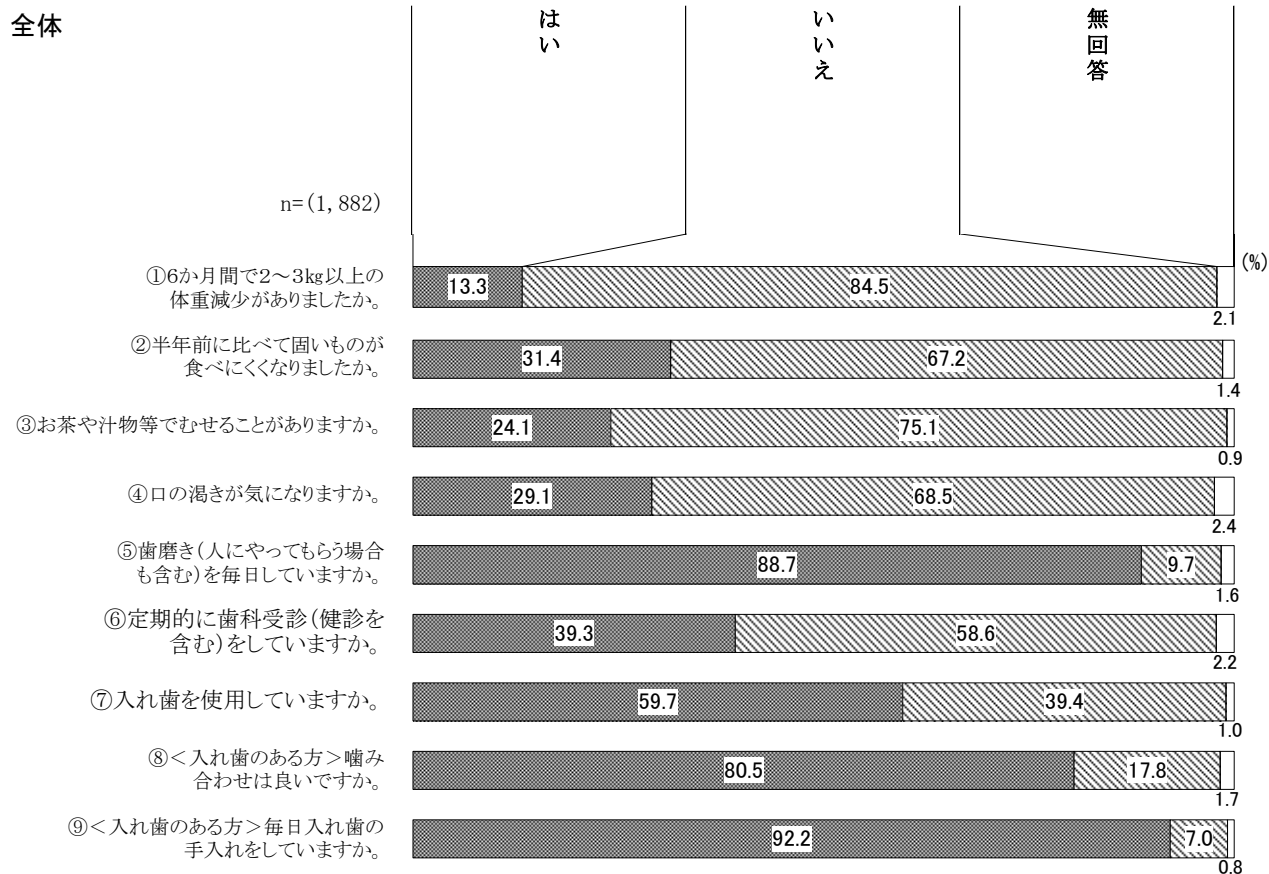


身長と体重を記入していただき、それを元にBMIによる肥満の判定をすると、すべての階層で「普通体重」が5割台半ば～6割台後半で最も多く、「低体重」は要介護1～2で1割台後半、「肥満」は非認定で約2割となっています。

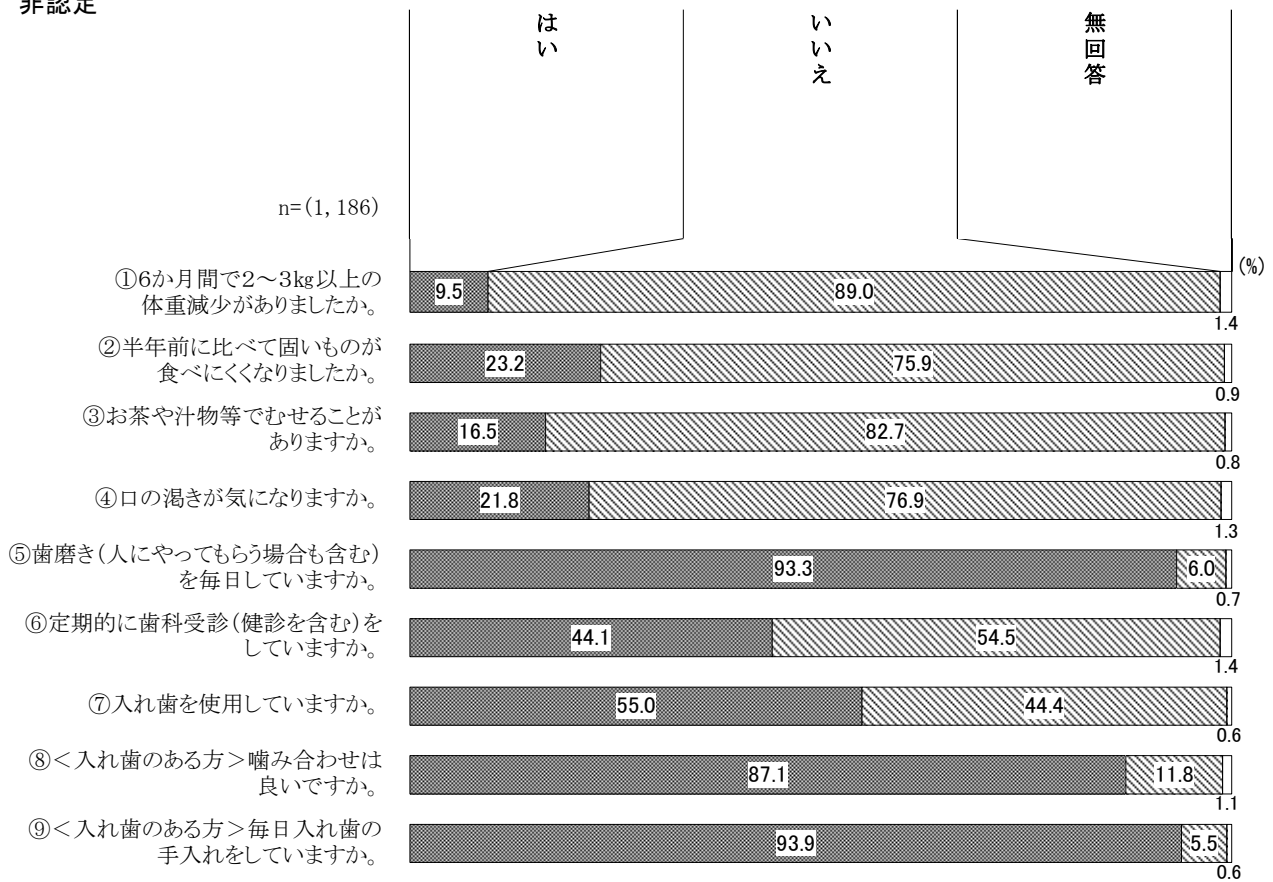
(2) 口腔・栄養の状況

【非認定～要介護2調査のみ】

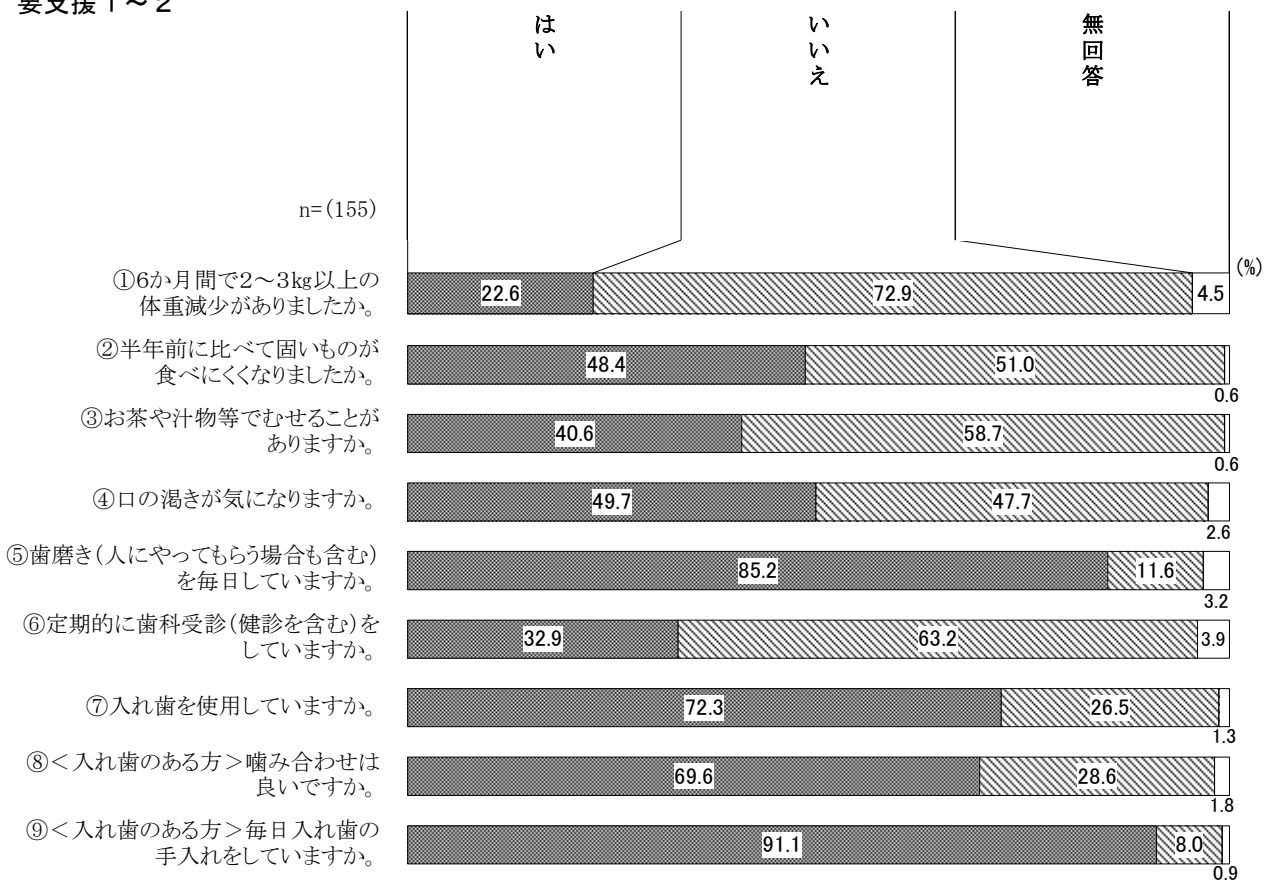
問18 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]



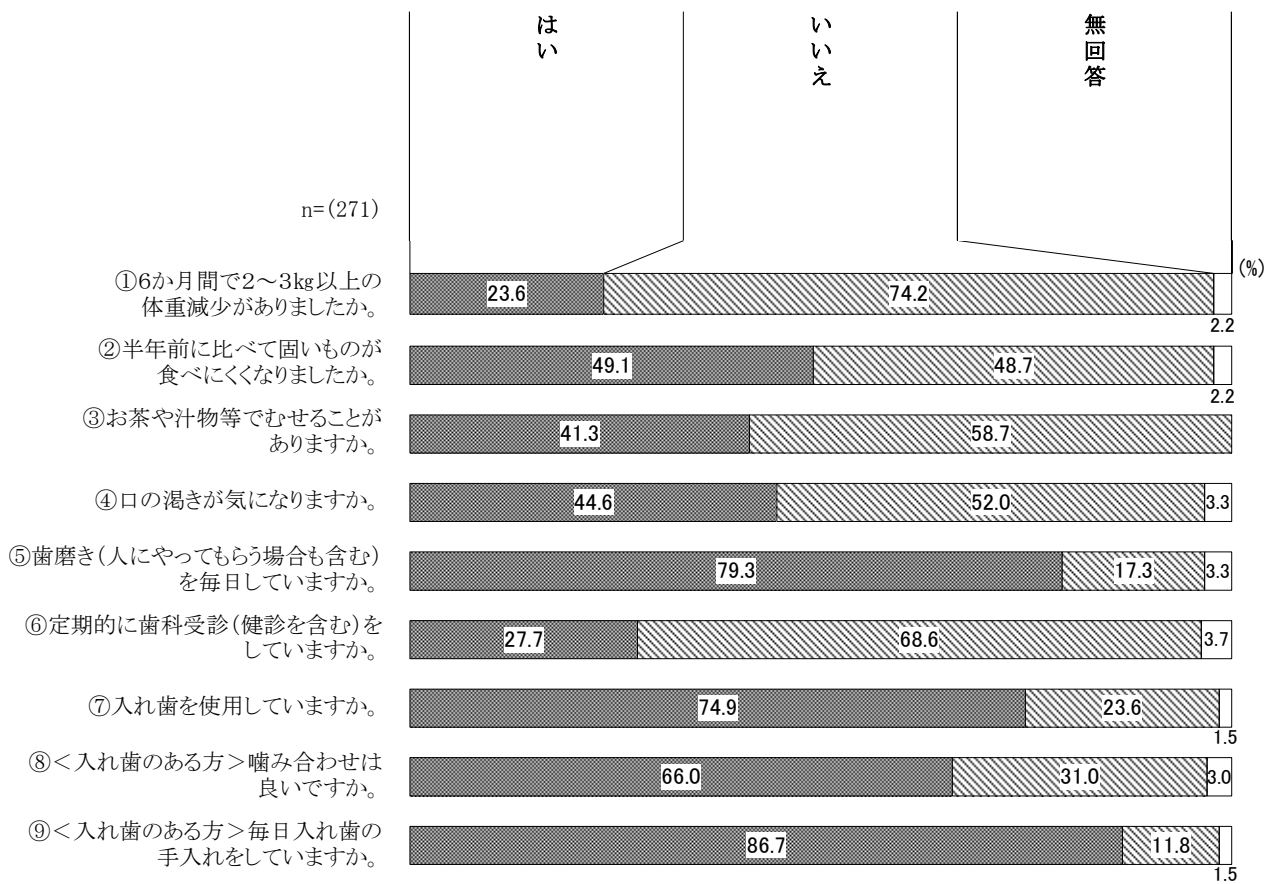
非認定



要支援1～2



要介護1～2

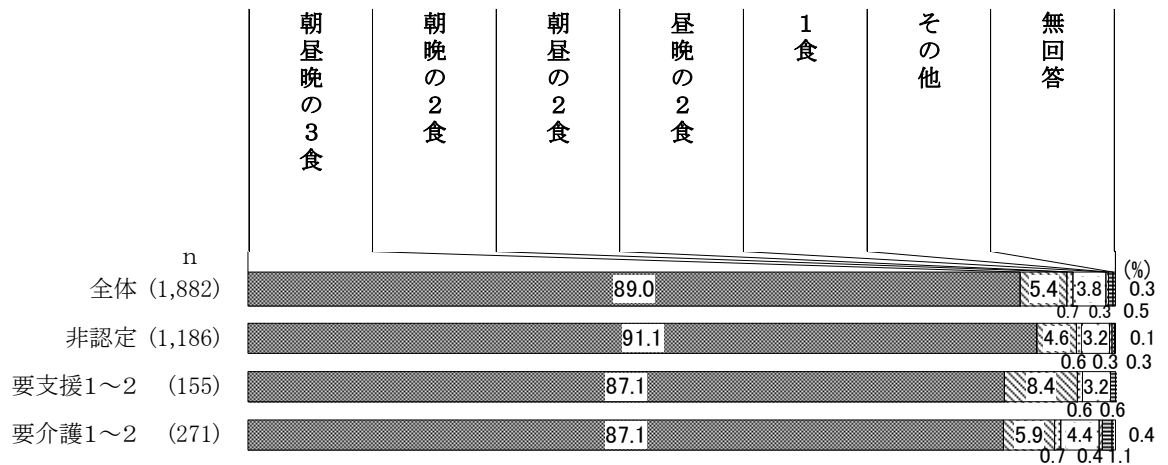


口腔・栄養については、要支援1～2と要介護1～2では同じ程度の傾向となっています。＜歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか＞と＜定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか＞は要介護1～2で「いいえ」が高くなっています。

(3) 1日の食事回数

【非認定～要介護2調査のみ】

問19 1日の食事の回数は何回ですか。[1つに○]

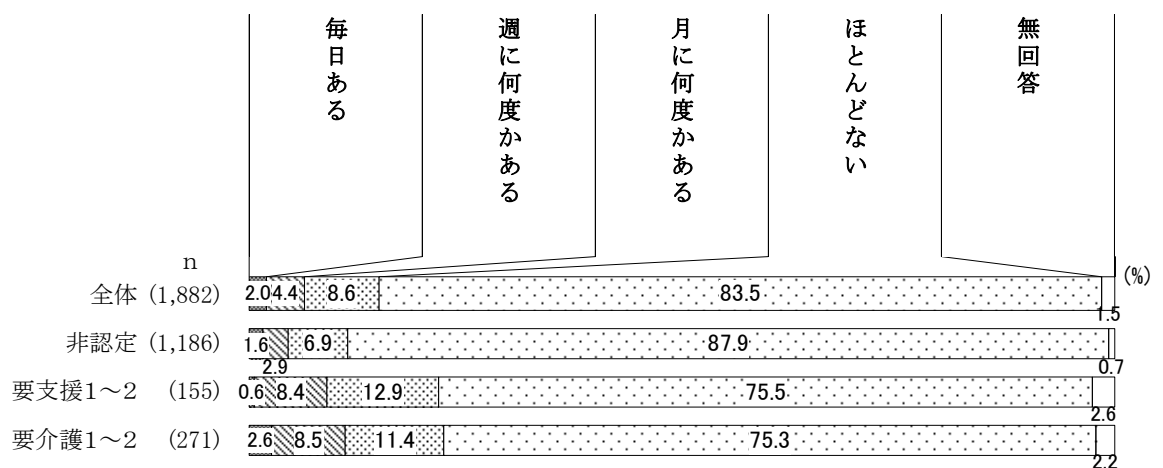


1日の食事回数は、すべての階層で9割前後が「朝昼晩の3食」と回答しています。

(4) 欠食の頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

問20 食事を抜くことがありますか。[1つに○]

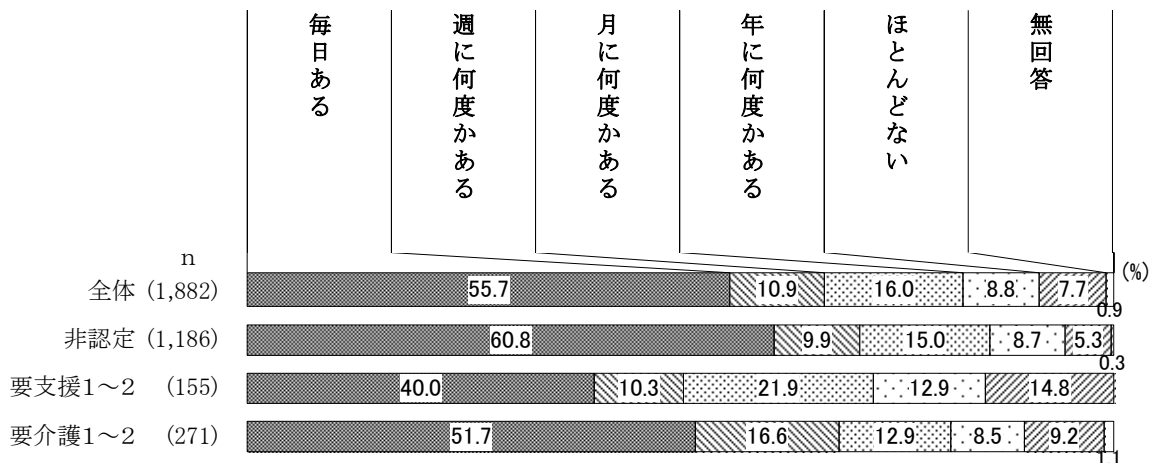


食事を抜くことがあるかを聞いたところ、すべての階層で「ほとんどない」が7割台半ばを超え最も多く、「月に何度かある」が要支援1～2と要介護1～2で1割台前半となっています。

(5) 食事をとにもする機会の有無

【非認定～要介護2調査のみ】

問21 自分一人でなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか。[1つに○]



自分一人でなく、誰かと食事をとにもする機会については、非認定の約6割が「毎日ある」と回答し、要介護1～2では5割台前半、要支援1～2では4割が「毎日ある」と回答しています。「月に何度かある」は要支援1～2で2割第前半となっています。

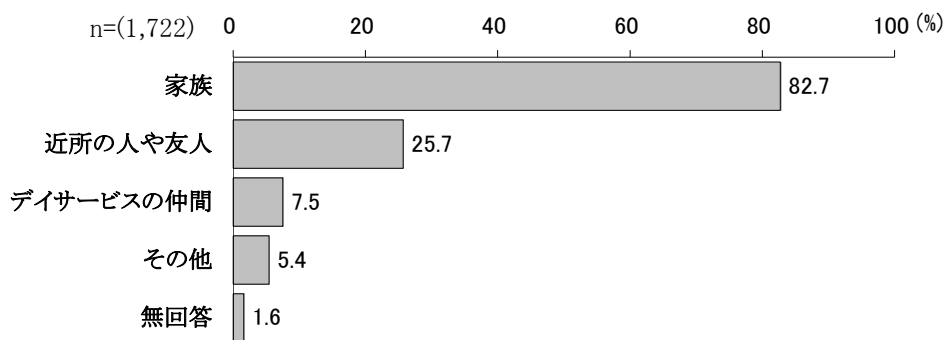
(6) 食事をとにもする機会がある方の続柄

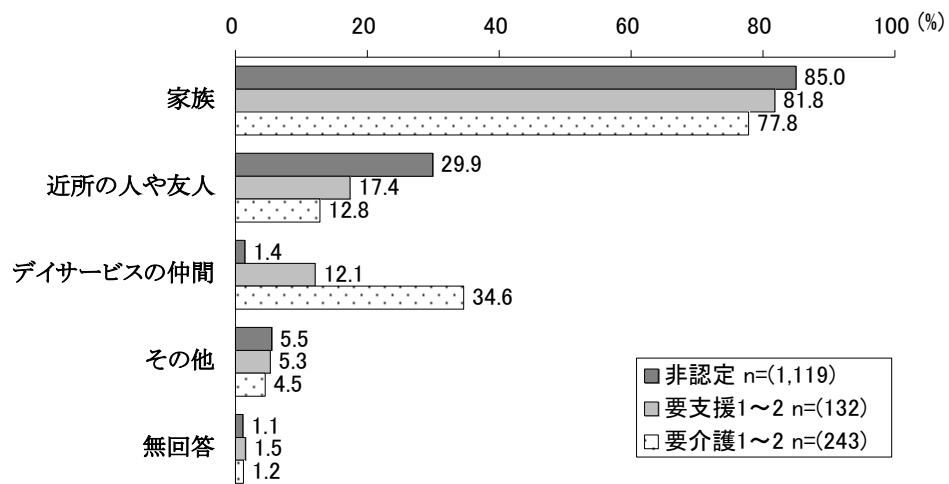
【非認定～要介護2調査のみ】

問21で、どなたかと食事をとにもする機会がある方におたずねします。

問21-1 食事をとにもする人はどなたですか。[いくつでも○]

全体





食事をともにする人は、すべての階層で「家族」が7割台後半～8割台半ばと最も多く、「近所の人や友人」は非認定が約3割、要支援1～2は1割台後半と続いています。要介護1～2では、「デイサービスの仲間」が3割台前半と「家族」に次いで多くなっています。

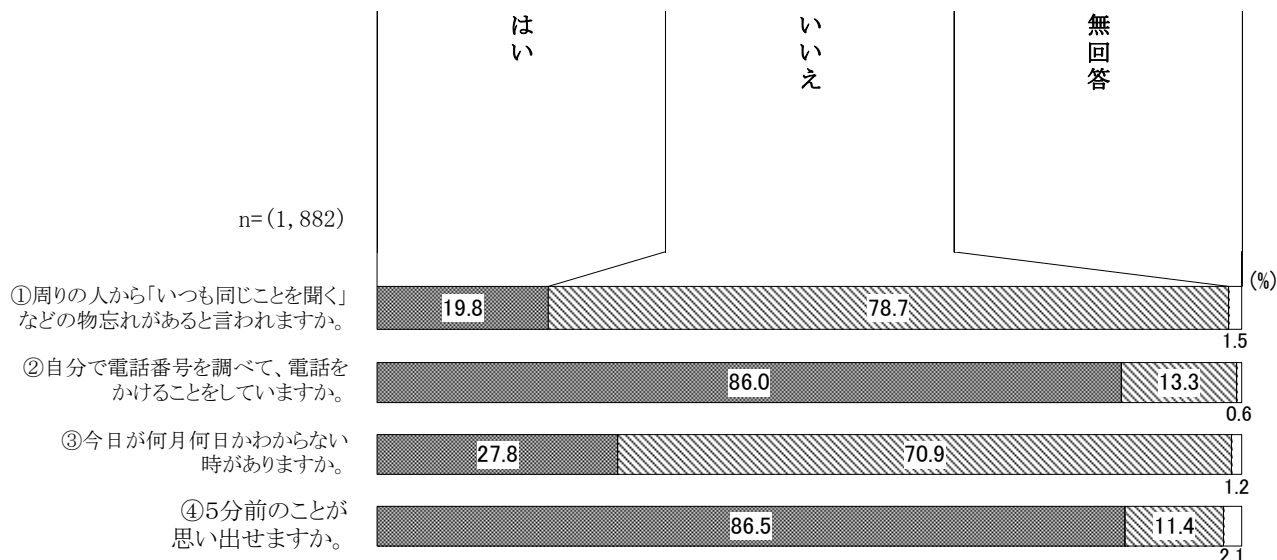
7. 物忘れについて

(1) もの忘れ

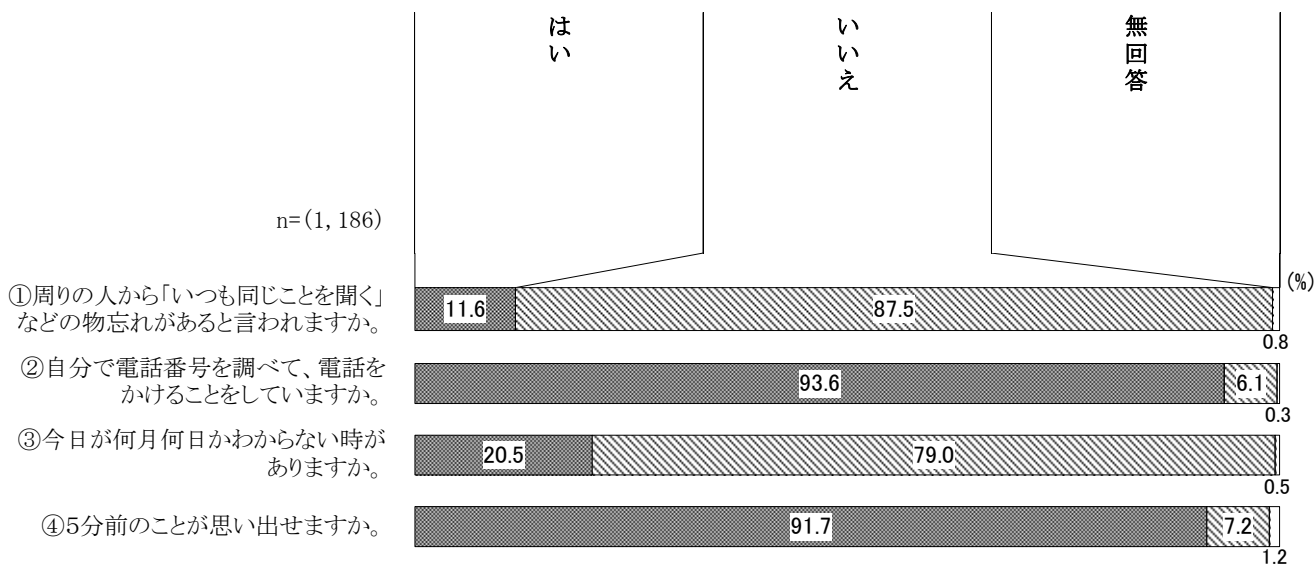
【非認定～要介護2調査のみ】

問22 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

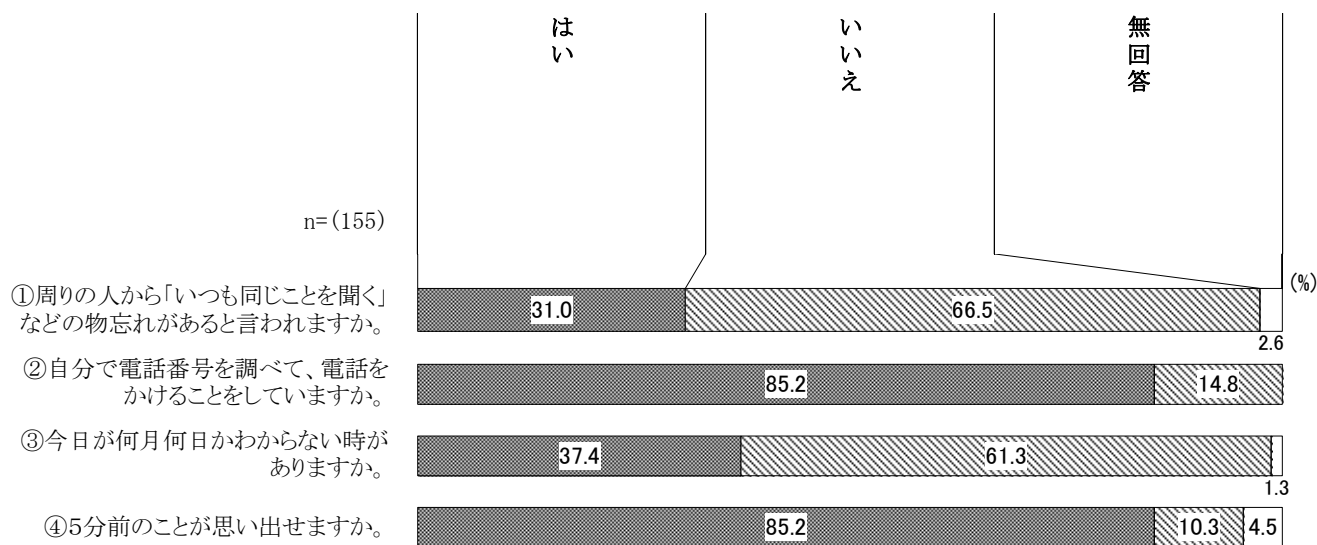
全体



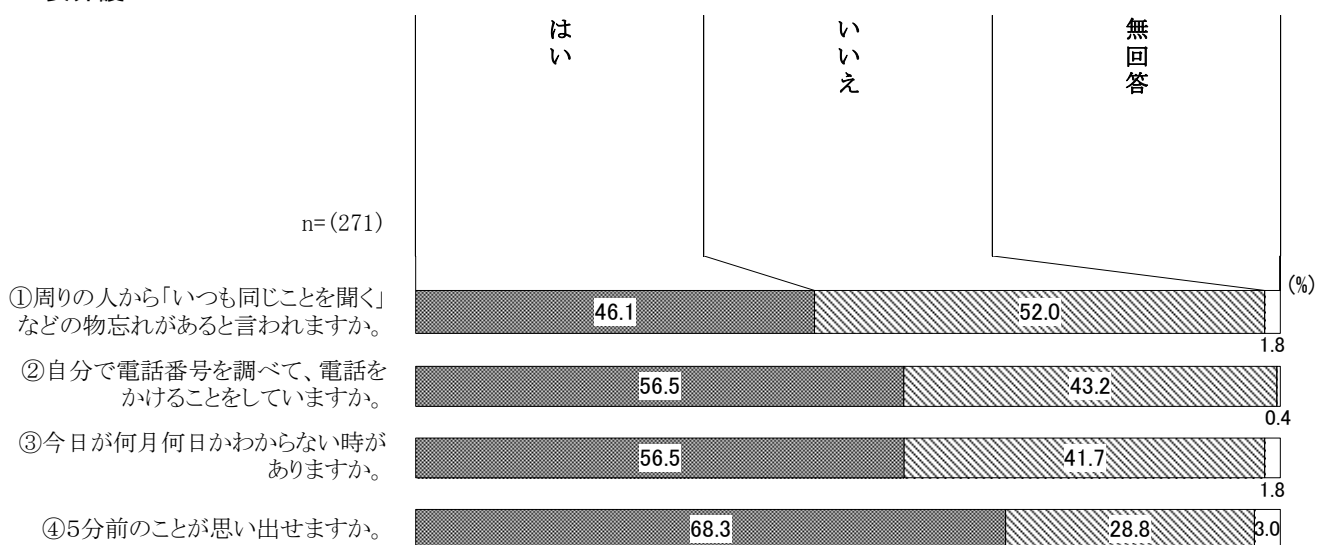
非認定



要支援1～2



要介護1～2

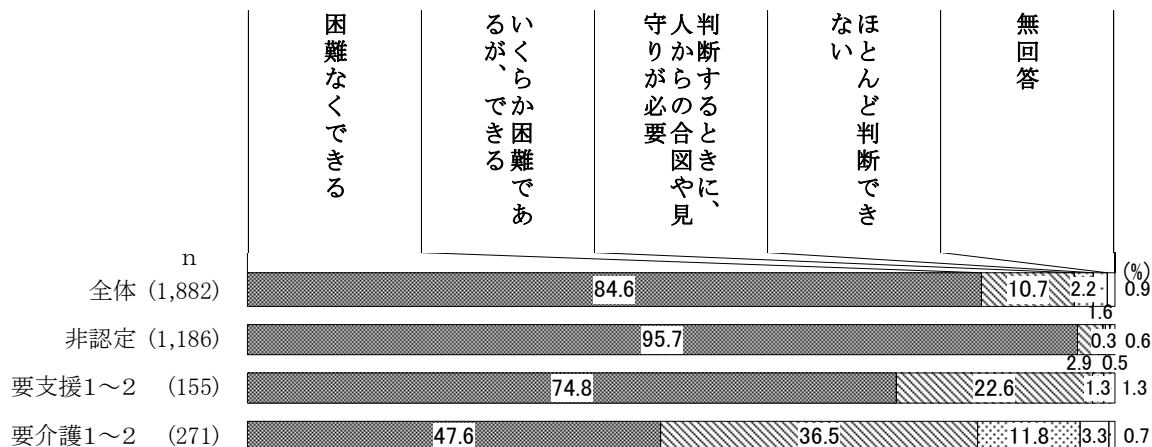


<周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか>は、「はい」は非認定では1割台前半ですが、要支援1～2では3割台前半、要介護1～2では4割台後半に増加しています。<自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか>は、「はい」は非認定が9割台前半、要支援1～2が8割台半ばで大差がありませんが、要介護1～2では、5割台後半と減少しています。<今日が何月何日かわからない時がありますか>は「はい」が非認定では約2割、要支援1～2では3割台後半、要介護1～2では5割台後半と増加しています。<5分前のことが思い出せますか>は、「はい」が非認定で9割台前半、要支援1～2で8割台半ば、要介護1～2では6割台後半と減少しています。

(2) 活動の判断能力

【非認定～要介護2調査のみ】

問23 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。[1つに○]

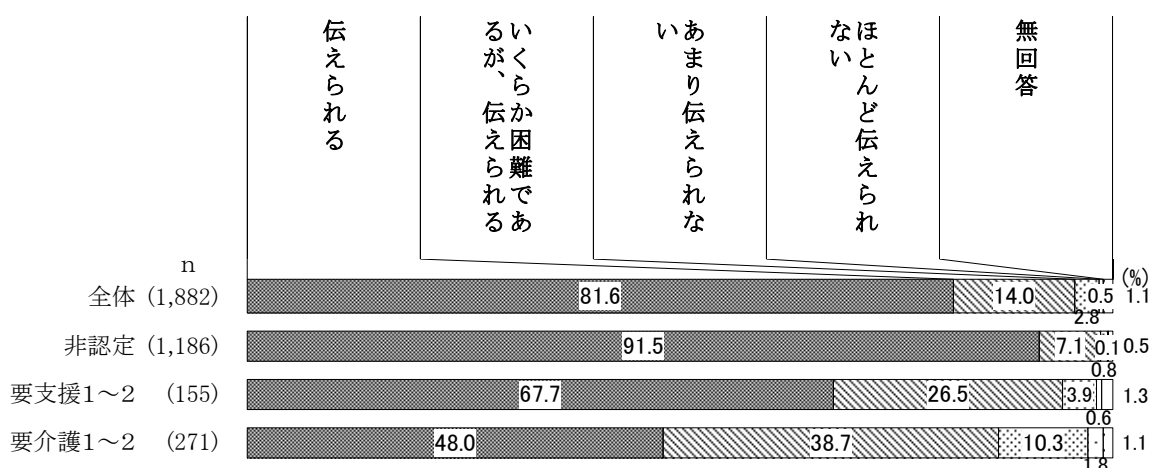


その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が非認定では9割台半ば、要支援1～2は7割台前半、要介護1～2では4割台後半と減少しています。「いくらか困難であるが、できる」は要介護1～2で3割台後半となっています。

(3) 意思伝達能力

【非認定～要介護2調査のみ】

問24 人に自分の考えをうまく伝えられますか。[1つに○]



人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」は介護度が上がるにしたがい減少し、要支援1～2で6割台後半、要介護1～2では4割台後半となっています。

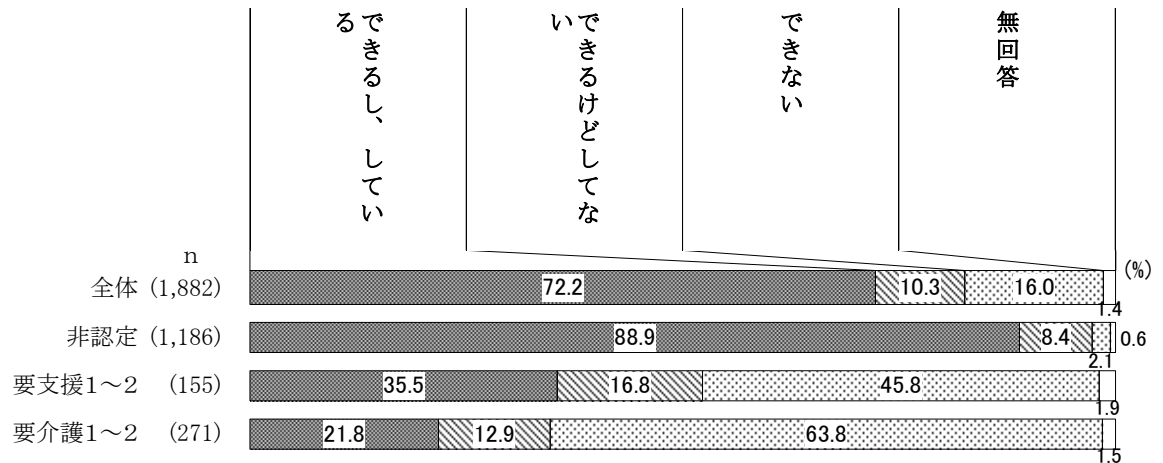
8. 日常生活について

(1) 日常生活のさまざまな行動について

【非認定～要介護2調査のみ】

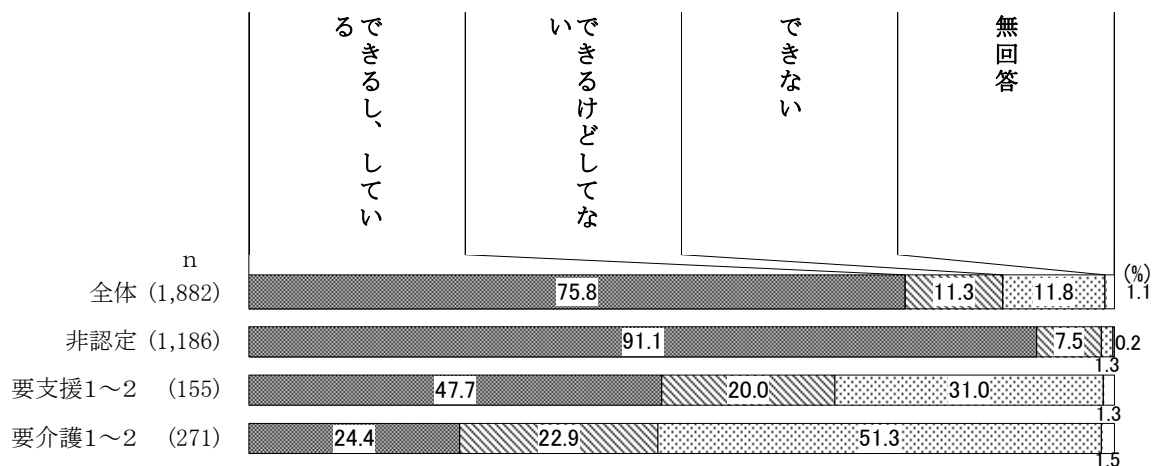
問25 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

①一人で外出



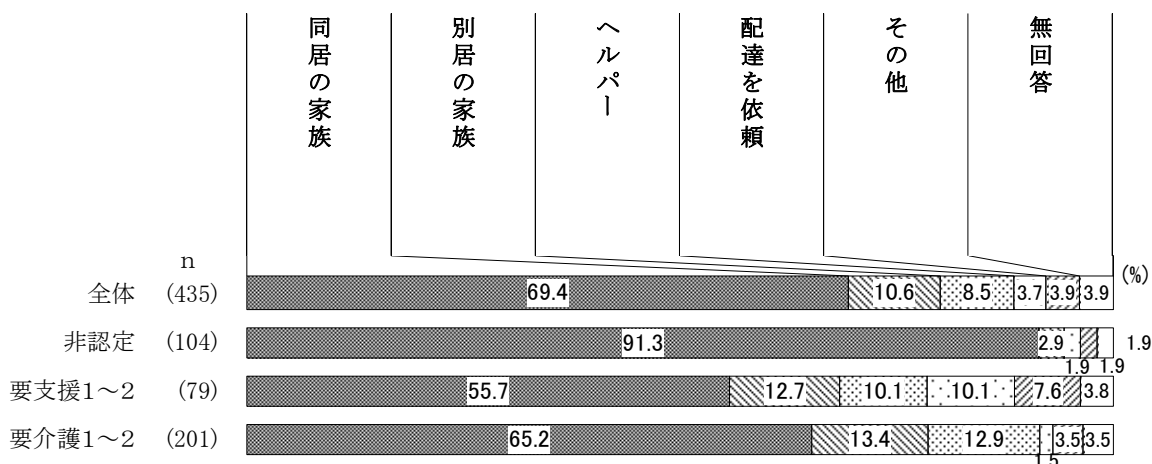
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）については、要支援1～2では「できるし、している」は3割台半ば、要介護1～2では2割台前半、「できない」は要支援1～2で4割台半ば、要介護1～2では6割台前半となっています。

②日用品の買い物



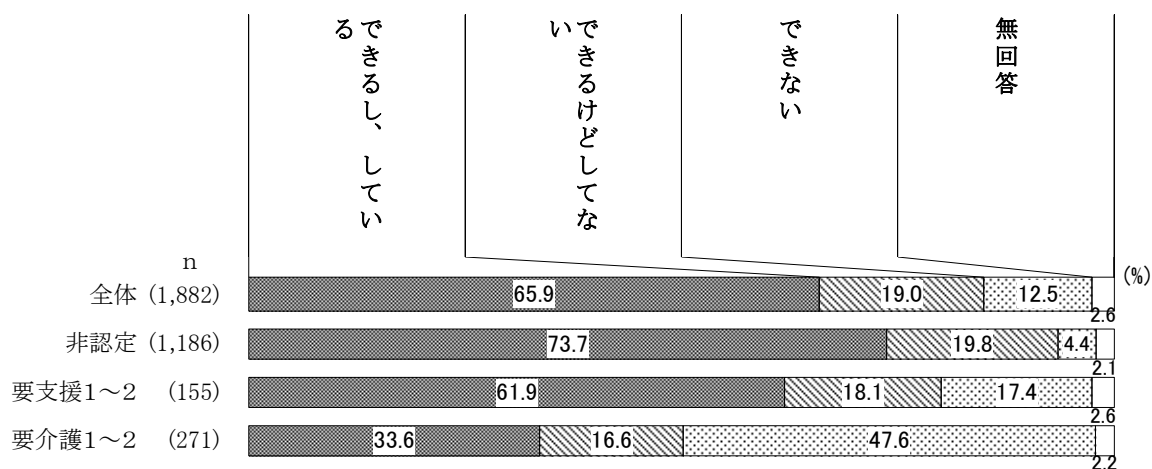
日用品の買い物については、「できるし、している」は要支援1～2が4割台後半、要介護1～2では2割台前半と減少しています。「できるけどしてない」は要支援1～2、要介護1～2とも2割台となっています。「できない」は要支援1～2で3割台前半、要介護1～2では5割台前半と増加しています。

②-1 日用品の買い物を主にしている人



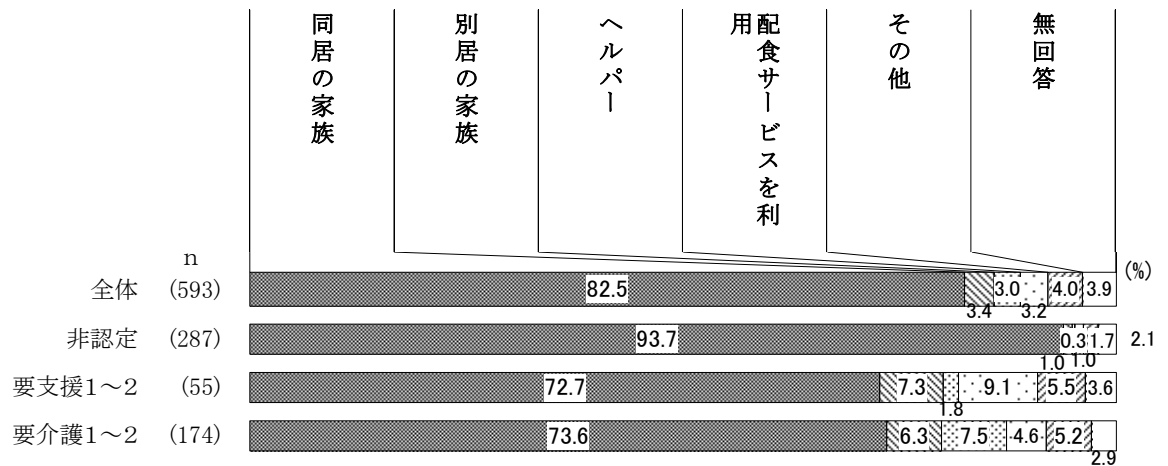
日用品の買い物について「できるけどしてない」「できない」と回答した方の日用品の買い物を主にしている人は、すべての階層で「同居の家族」が最も多く、非認定では9割台前半、要支援1~2では5割台半ば、要介護1~2では6割台半ばとなっています。要支援1~2と要介護1~2では「別居の家族」「ヘルパー」が1割台となり、要支援1~2では「配達を依頼」も1割となっています。

③食事の用意



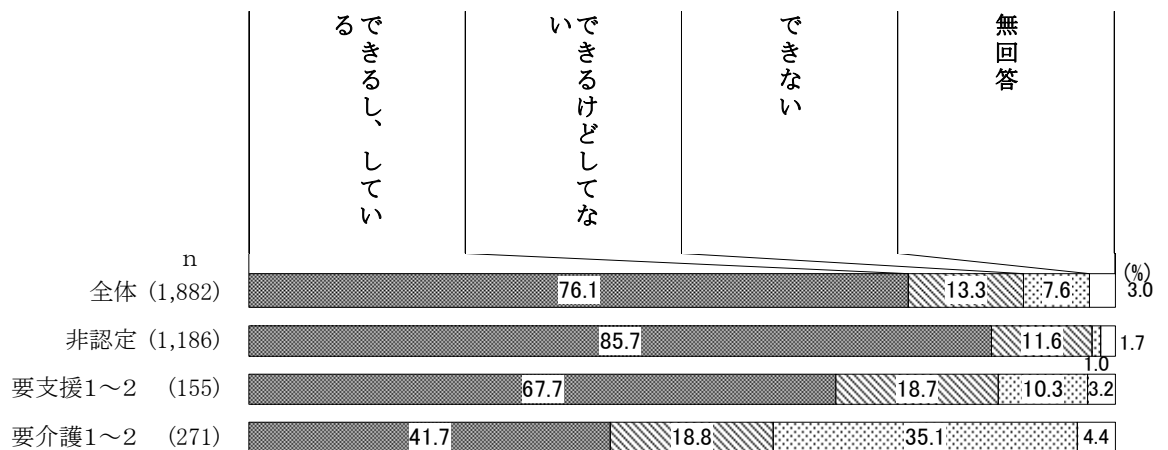
自分で食事の用意をしていますかは、「できるし、している」は非認定では7割台前半、要支援1~2では6割台前半、要介護1~2では3割台前半と要支援1~2より、28.3ポイント減少しています。一方、「できない」は介護度が上がるにしたがい増加し、要介護1~2では4割台後半となっています。

③-1 食事の用意を主にしている人



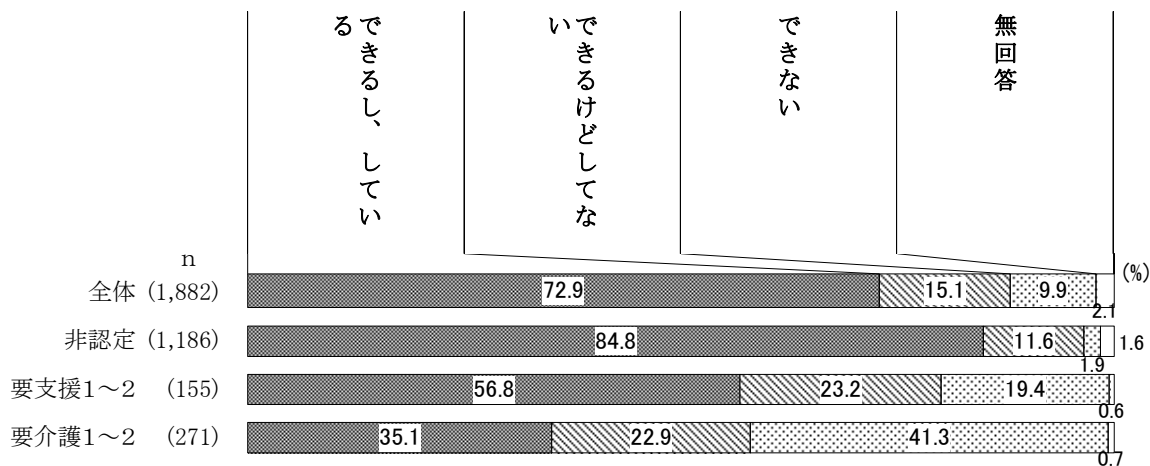
食事の用意について、「できるけどしてない」「できない」と回答した方の食事の用意を主にしている人は、すべての階層で「同居の家族」が最も多く、非認定では、9割台前半、要支援1~2と要介護1~2では7割台前半となっています。

④請求書の支払い



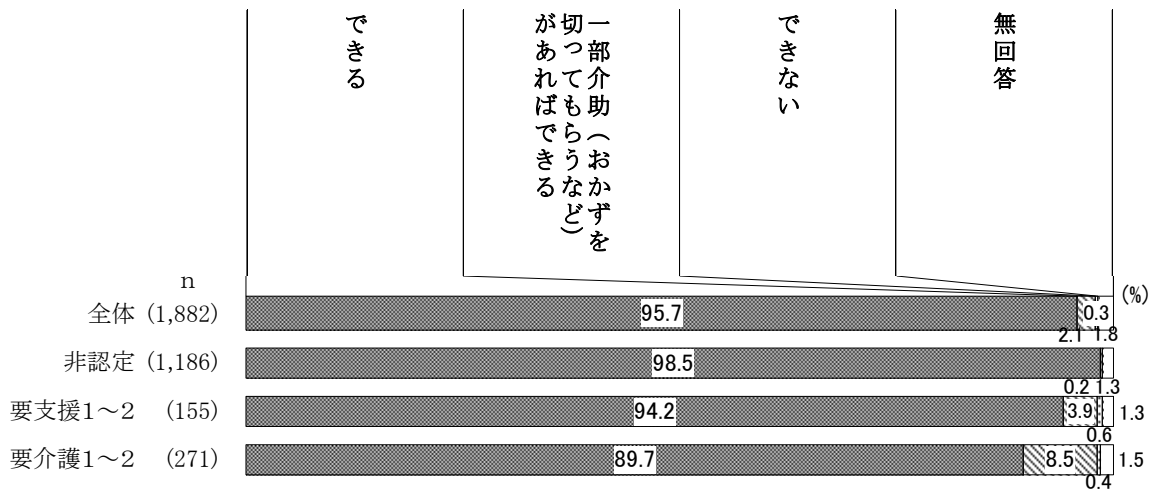
請求書の支払いについては、「できるし、している」は介護度が上がるにしたがい減少し、非認定では8割台半ば、要支援1~2では6割台後半、要介護1~2では4割台前半となっています。「できるけどしてない」は要支援1~2と要介護1~2では1割台後半となっています。一方「できない」は要介護1~2で3割台半ばと要支援1~2と比較すると3.5倍に増加しています。

⑤ 預貯金の出し入れ



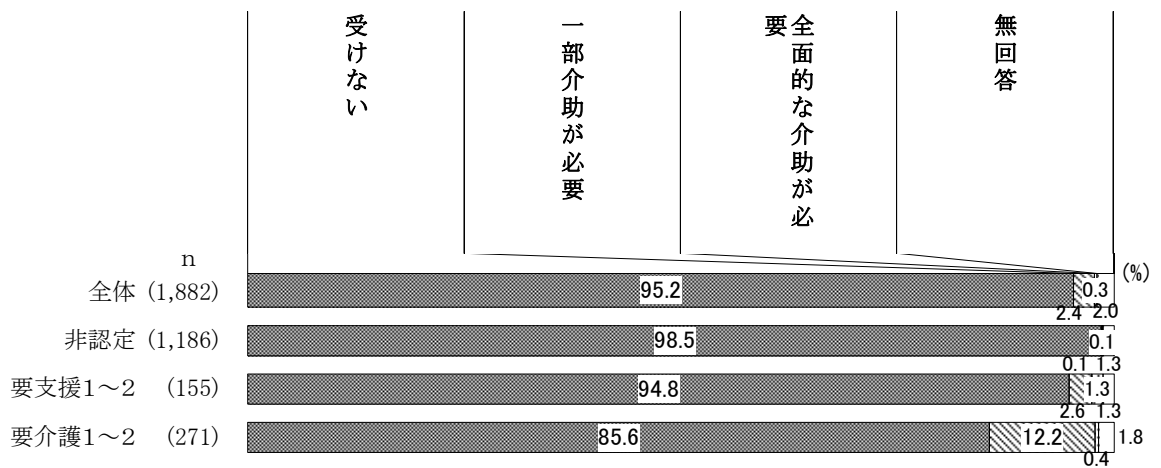
預貯金の出し入れについては、「できるし、している」は非認定で8割台前半、要支援1~2で5割台後半、要介護1~2では3割台半ばと減少しています。「できるけどしてない」は要支援1~2と要介護1~2で2割第前半となっています。「できない」は非認定が1割台前半に対して、要支援1~2では約2割、要介護1~2では4割第前半と増加しています。

⑥ 食事の摂り方



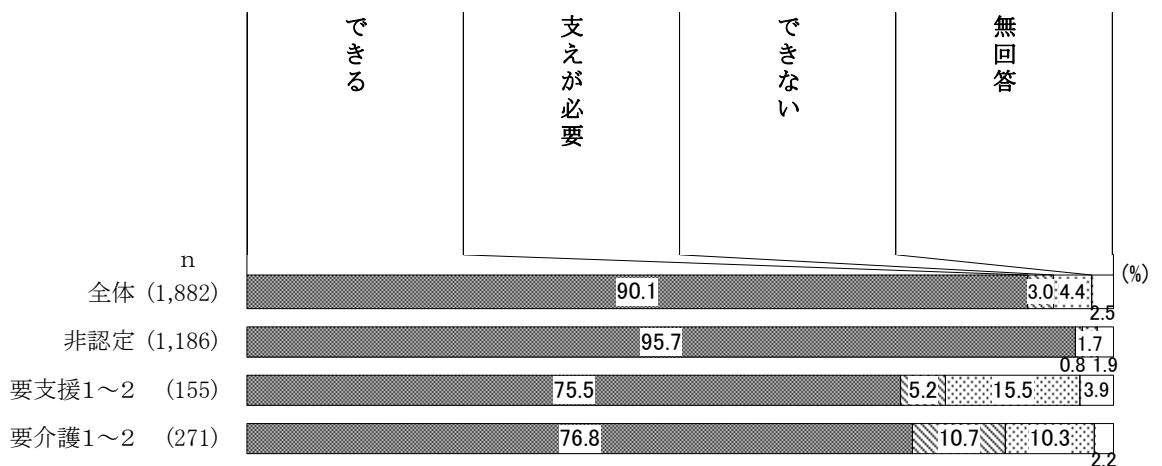
食事は自分で食べられるかは、すべての階層で「できる」の回答が多くなっています。

⑦就寝時の介助



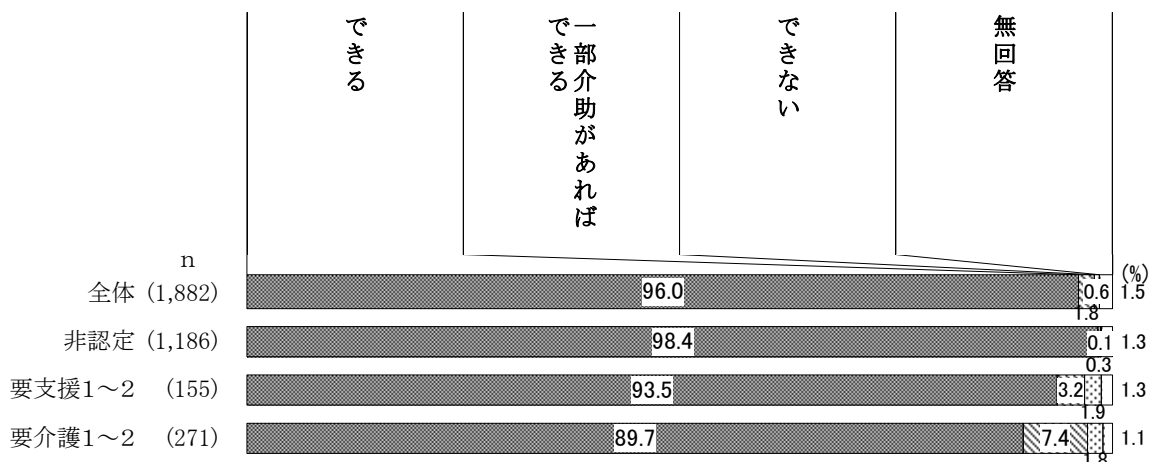
寝床に入るとき、何らかの介助を受けますかは、すべての階層で「受けない」が多くなっています。要介護1～2で「一部介助が必要」が1割台前半となっています。

⑧座っていることができるか



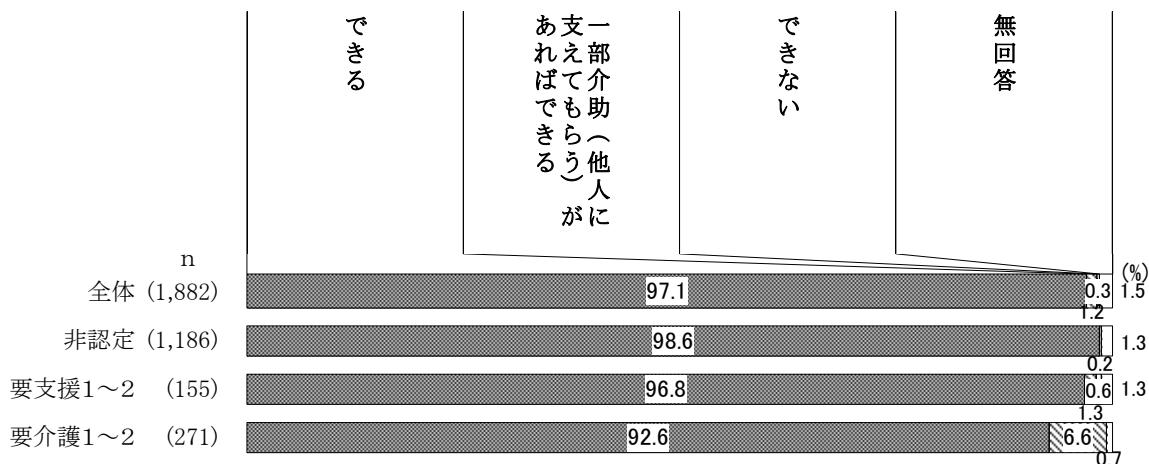
座っていることができるかは、非認定の9割台半ばが「できる」と回答し、要支援1～2と要介護1～2では7割台半ばが「できる」と回答しています。「できない」は要支援1～2で1割台半ば、要介護1～2では約1割となっています。要介護1～2では「支えが必要」も1割となっています。

⑨洗面や歯磨き



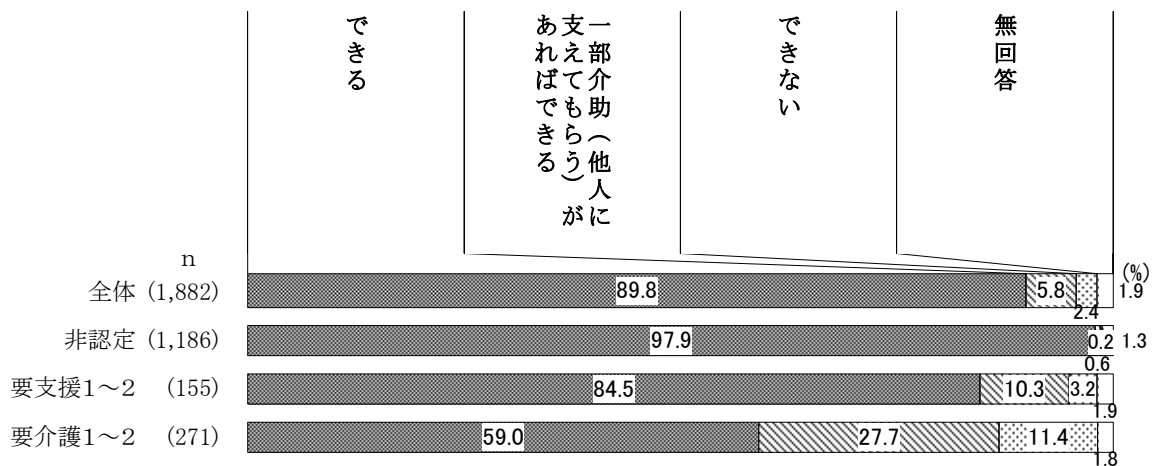
自分で洗面や歯磨きができるかは、すべての階層で「できる」が約9割以上と多くなっています。

⑩トイレ



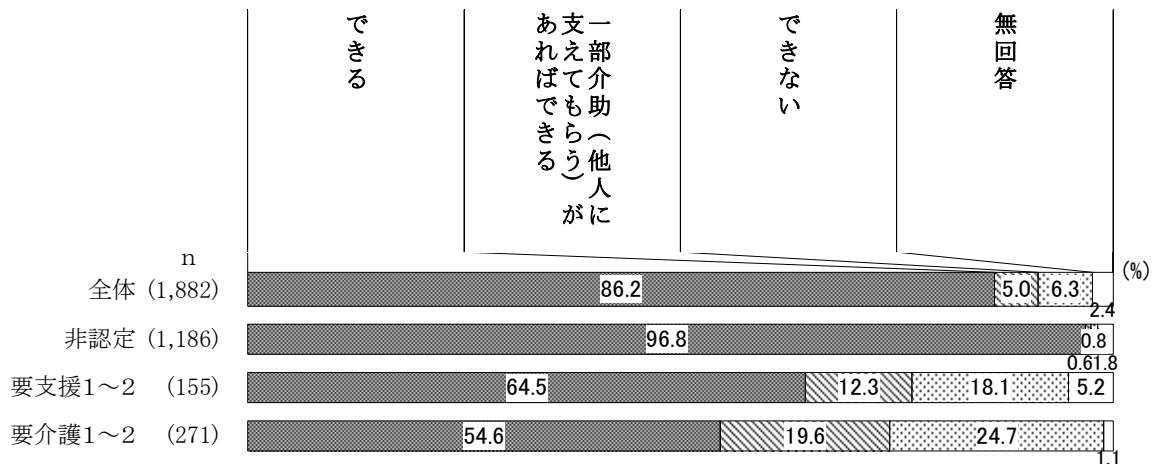
自分でトイレができるかは、すべての階層で9割以上が「できる」と回答しています。

⑪入浴



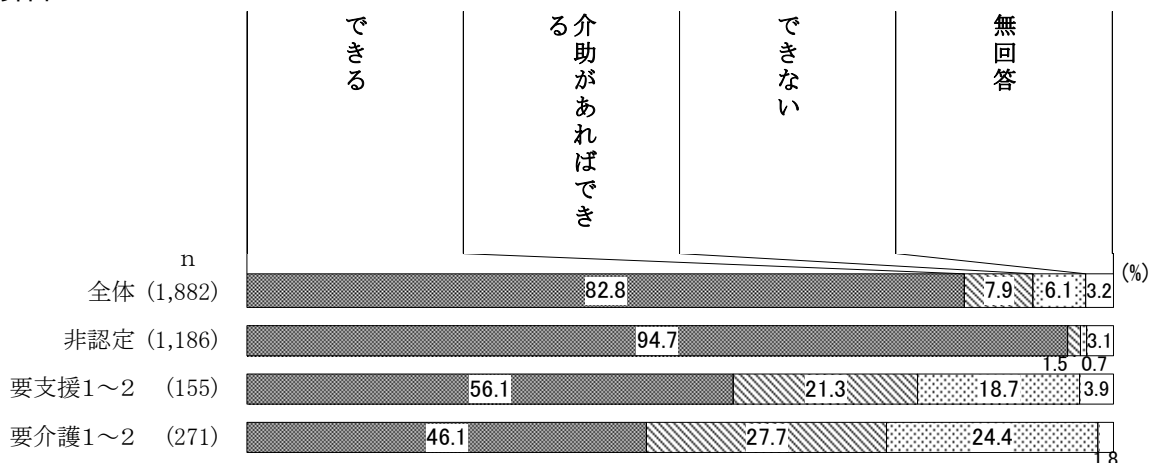
自分で入浴ができるかは、非認定では9割台後半が「できる」と回答し、要支援1～2では8割台前半、要介護1～2では約6割が「できる」と回答しています。「一部介助（他人支えてもらう）があればできる」は要支援1～2で1割、要介護1～2で2割台後半であり、「できない」は要支援1～2と要介護1～2で1割となっています。

⑫50m以上の歩行



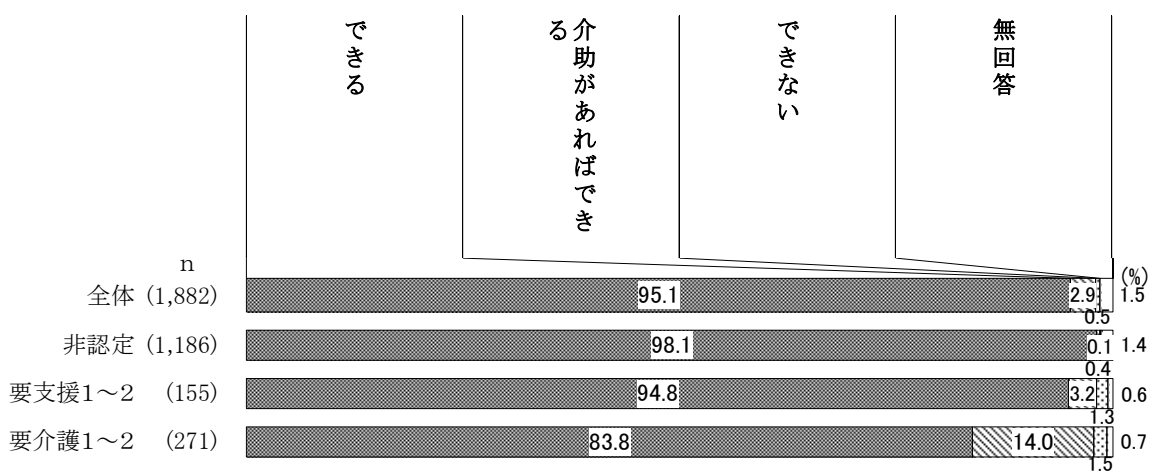
50m以上歩けるかは、非認定では9割台後半が「できる」と回答し、要支援1～2では6割台前半、要介護1～2では5割台前半となっています。「一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」が要支援1～2で1割台前半、要介護1～2で約2割となっています。一方、「できない」は要支援1～2で1割台後半、要介護1～2で2割台前半と増加しています。

⑬階段の昇降



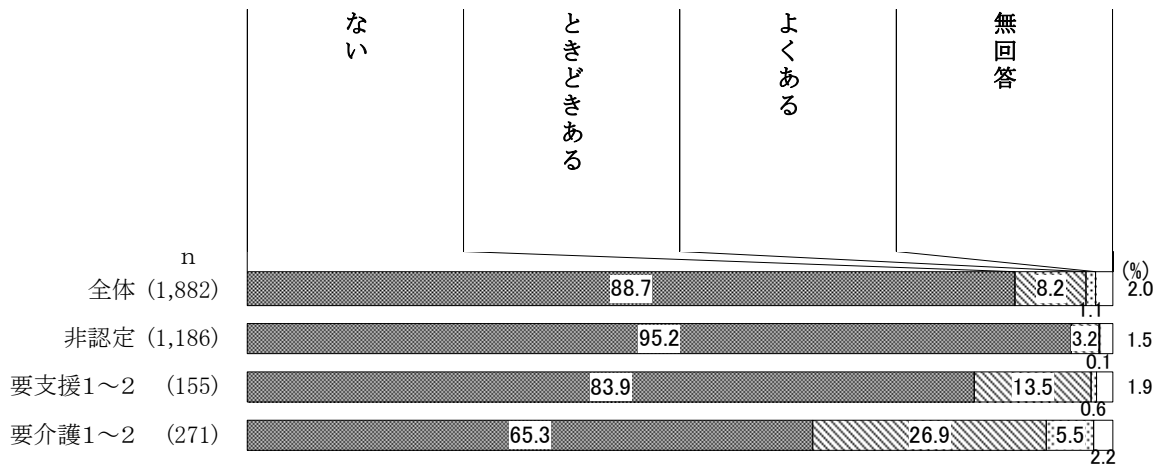
階段を昇り降りできるかは非認定の9割台前半が「できる」と回答し、要支援1～2では5割台後半に減少、要介護1～2ではさらに4割台後半に減少しています。「介助があればできる」は要支援1～2で2割台前半、要介護1～2で2割台後半となっています。一方、「できない」は要支援1～2で1割台後半、要介護1～2で2割台前半と増加しています。

⑭着替え



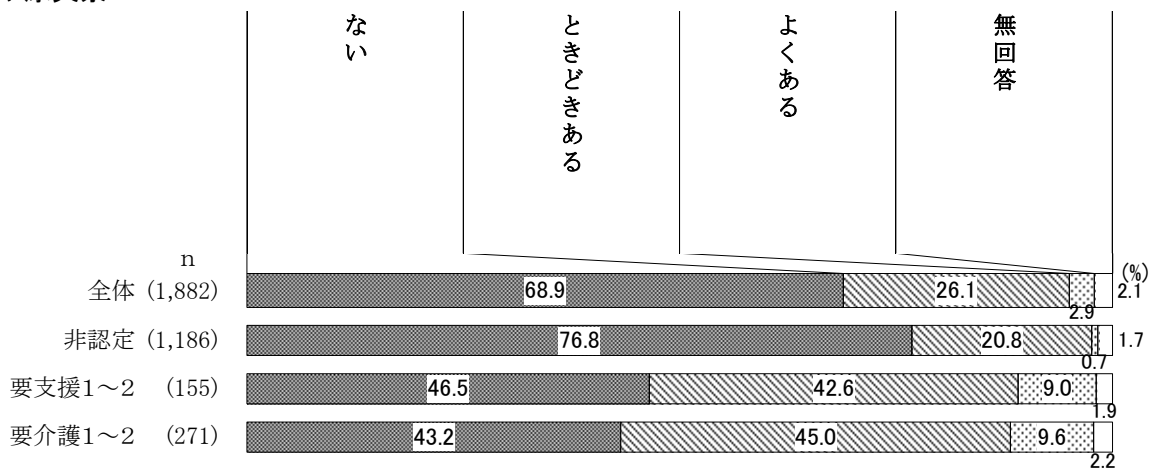
自分で着替えができるかは、すべての階層で「できる」が最も多く、非認定と要支援1～2では9割を超え、要介護1～2では8割台前半となっています。「できない」は要介護1～2で1割台前半となっています。

⑮大便の失敗



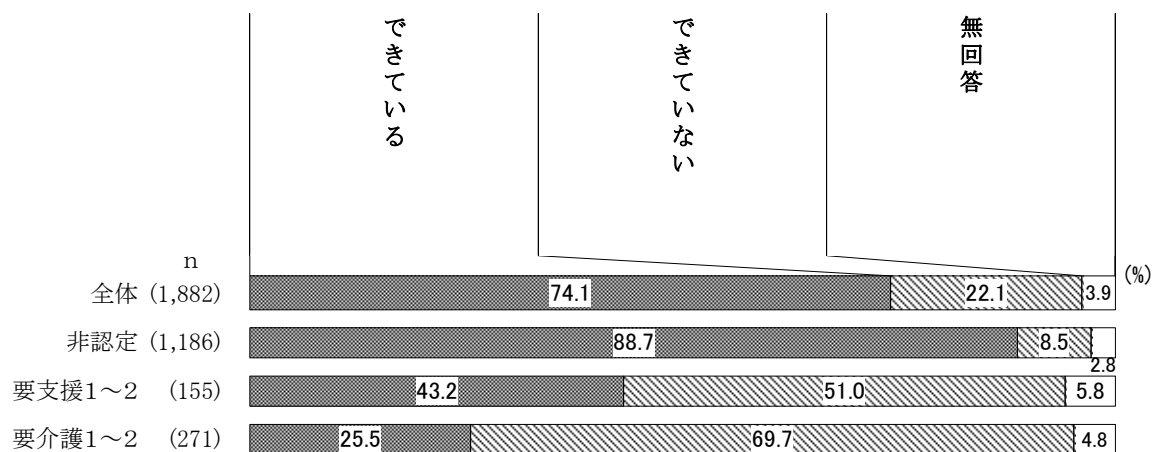
大便の失敗があるかは、非認定で9割台半ば、要支援1～2は8割台前半、要介護1～2で6割台半ばが「ない」と回答しています。「ときどきある」は要支援1～2で1割台前半、要介護1～2で2割台後半となっています。

⑯尿もれや尿失禁



尿もれや尿失禁があるかは、非認定の7割台後半が「ない」と回答しています。介護度が上がるにしたがい「ときどきある」の割合が増加しており、要支援1～2では4割台前半、要介護1～2では4割台半ばとなっています。

⑰家事全般



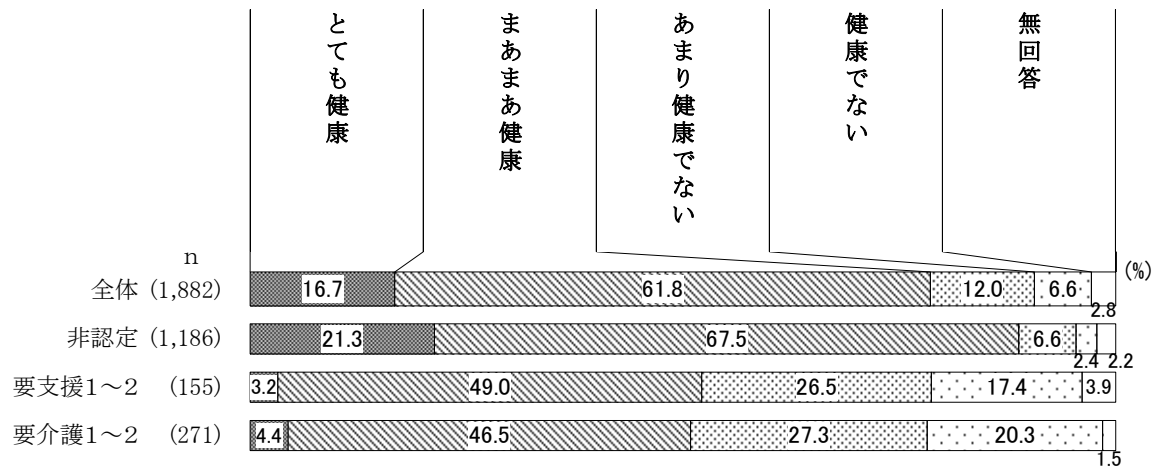
家事全般ができているかは、非認定の8割台後半が「できている」と回答していますが、要支援1～2では約半分の4割代前半、要介護1～2ではさらに減少し2割台半ばとなっています。「できていない」は要支援1～2で約半数、要介護1～2で約7割と増加しています。

9. 健康づくり、医療と介護予防について

(1) 主観的健康感

【非認定～要介護2調査のみ】

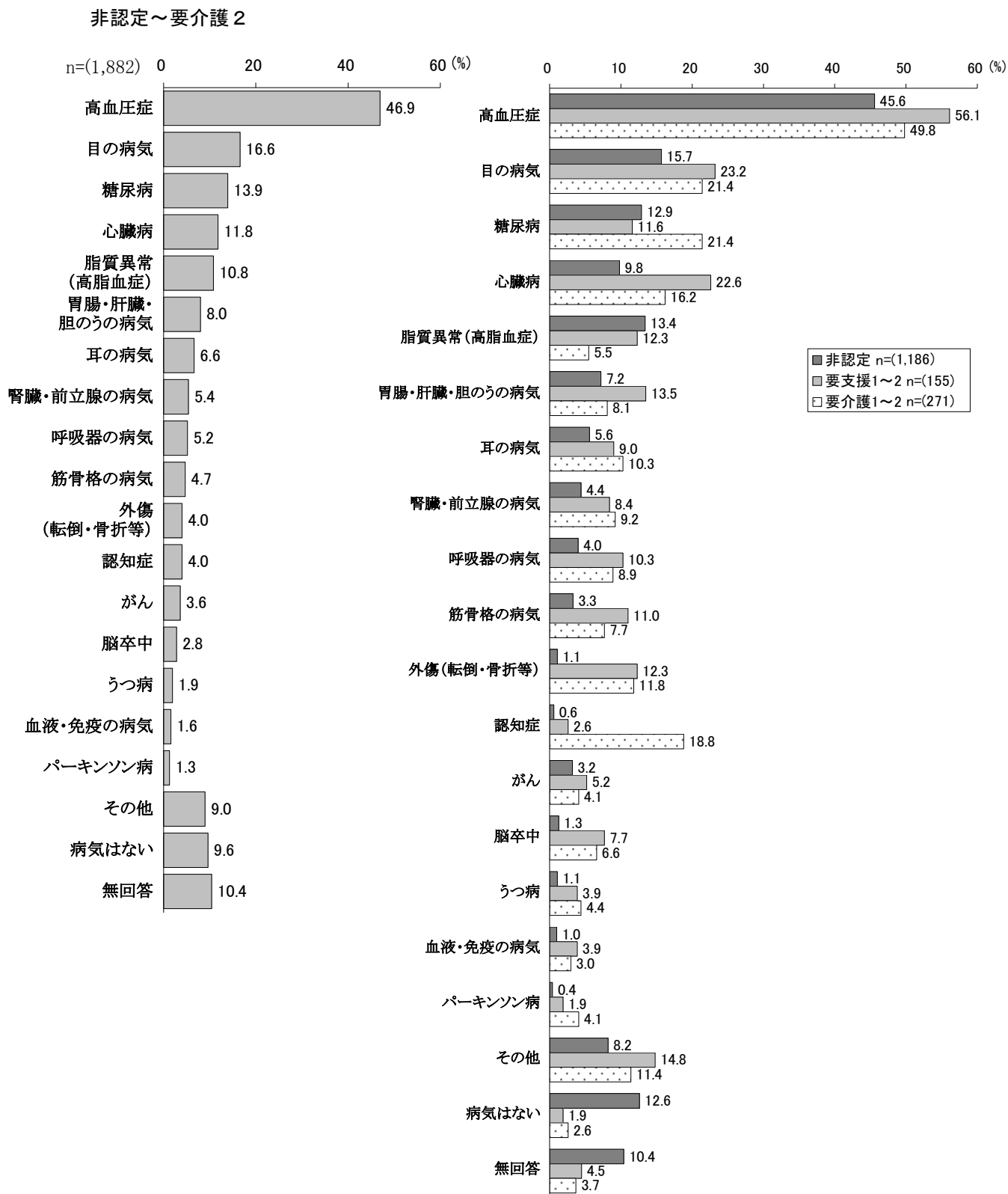
問26 普段、ご自分で健康だと思いますか。[1つに○]

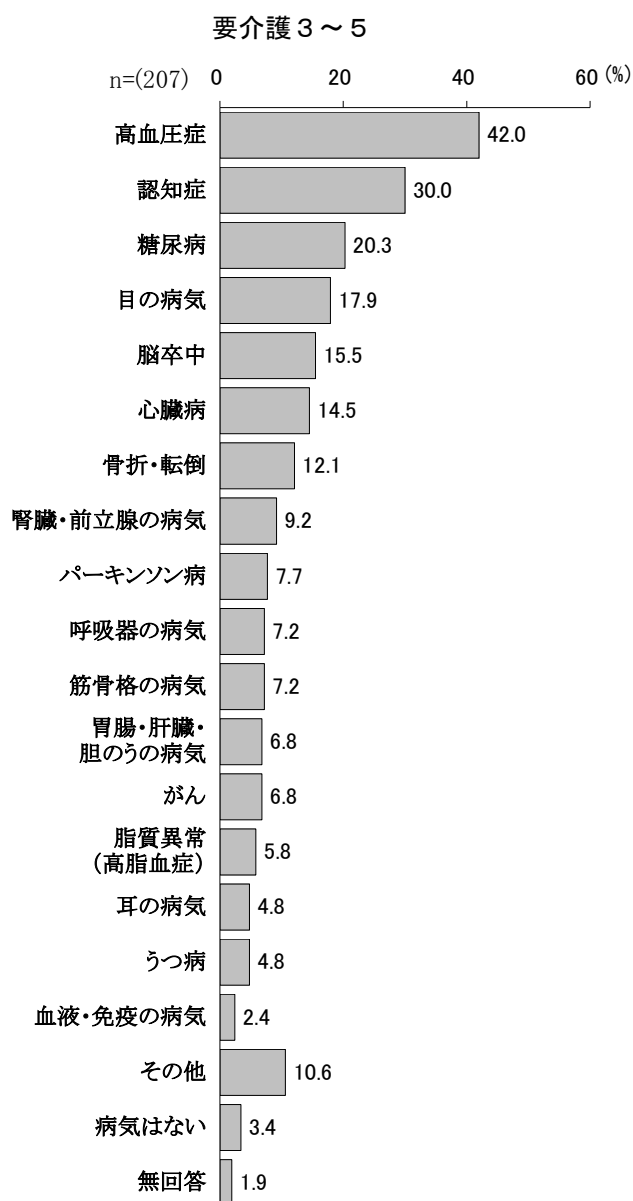


普段の自分の健康状態については、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた<健康>は非認定では8割台後半となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では、5割台前半となっています。一方、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた<健康でない>は、要支援1～2と要介護1～2で4割台となっています。

(2) 治療中の病気の種類

問27 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[いくつでも○]
 【要介護3～5／問8】



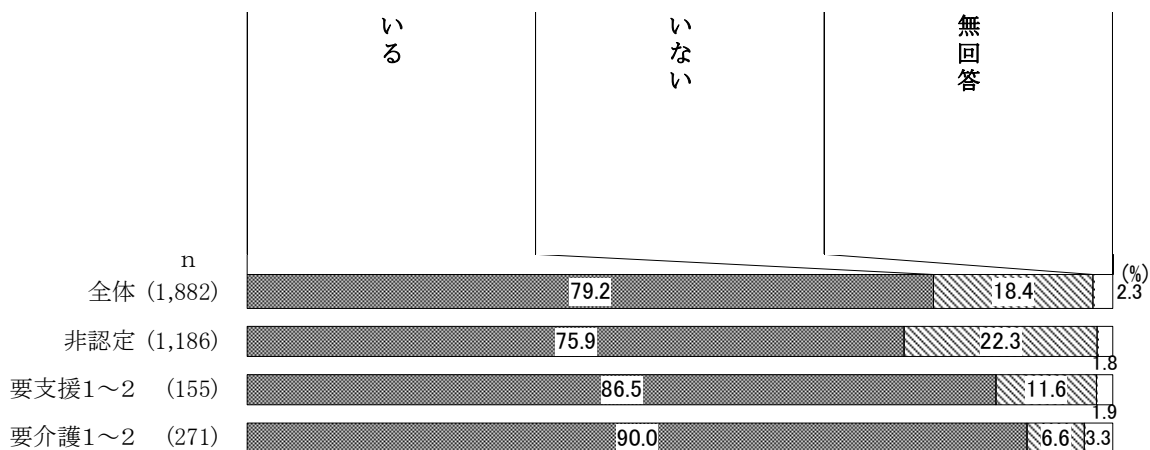


治療中の病気については、非認定、要支援1～2、要介護1～2で「高血圧症」が最も多くなっています。非認定では「高血圧症」が4割台半ば、次いで「目の病気」「脂質異常（高脂血症）」「糖尿病」と続いています。要支援1～2は、「高血圧症」が5割台半ば、次いで「目の病気」「心臓病」となっています。要介護1～2では、「高血圧」が約5割、次いで「糖尿病」「認知症」となっています。要介護3～5では、「高血圧症」が4割台前半、「認知症」が3割、「糖尿病」が2割となっています。介護度が上がるにしたがって、治療中の病気として「認知症」の割合が増加しています。

(3) かかりつけ医の有無

【非認定～要介護2調査のみ】

問28 あなたには、健康や病気のことを気軽に相談できるような身近な主治医（かかりつけ医）はいますか。[1つに○]

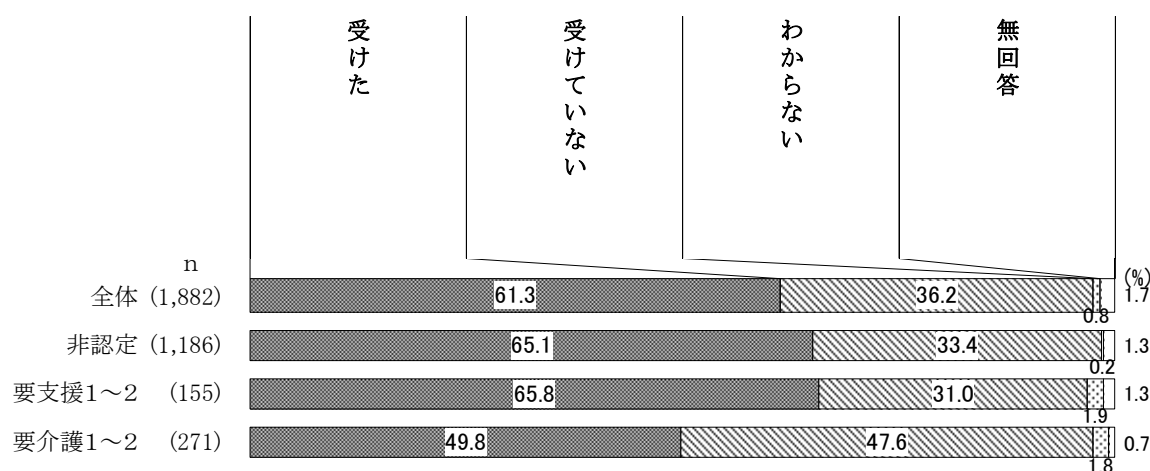


かかりつけ医については、「いる」は介護度が上がるにしたがい増加し、非認定では7割台半ばですが、要支援1～2で8割台後半、要介護1～2で9割となっています。

(4) 健康診査の受診状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問29 あなたは、この1年間に福生市の健康診査を受けましたか。[1つに○]

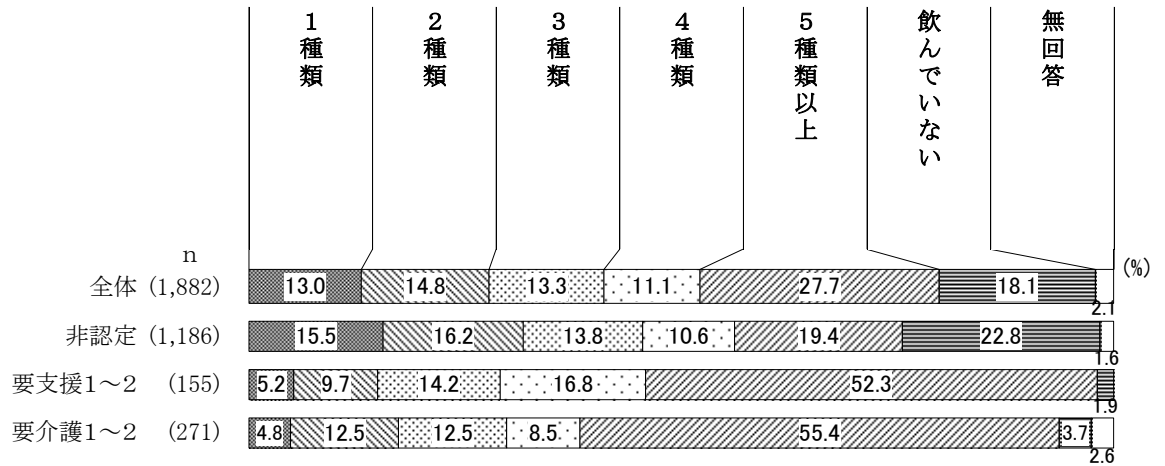


福生市の健康診査の受診の有無は、非認定と要支援1～2では「受けた」が6割台なかば、要介護1～2で約5割となっています。一方、「受けていない」は非認定と要支援1～2では3割台前半ですが、要介護1～2では4割台後半となっています。

(5) 処方薬の種類

【非認定～要介護2調査のみ】

問30 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。[1つに○]



医師の処方した薬を何種類飲んでいるかは、介護度が上がるにしたがい種類が増加し「5種類以上」が要支援1～2では5割前半、要介護1～2で5割台半ばとなっています。一方、「飲んでいない」は非認定で2割前半となっています。

(6) 通院状況

【非認定～要介護2調査のみ】

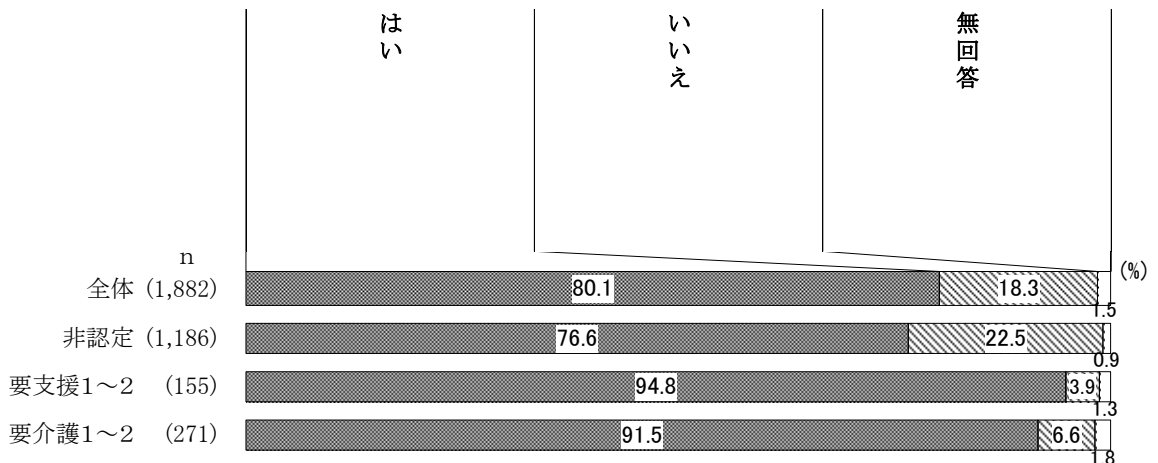
問31 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。[1つに○]

問31で、「1. はい」と答えた方におたずねします。

問31-1 通院している頻度は次のどれですか。[1つに○]

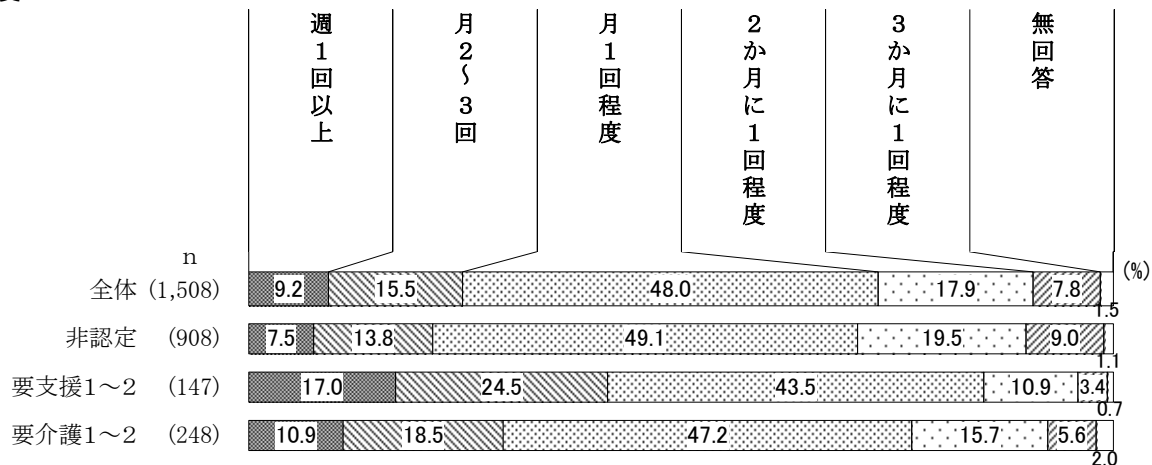
問31-2 通院に介助が必要ですか。[1つに○]

①通院状況



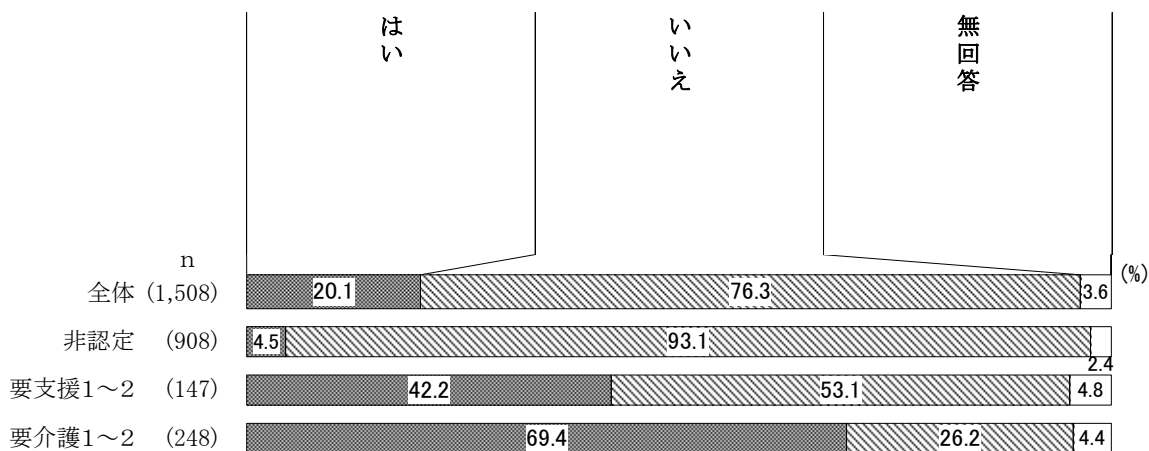
通院状況については、要支援1～2と要介護1～2で「はい」が9割を超えています。

②通院頻度



通院頻度は、非認定、介護度を問わず「月1回程度」が最も多く、非認定では約5割、要支援1〜2で4割台前半、要介護1〜2で4割台後半となっています。「月2〜3回」は要支援1〜2で2割台前半、要介護1〜2で1割台後半となっています。「週1回以上」は要支援1〜2で1割台後半で多くなっています。

③通院時の介助の必要性

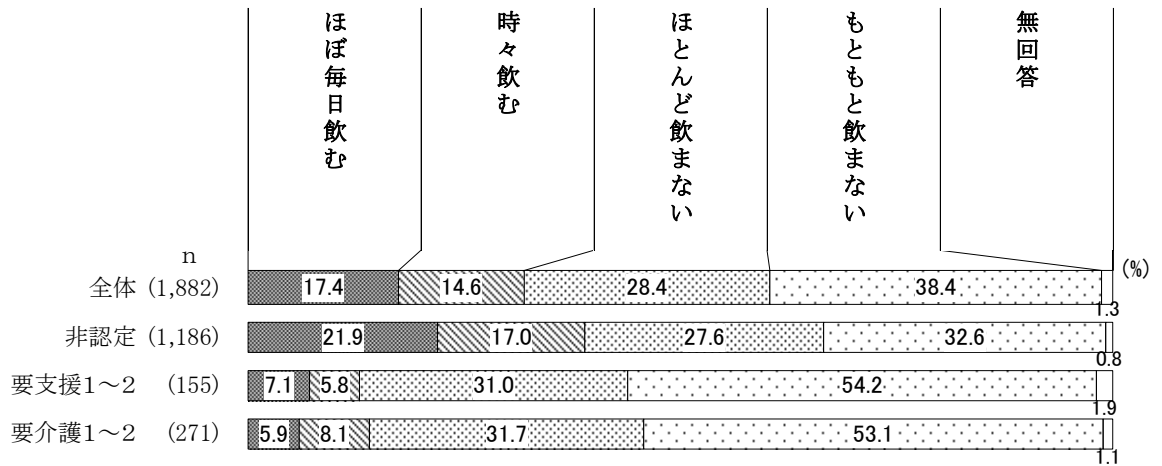


通院時の介助の必要性は、「はい」が要支援1〜2で4割台前半、要介護1〜2で約7割と増加しています。

(7) 飲酒頻度

【非認定～要介護2調査のみ】

問32 お酒は飲みますか。[1つに○]

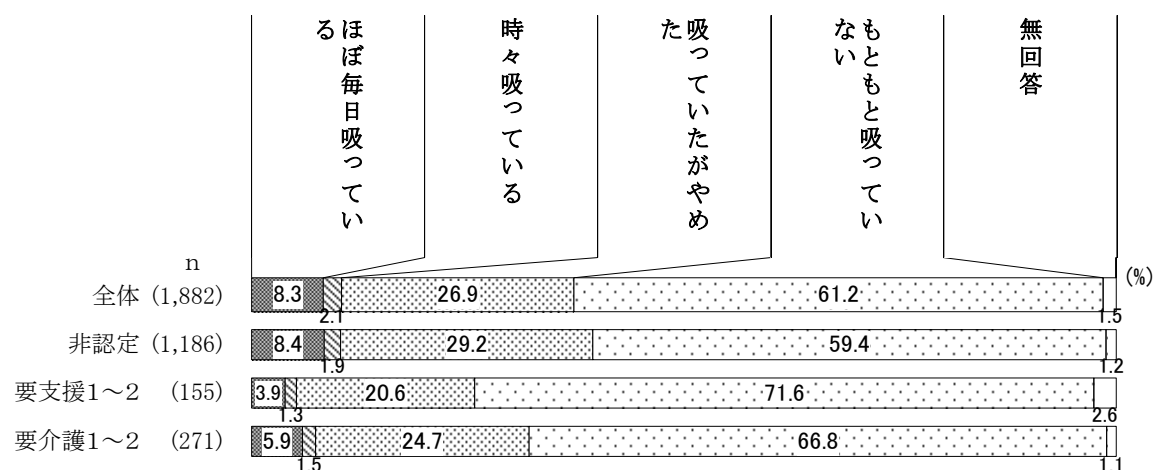


飲酒の頻度は、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた＜飲む＞は、非認定では3割台後半となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では1割台前半に減少しています。「ほとんど飲まない」は非認定で2割台後半、要支援1～2と要介護1～2では3割台前半となっています。「もともと飲まない」は、要支援1～2と要介護1～2でそれぞれ5割台前半となっています。

(8) 喫煙状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問33 タバコは吸っていますか。[1つに○]



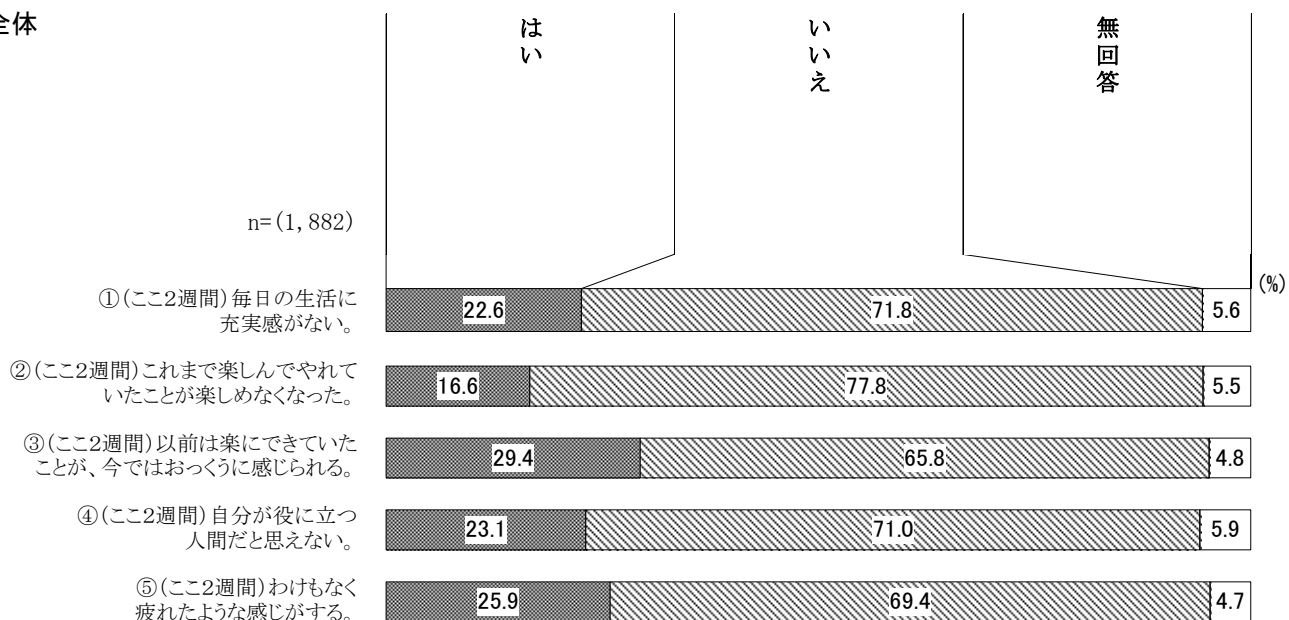
喫煙状況は、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた＜吸っている＞は非認定で約1割にとどまり、「吸っていたがやめた」は非認定で約3割、要支援1～2と要介護1～2では2割台となっています。「もともと吸っていない」は非認定と要介護1～2で最も多い回答となっています。

(9) こころの状況

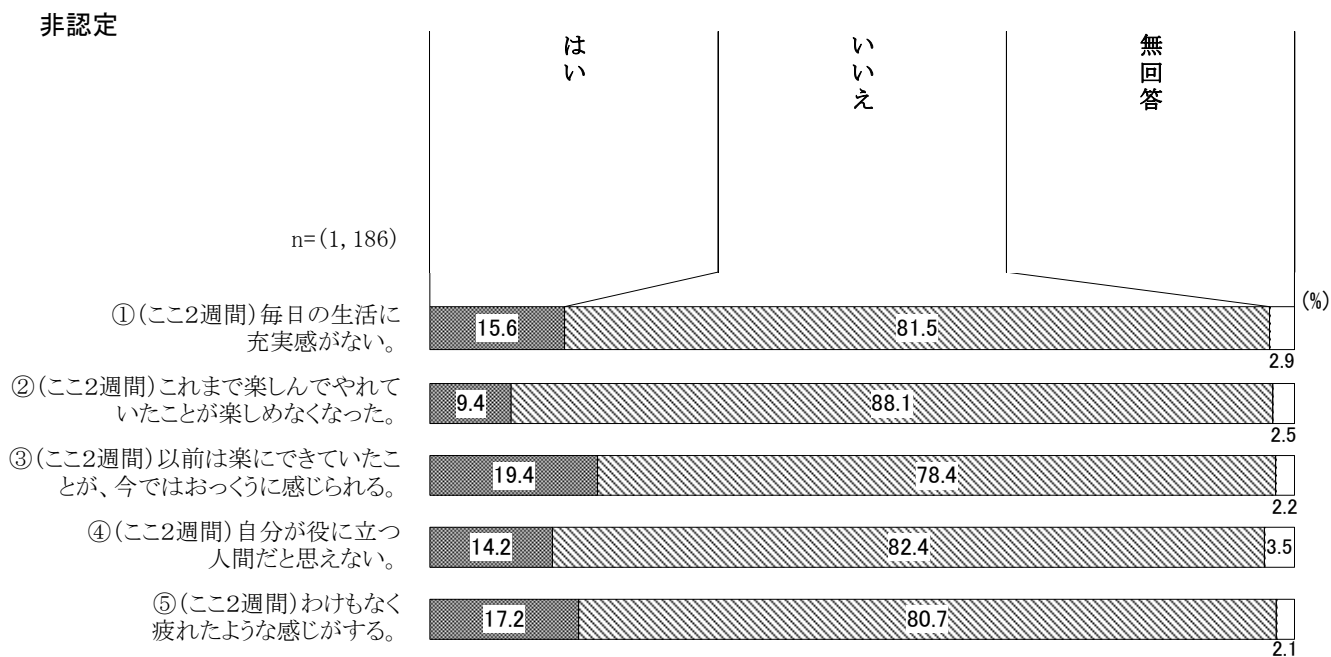
【非認定～要介護2調査のみ】

問34 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

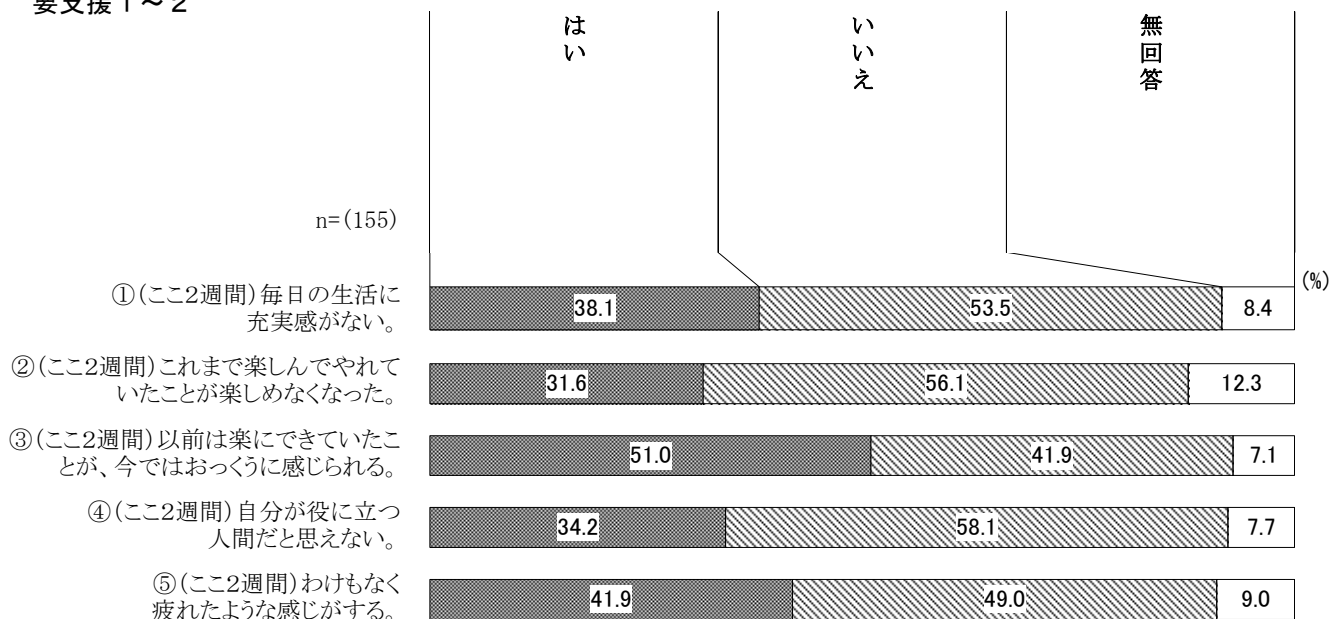
全体



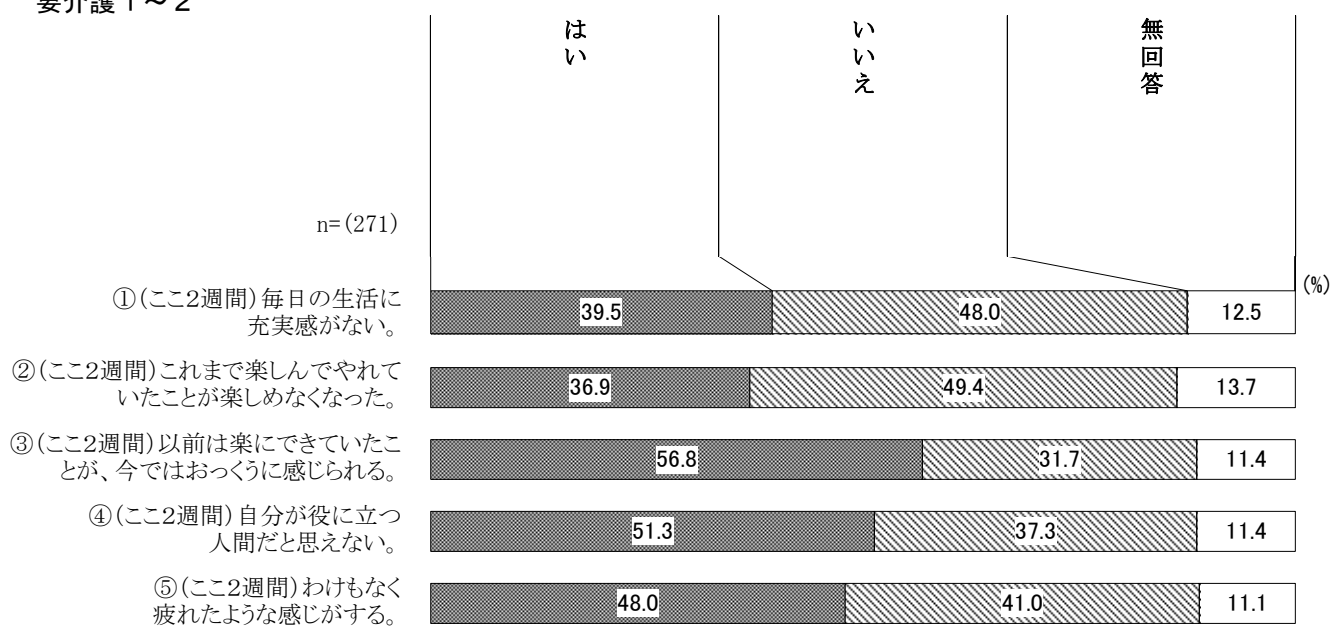
非認定



要支援1～2



要介護1～2



ここ2週間のこころの状況については、すべての項目で介護度が上がるにしたい「はい」の割合が増加しています。＜毎日の生活に充実感がない＞は、非認定では1割台半ば、要支援1～2と要介護1～2は3割台後半となっています。＜これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなった＞は非認定では「はい」が1割未満ですが、要支援1～2と要介護1～2では、3割台となっています。＜以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる＞は非認定では「はい」が約2割となっていますが、要支援1～2と要介護1～2では、「はい」が5割台に増加しています。＜自分が役に立つ人間だと思えない＞は非認定では「はい」が1割台前半、要支援1～2では3割台前半、要介護1～2では5割台前半と増加しています。＜わけもなく疲れたような感じがする＞は非認定で「はい」が1割台後半、要支援1～2で4割台前半、要介護1～2で4割台後半となっています。

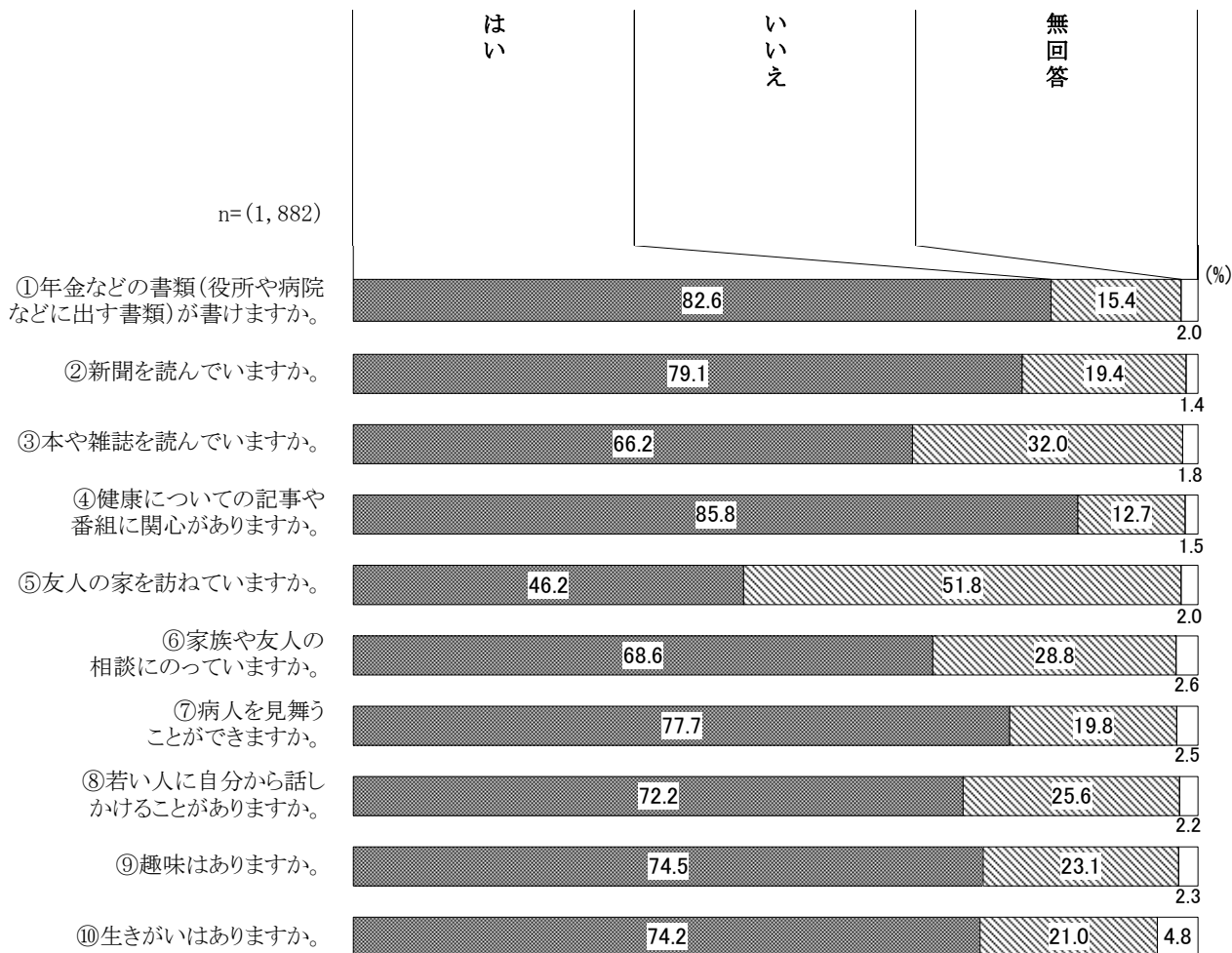
10. 社会参加と日ごろの活動について

(1) 社会参加と日ごろの活動

【非認定～要介護2調査のみ】

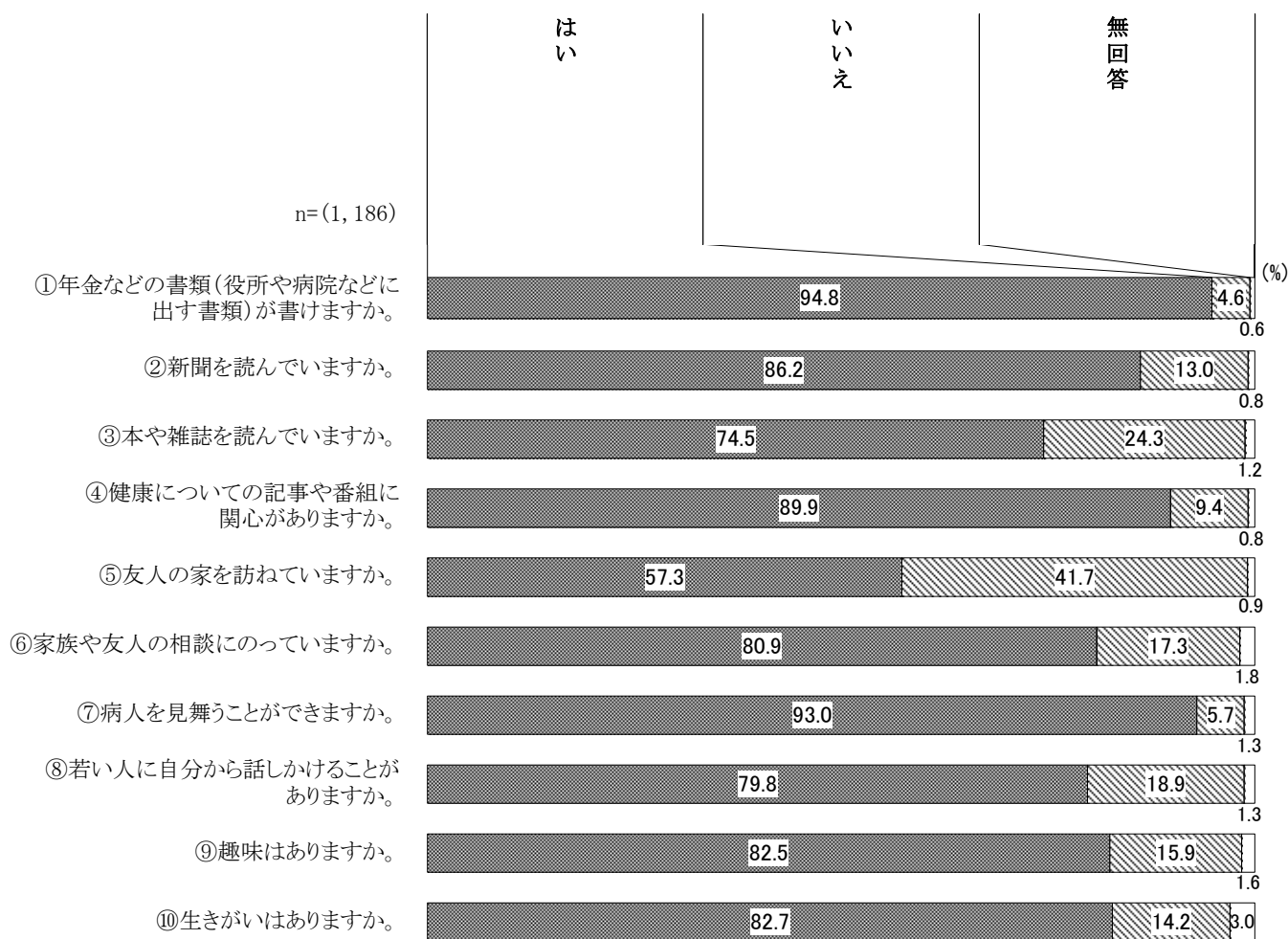
問35 あてはまるものに○をつけてください。[それぞれ1つに○]

全体



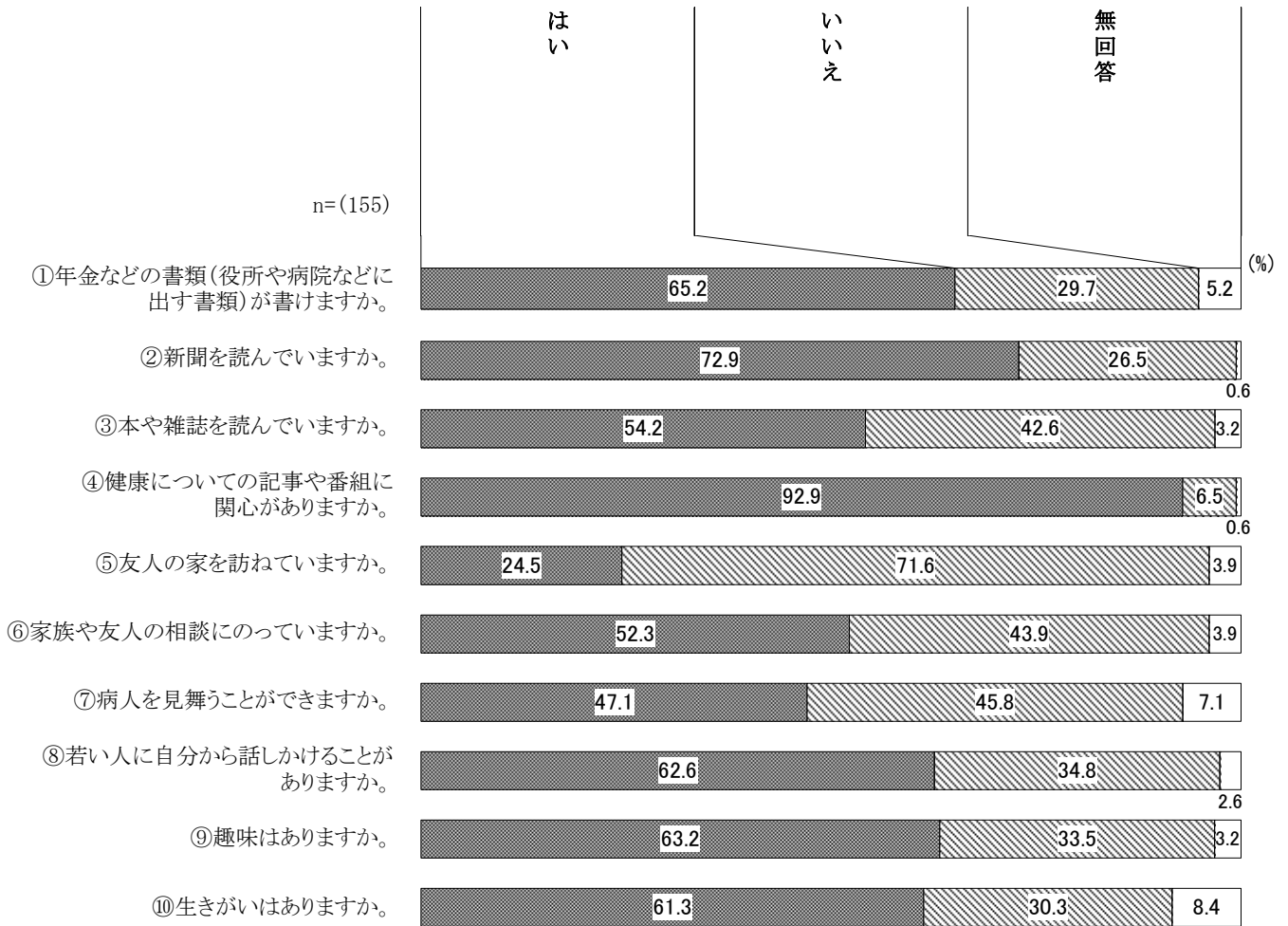
非認定

n=(1,186)

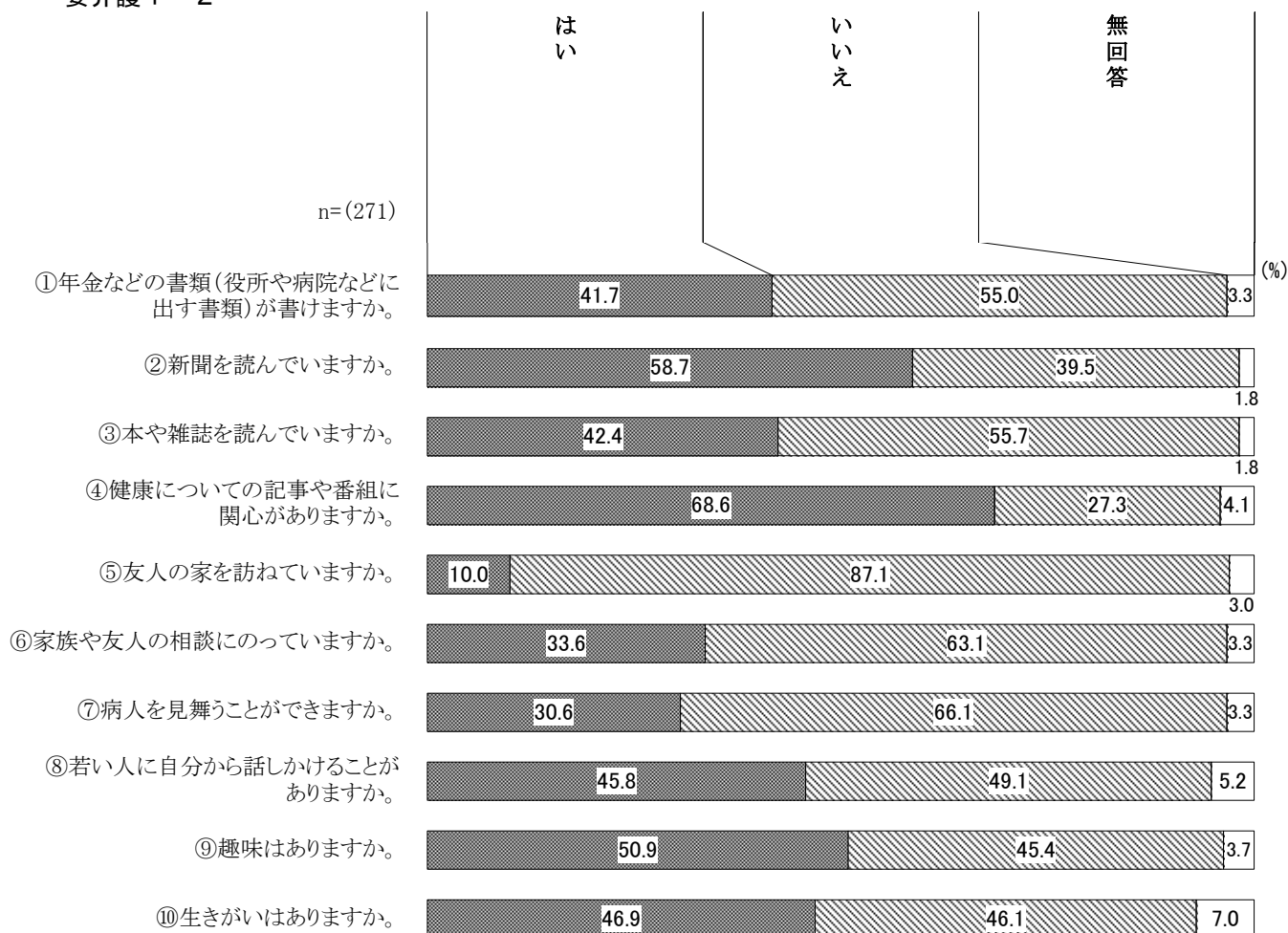


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

要支援1～2



要介護1～2



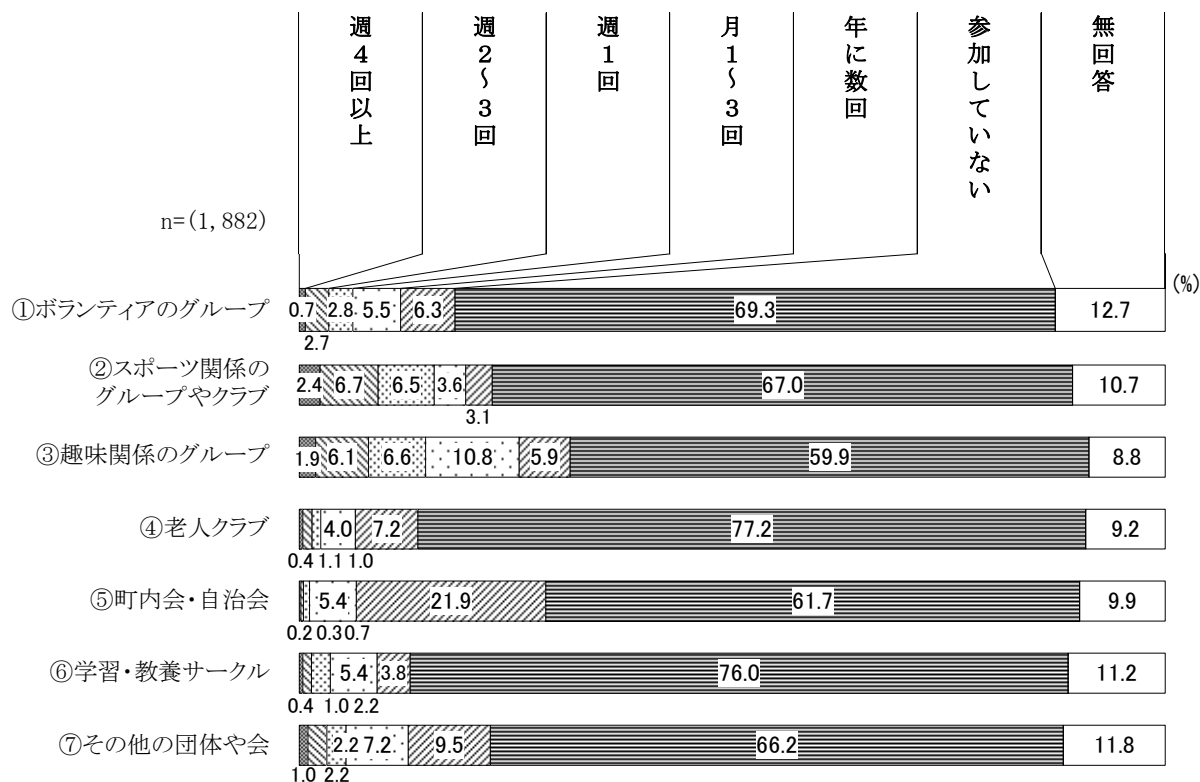
社会参加と日頃の活動については、非認定では、＜友人の家を訪ねていますか＞を除いてすべての項目で「はい」が7割台前半から9割台前半と多くなっています。＜健康についての記事や番組に関心がありますか＞は非認定では「はい」が約9割、要支援1～2では9割台前半と多く、要介護1～2では6割台後半と減少していますが、他の項目と比較すると「はい」が高い割合となっています。＜友人の家を訪ねていますか＞は、非認定では「はい」が5割台後半、要支援1～2では約半分の2割台前半、要介護1～2では、1割となっています。それ以外の活動については、介護度が上がるにしたがい、「はい」の割合が減少しており、＜家族や友人の相談にのっていますか＞は、非認定では約8割ですが、要支援1～2では5割台前半、要介護1～2で3割台前半となっています。＜病人を見舞うことができますか＞は、非認定では「はい」が9割台前半、要支援1～2で4割台後半、要介護1～2で約3割と減少しています。

(2) 地域活動の参加頻度

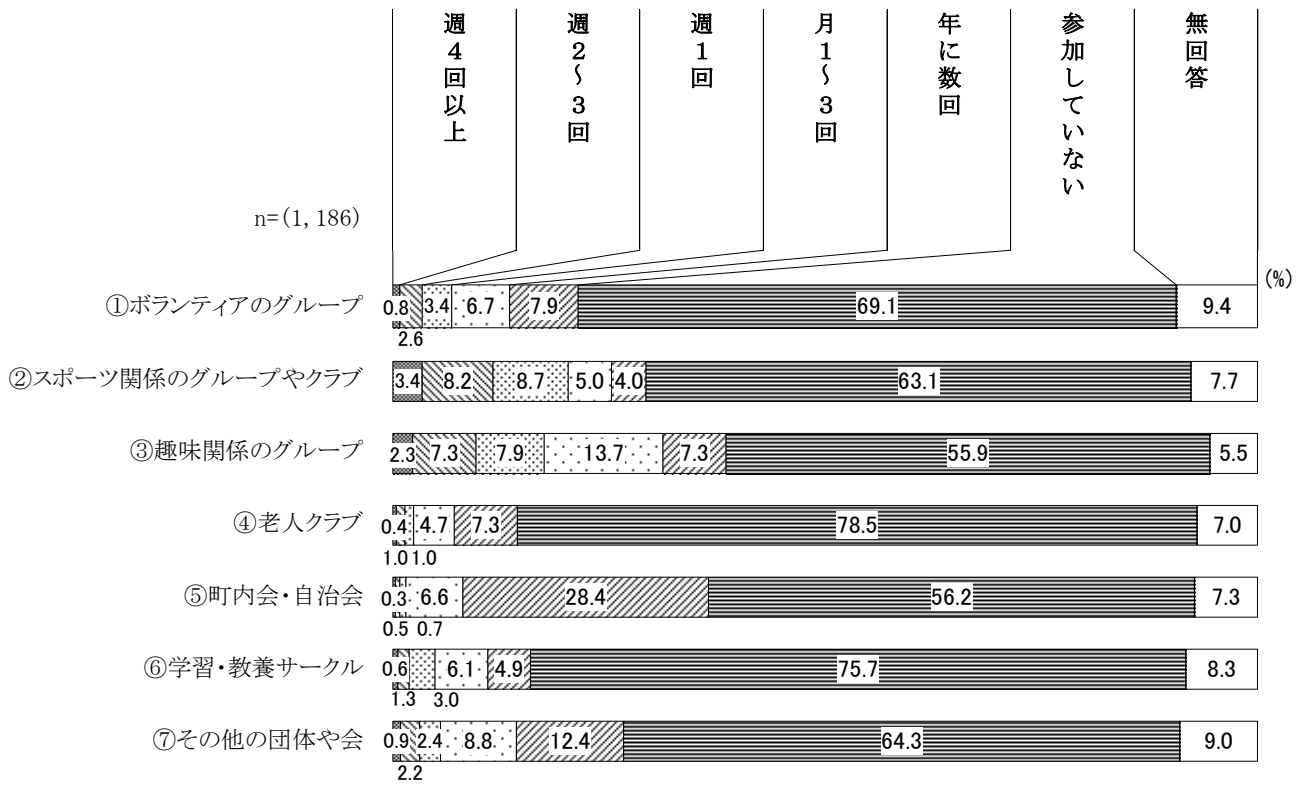
【非認定～要介護2調査のみ】

問36 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
[それぞれ1つに○]

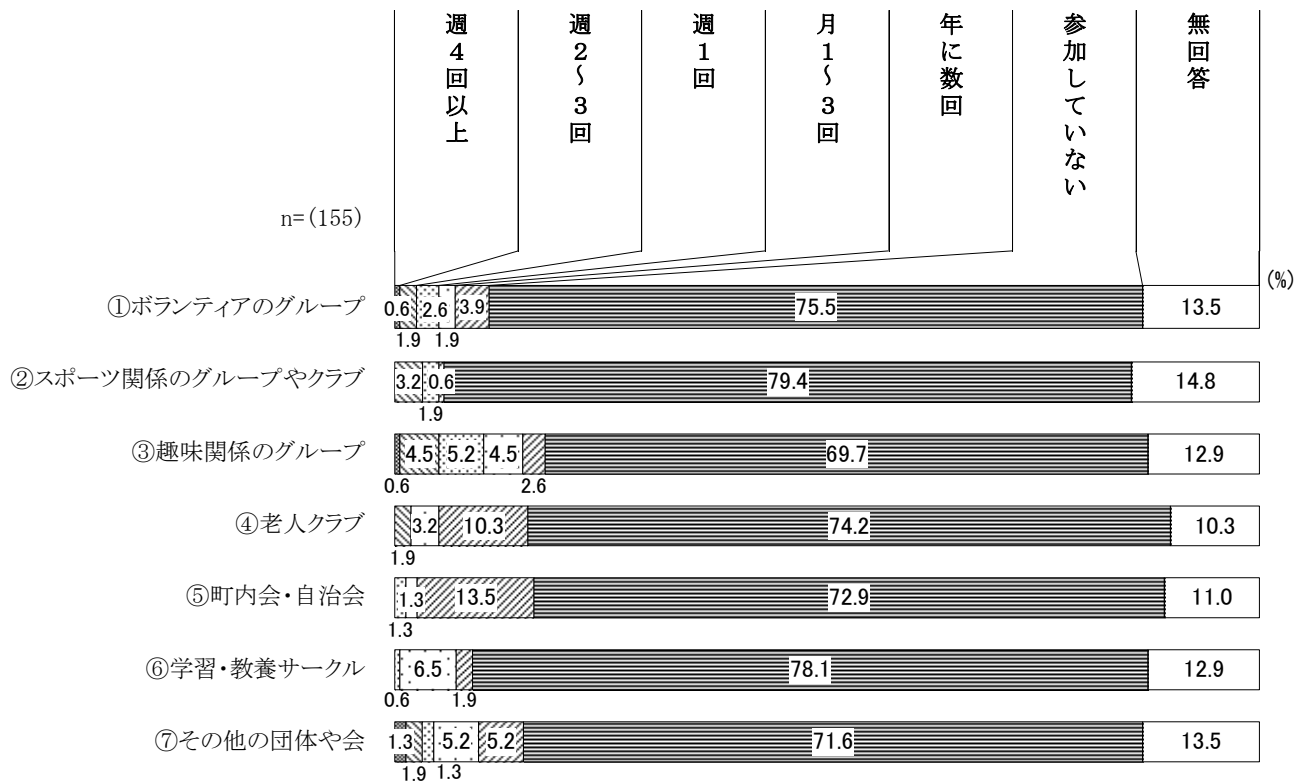
全体



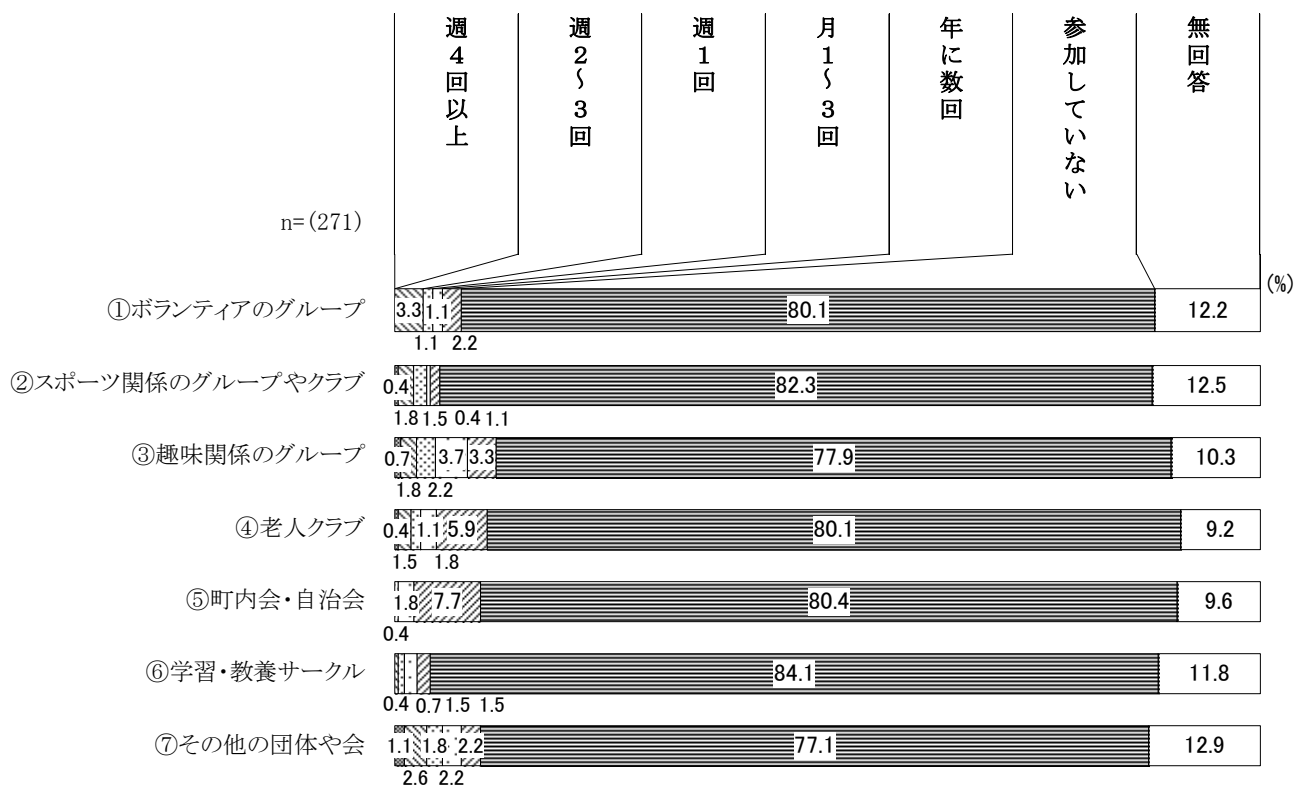
非認定



要支援1〜2



要介護1～2



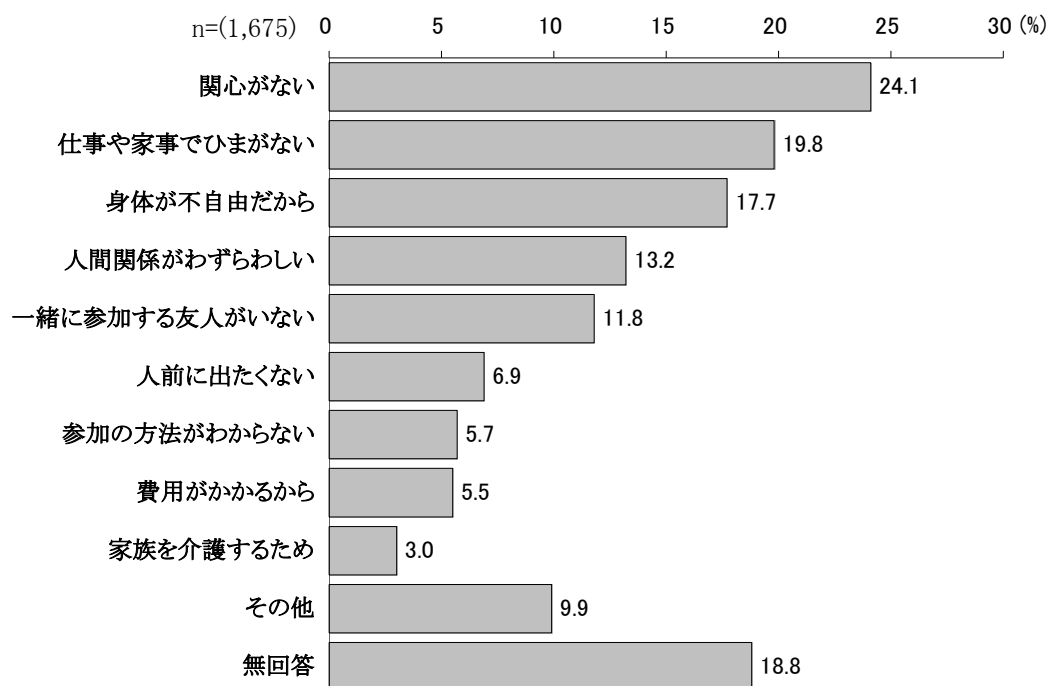
地域活動については、いずれの活動も非認定、要介護1～2で「参加していない」が多くなっています。参加している活動では、＜町内会・自治会＞は非認定で「年に数回」が2割台後半、要支援1～2で1割台前半となっています。＜老人クラブ＞は要支援1～2で「年に数回」が約1割、＜その他の団体や会＞は非認定で「年に数回」が1割台前半となっています。＜趣味関係のグループ＞は、非認定で「月に1～3回」が1割台前半となっています。要介護1～2では、すべての活動で「参加していない」が8割前後となっています。

(3) 地域活動の未参加理由

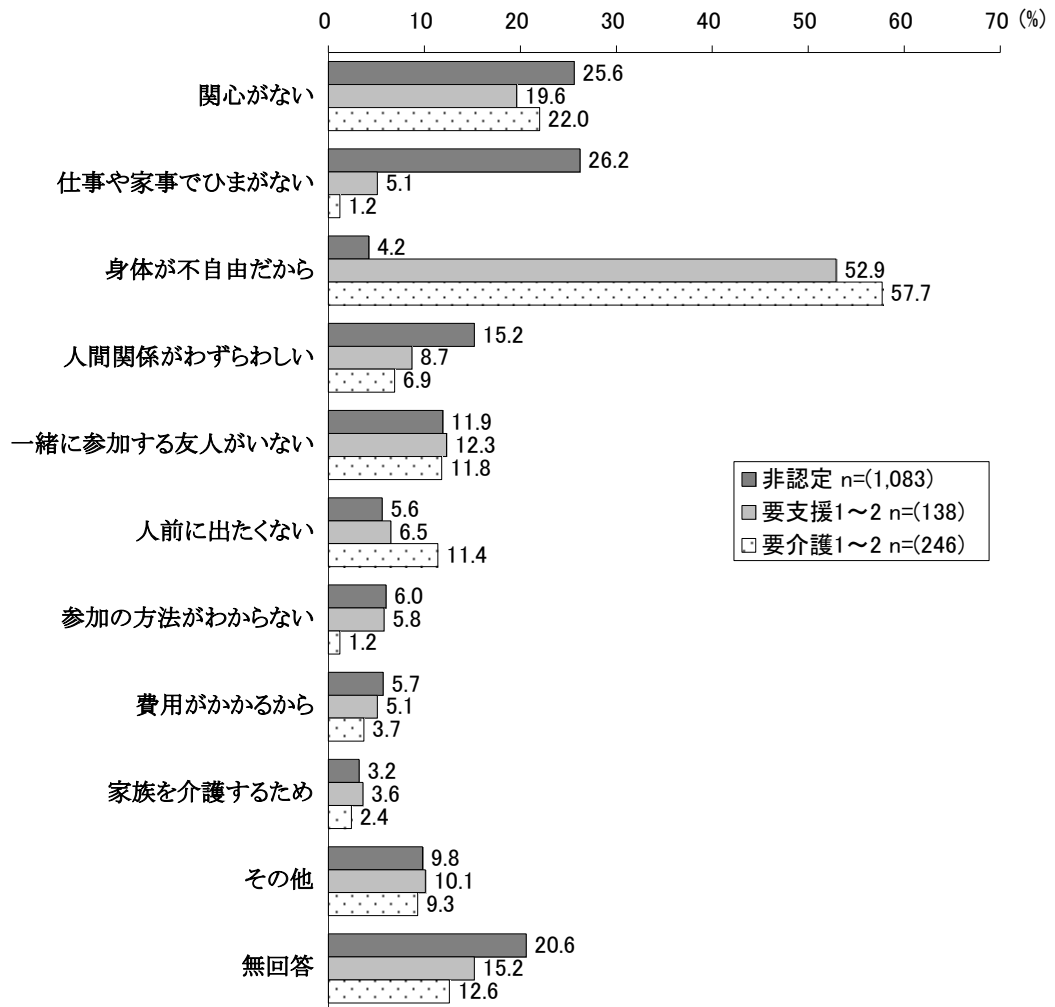
【非認定～要介護2調査のみ】

問36の①～⑦で、ひとつでも「6. 参加していない」と答えた方におたずねします。

問36-1 参加していない理由は、何ですか。[いくつでも○]



第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



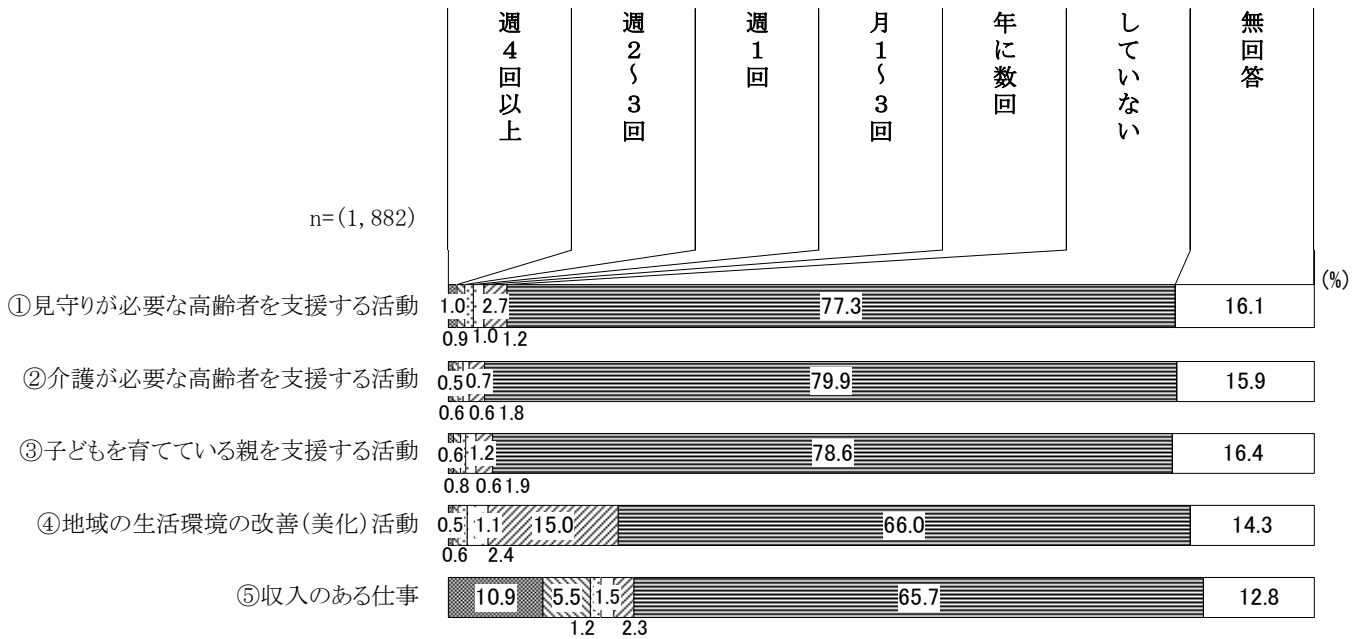
地域活動に参加していない理由は、非認定では「関心がない」が2割台前半で最も多く、次いで「仕事や家事でひまがない」が2割台後半となっています。要支援1～2と要介護1～2は「身体が不自由だから」が5割台で最も多く、次いで「関心がない」となっています。

(4) 社会参加活動や仕事の頻度

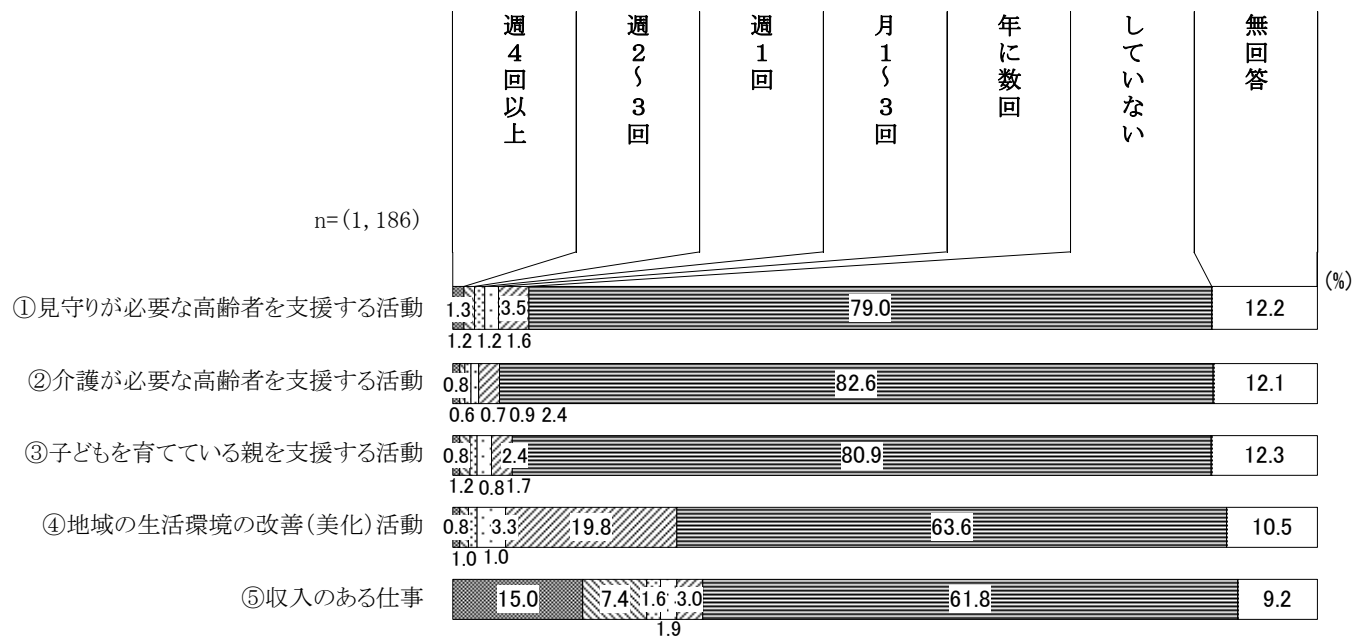
【非認定～要介護2調査のみ】

問37 次のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。[いくつでも○]

全体

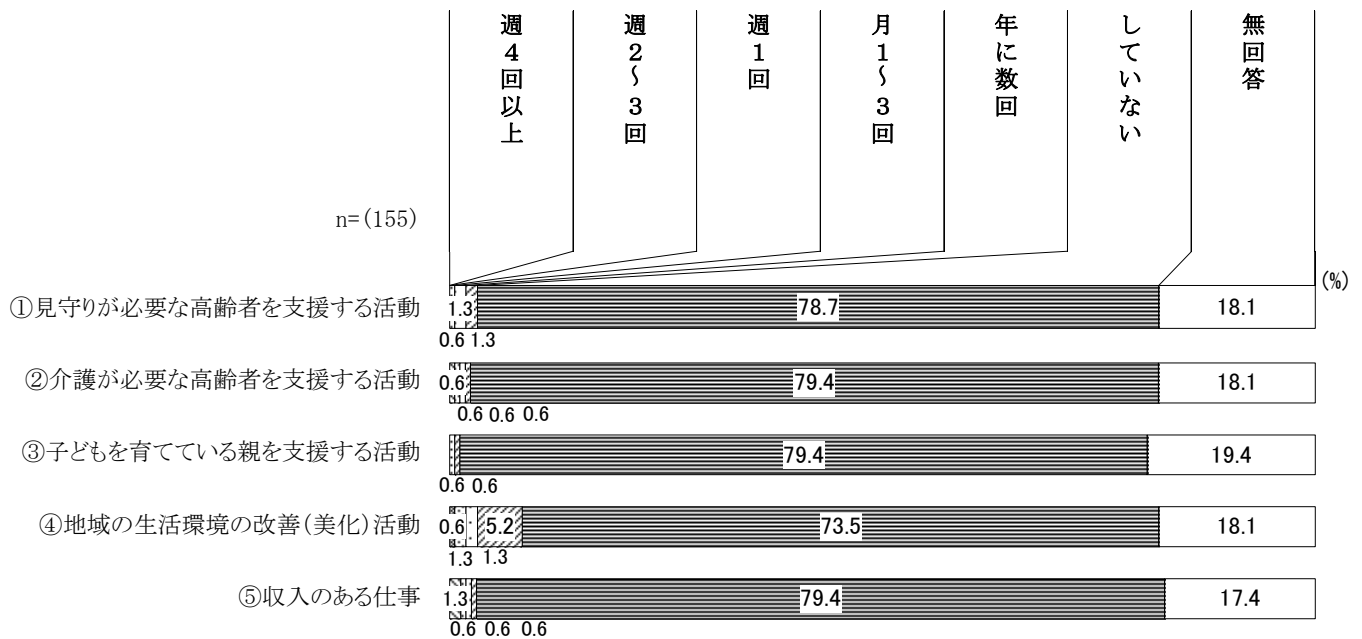


非認定

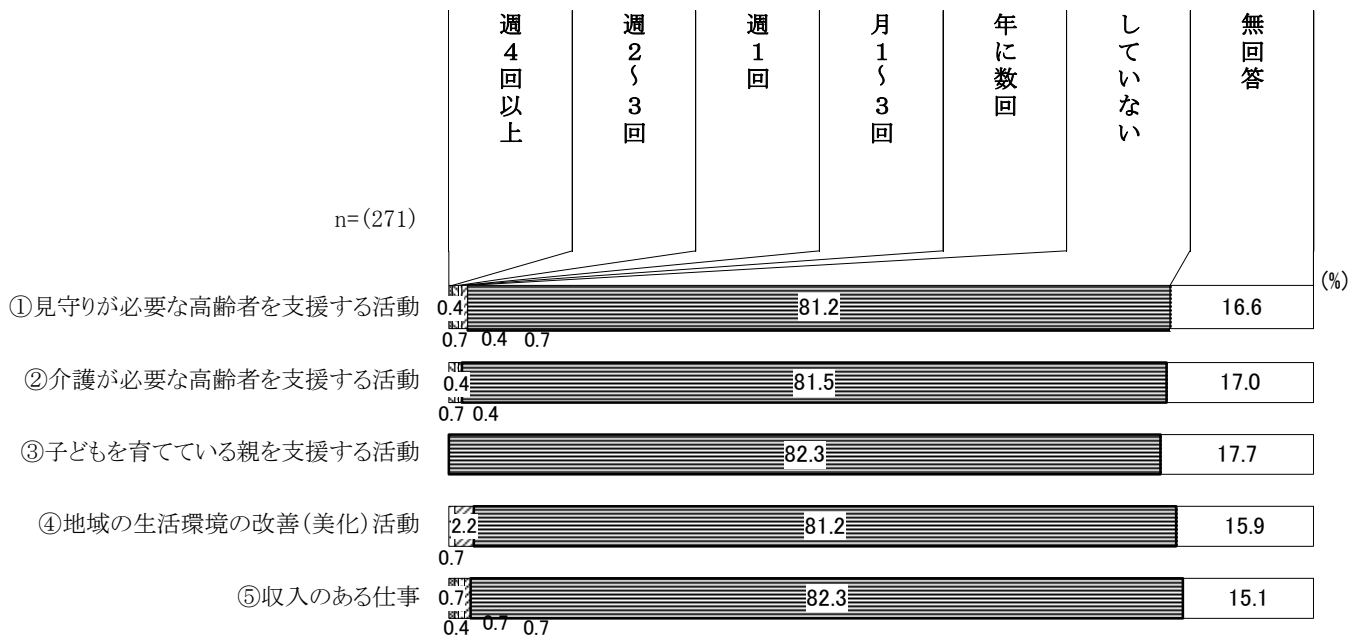


第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細

要支援1～2



要介護1～2



社会参加活動や仕事の頻度については、非認定では、＜地域の生活環境の改善（美化）活動＞が「年に数回」が約2割、＜収入のある仕事＞が「週4日以上」が1割台半ばとなっています。

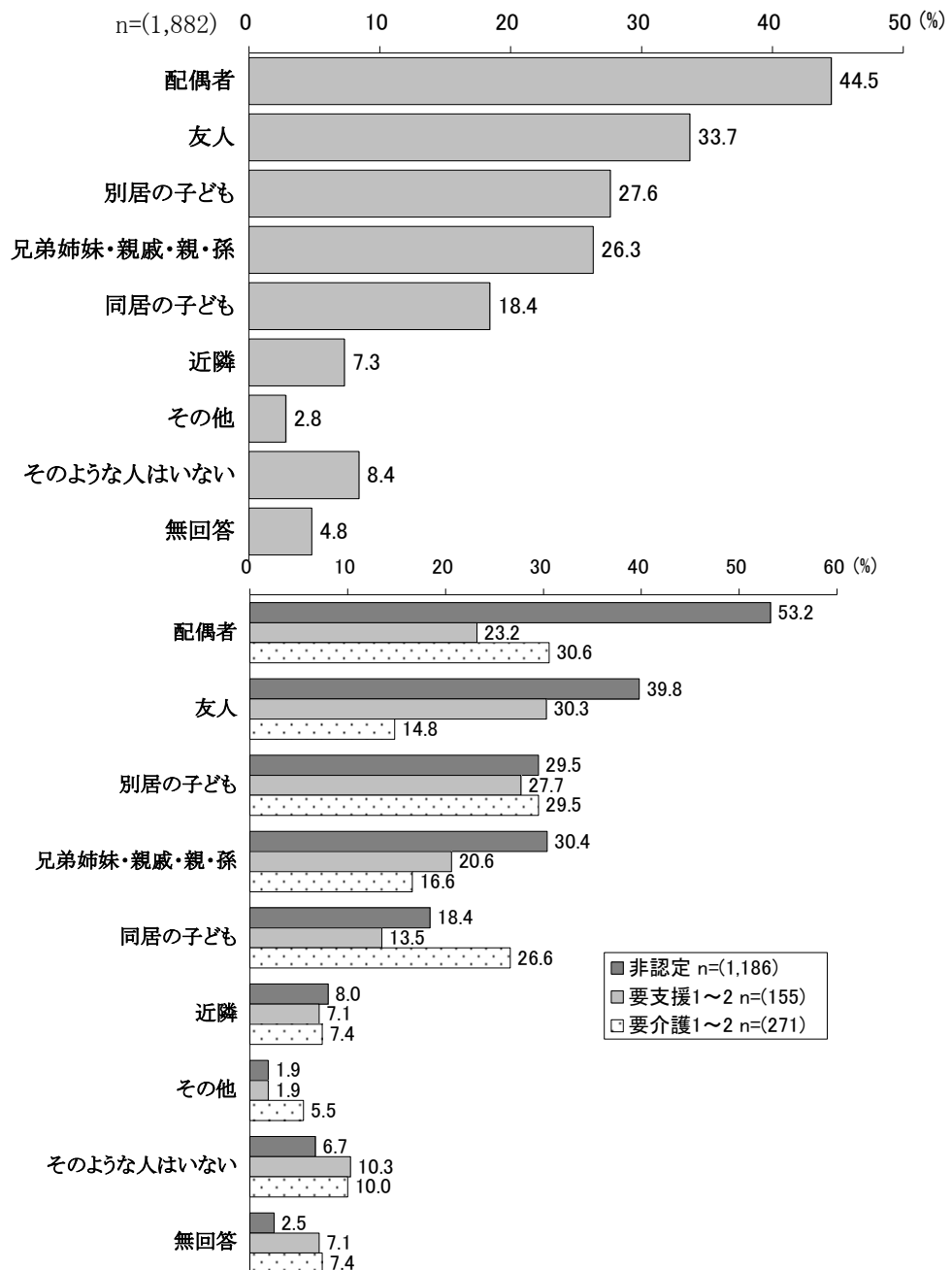
(5) たすけあいの状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問38 あなたとまわりの人の「たすけあい」について、あてはまるすべてに○をつけてください。[それぞれいくつでも○]

①心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

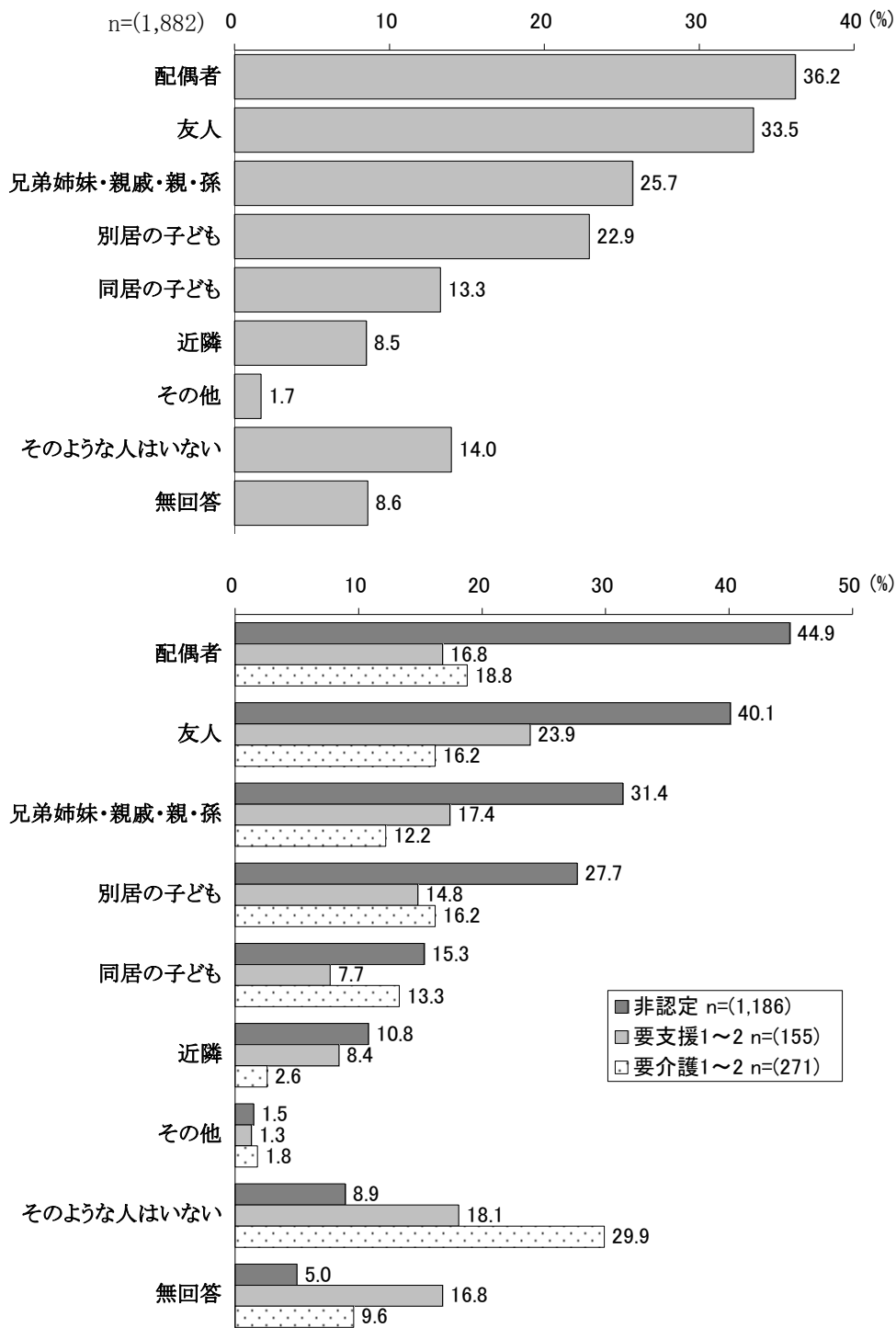
全体



心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、非認定では「配偶者」が5割台前半で最も多く、次いで「友人」が約4割となっています。要支援1～2では、「友人」が約3割、「別居の子ども」「配偶者」と続いています。要介護1～2では、「配偶者」「別居の子ども」がそれぞれ約3割、「同居の子ども」と続いています。

②心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

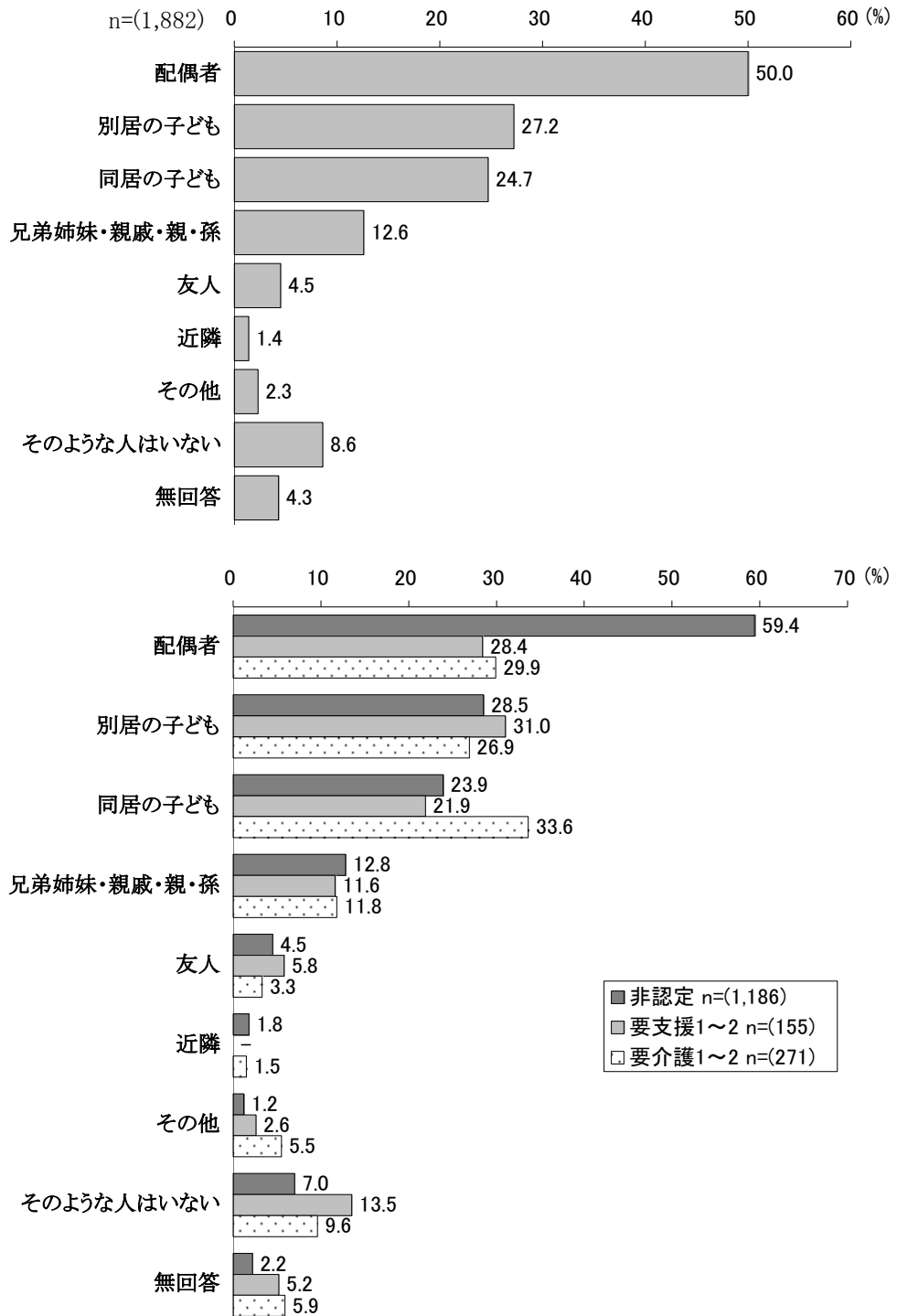
全体



心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、非認定では「配偶者」「友人」が4割台、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と続き、要支援1～2では、「友人」が2割台前半、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「配偶者」と続き、要介護1～2では、「配偶者」「友人」「別居の子ども」となっています。一方、「そのような人はいない」は要介護1～2で約3割、要支援1～2で1割台後半となっています。

③病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

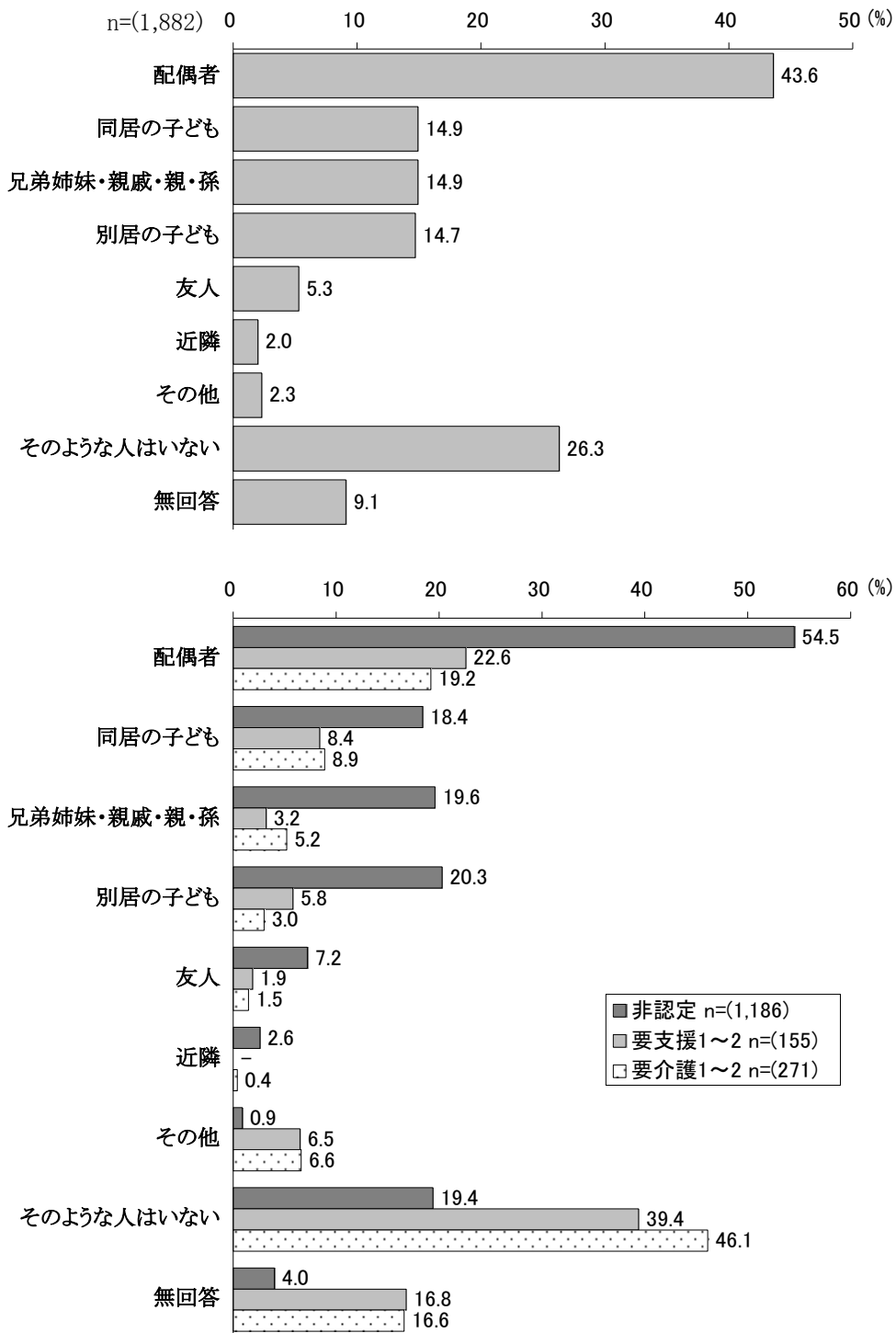
全体



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、非認定では「配偶者」が約6割で最も多く、次いで「別居の子ども」「同居の子ども」となっています。要支援1～2は、「別居の子ども」が3割台前半、「配偶者」「同居の子ども」と続いています。要介護1～2は、「同居の子ども」が3割台前半、「配偶者」「別居の子ども」と続いています。一方、「そのような人はいない」は要支援1～2で1割台前半、要介護1～2と非認定では1割未満となっています。

④あなたが看病や世話をしあける人

全体

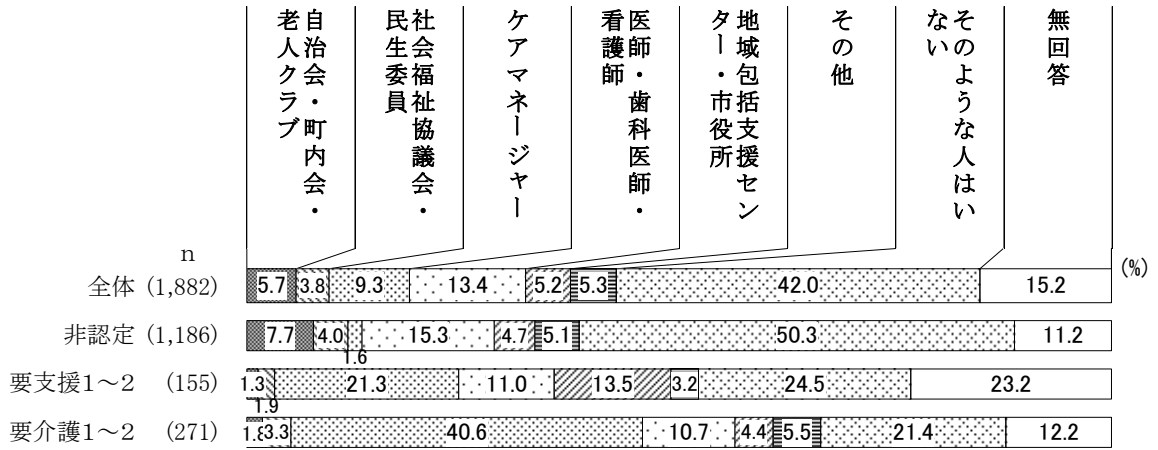


あなたが看病や世話をしあける人は、非認定では「配偶者」が5割台前半で最も多く、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」と続いています。要支援1~2と要介護1~2も「配偶者」が最も多く、2割前後となっています。一方、「そのような人はいない」は要介護1~2で4割台後半、要支援1~2で約4割となっています。

(6) 相談相手

【非認定～要介護2調査のみ】

問39 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。[1つに○]



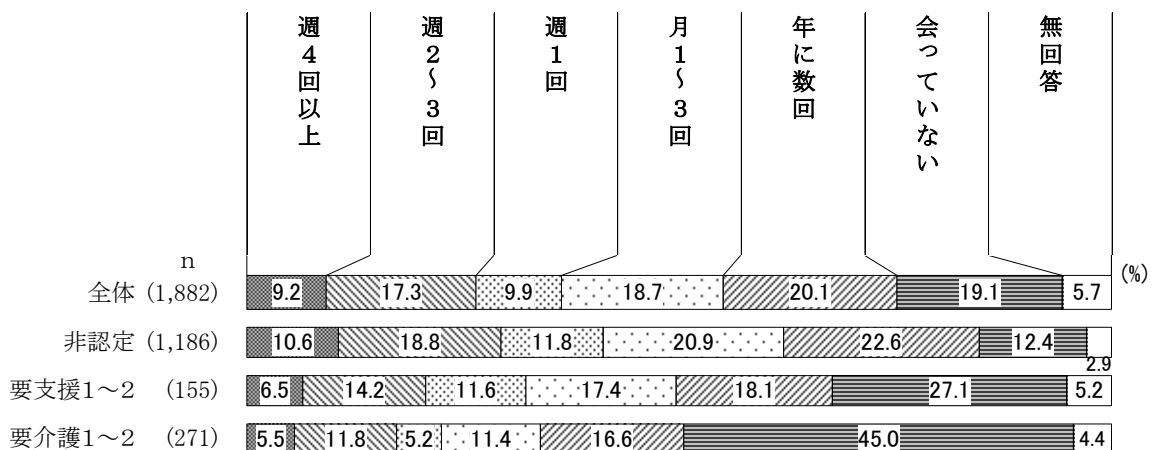
家族や友人・知人以外の相談相手については、「ケアマネージャー」が要支援1～2で2割前半、要介護1～2では約4割となっています。非認定では「医師・歯科医師・看護師」が1割台半ばです。一方、「そのような人はいない」が非認定では約5割となっています。

(7) 友人関係

【非認定～要介護2調査のみ】

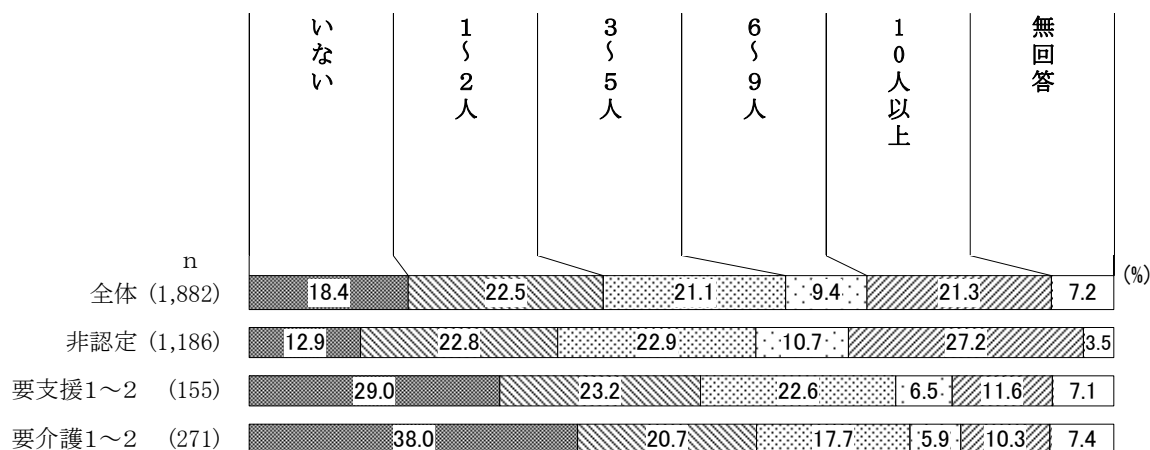
問40 友人関係についてあてはまるものに○をつけてください。

①友人・知人と会う頻度



友人・知人と会う頻度は、介護度が上がるにしたがい会う回数は減少し、「会っていない」の割合が増加しています。

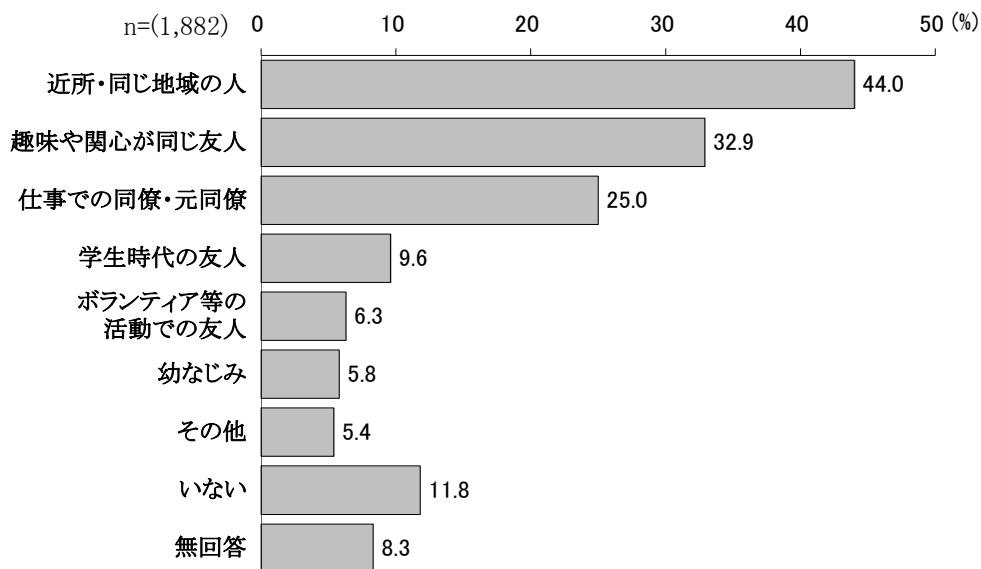
②この1か月に会った友人・知人の人数

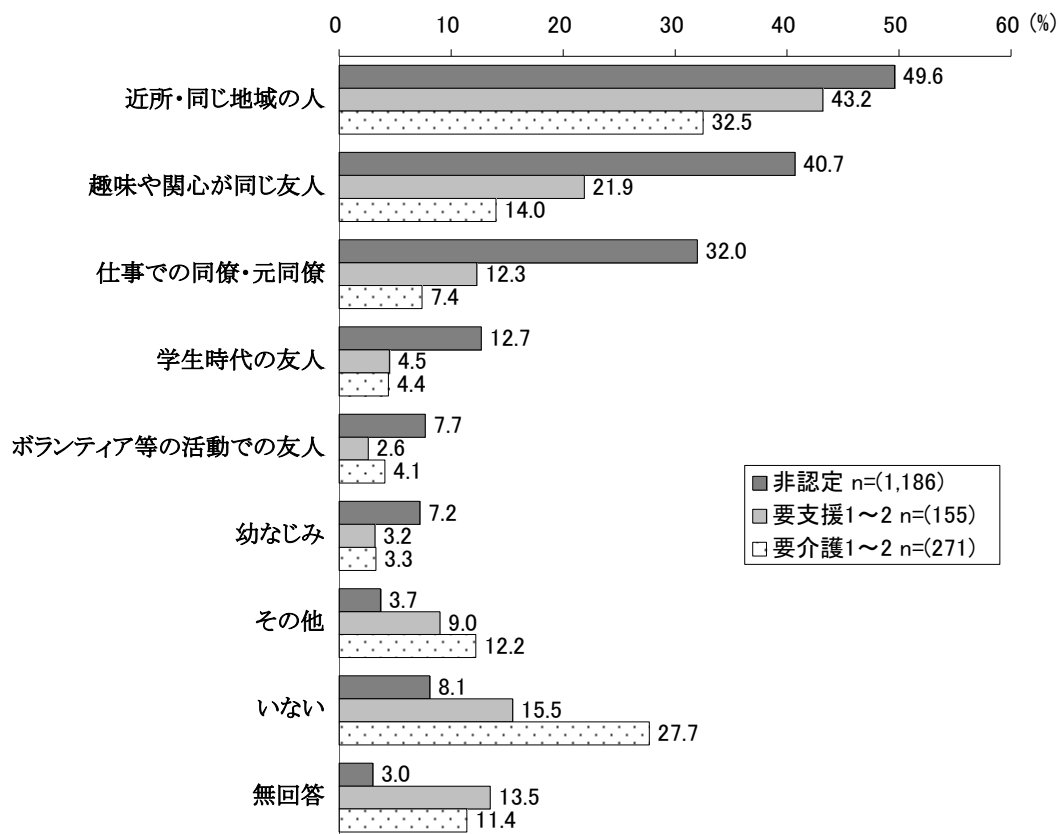


この1か月に会った友人・知人の人数は、介護度が上がるにしたがい人数は減少し、「いない」の割合が増加しています。

③よく会う友人・知人の関係

全体





よく会う友人・知人は、非認定、要介護1～2で「近所・同じ地域の人」が最も多く、非認定では約5割、要支援1～2で4割前半、要介護1～2は3割前半となっています。次いで「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」と続いています。一方、よく会う友人・知人が「いない」は要介護1～2で2割後半、要支援1～2で1割半ばとなっています。

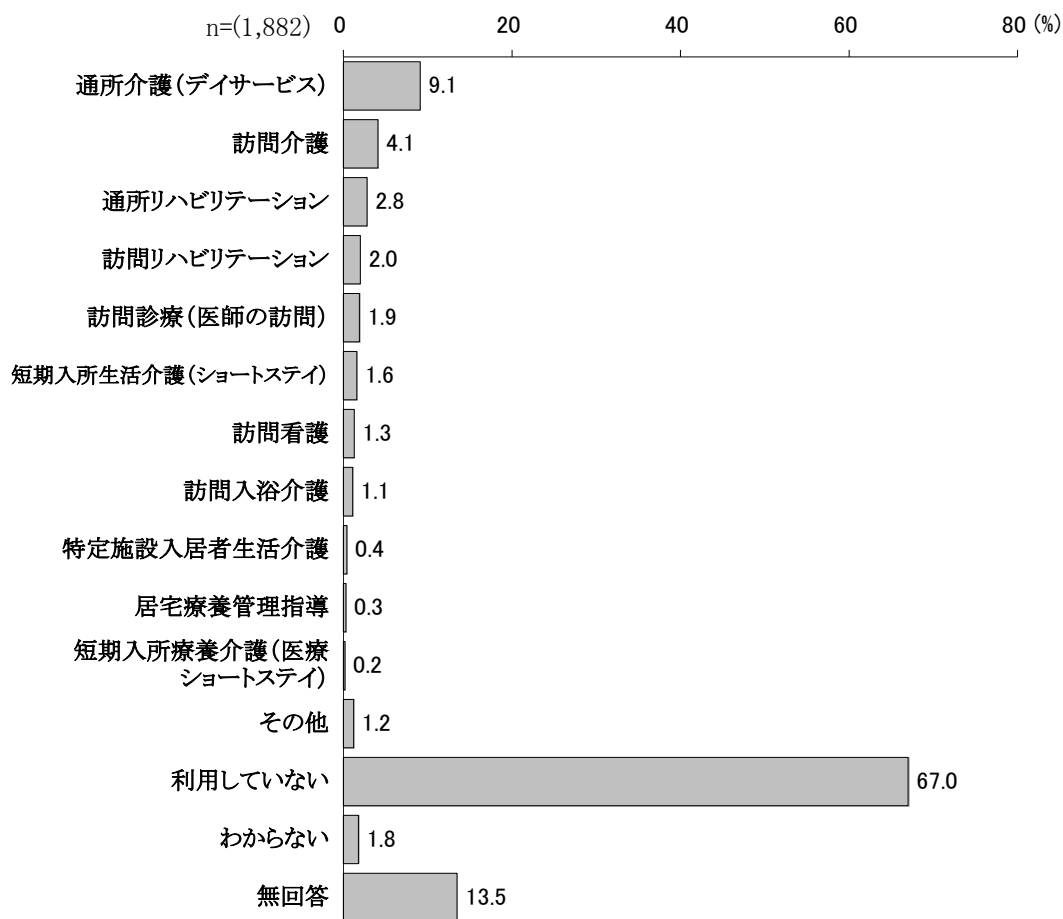
11. 介護保険について

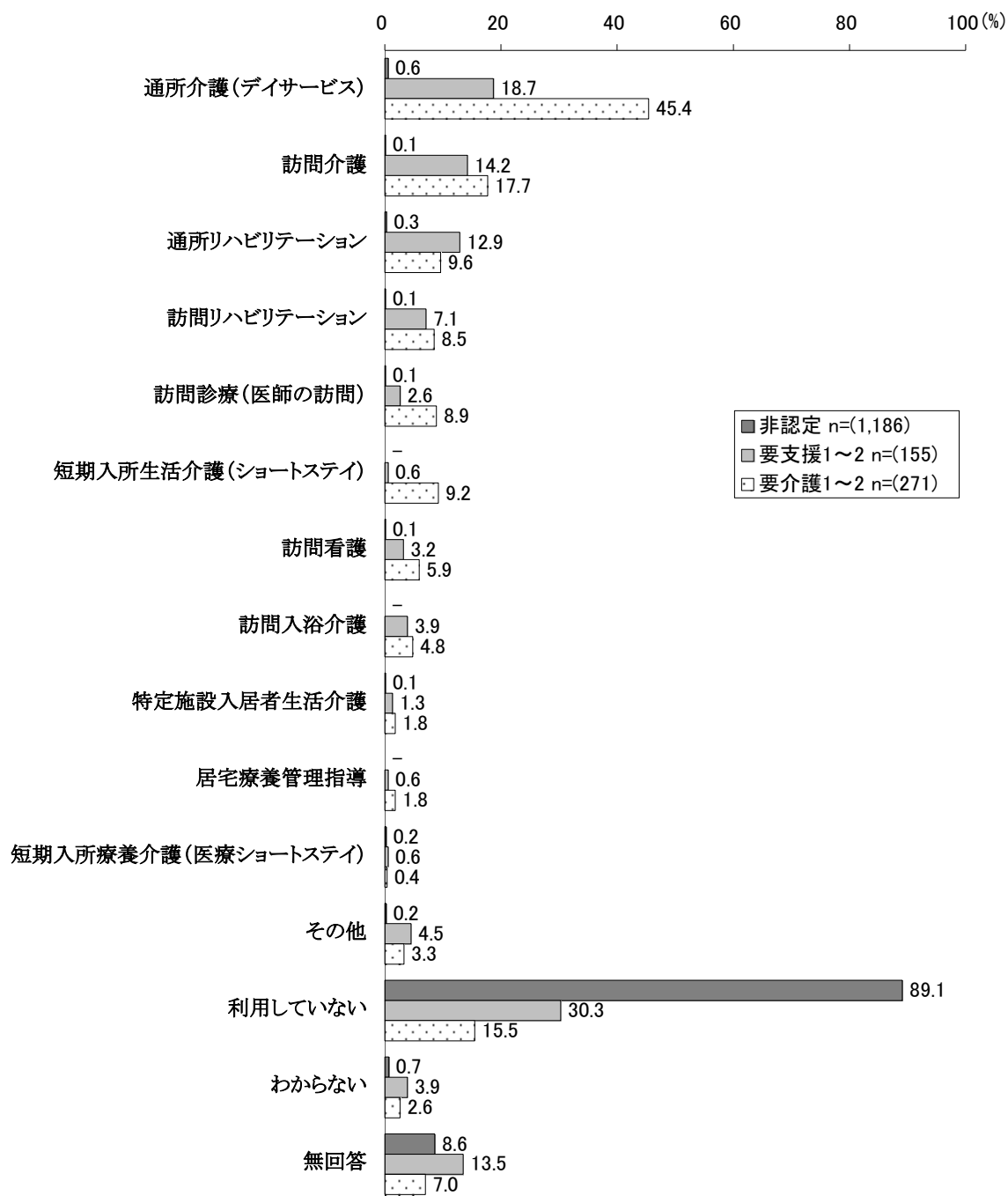
(1) 居宅サービスの利用状況

【非認定～要介護2調査のみ】

問42 次の居宅サービスを利用していますか。[いくつでも○]

全体



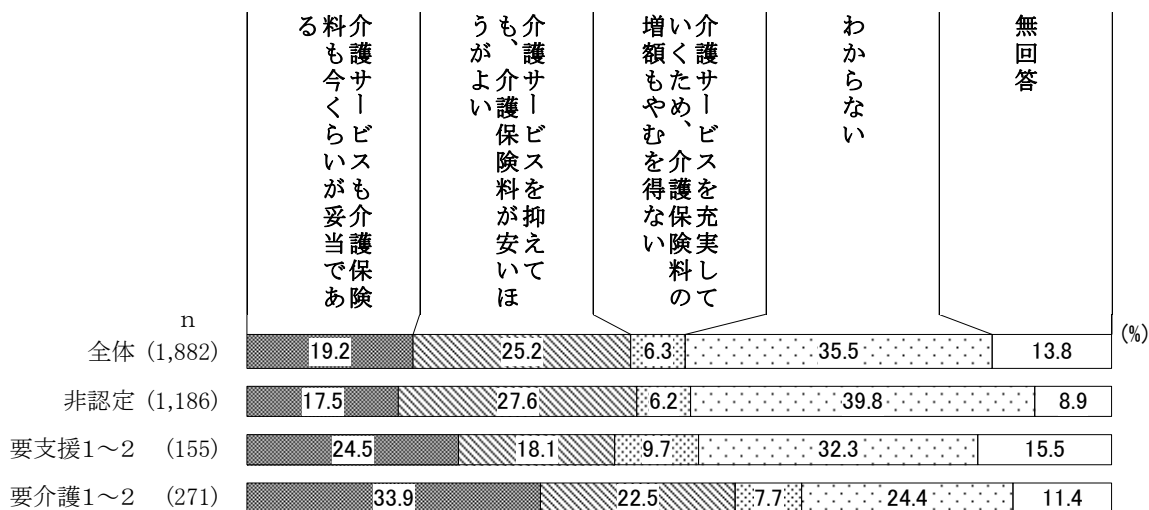


居宅サービスの利用状況は、要介護1～2では「通所介護（デイサービス）」が4割台半ばで最も多く、次いで「訪問介護」が1割台後半となっています。要支援1～2でも、「通所介護（デイサービス）」が1割台後半で最も多く、次いで「訪問介護」「通所リハビリテーション」が1割台前半となっています。

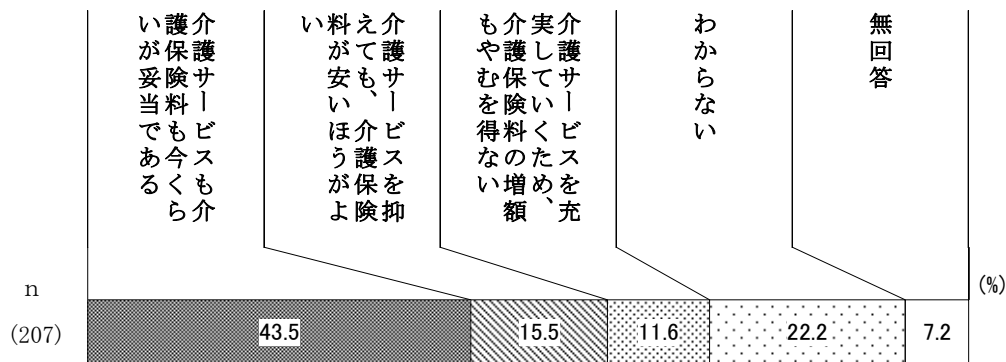
(2) 介護サービスと介護保険料に対する考え

問43 介護サービスと介護保険料についておたずねします。介護サービスの供給量等に基づいて介護保険料が設定されますが、あなたの考えにもっとも近いものは次のうちどれですか。[1つに○]
 【要介護3～5／問20】

非認定～要介護2



要介護3～5



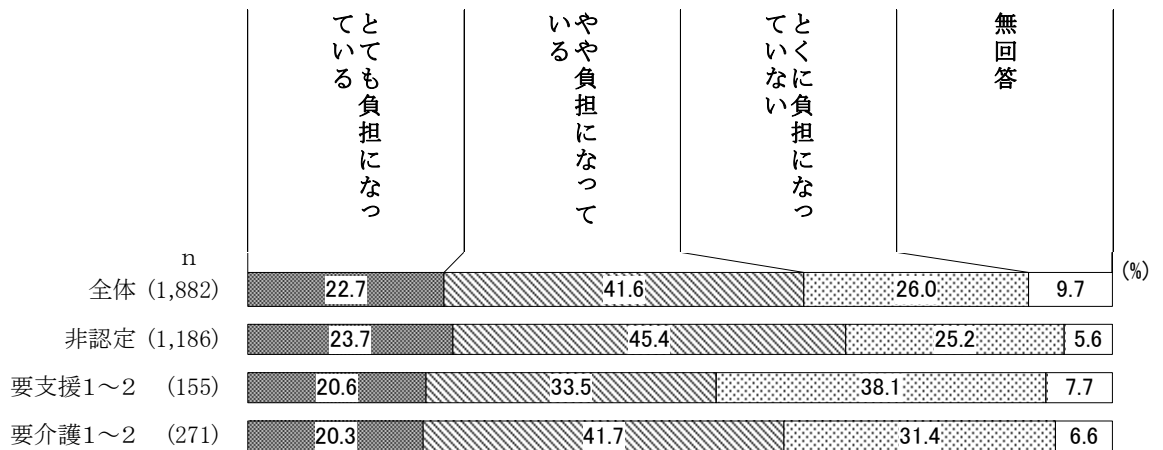
介護サービスと介護保険料については、「介護サービスも介護保険料も今くらいが妥当である」が要支援1～2で2割台前半、要介護1～2では3割台前半、要介護3～5では4割台前半と特に多くなっています。「介護サービスを抑えても、介護保険料が安いほうがよい」は非認定で2割台後半、「介護サービスを充実していくため、介護保険料の増額もやむを得ない」は要介護3～5で1割台前半と比較的多くなっています。

(3) 介護保険料の家計負担感

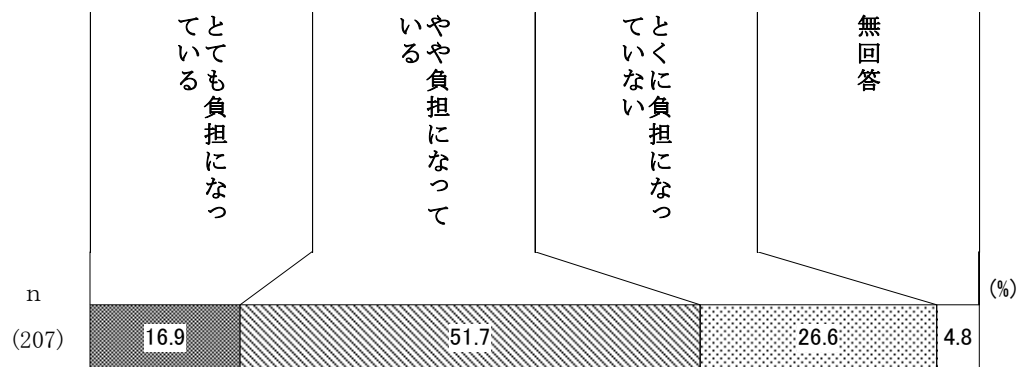
問44 現在あなたが支払っている介護保険料は、あなたの家計にとって負担になっていますか。[1つに○]

【要介護3～5/問21】

非認定～要介護2



要介護3～5

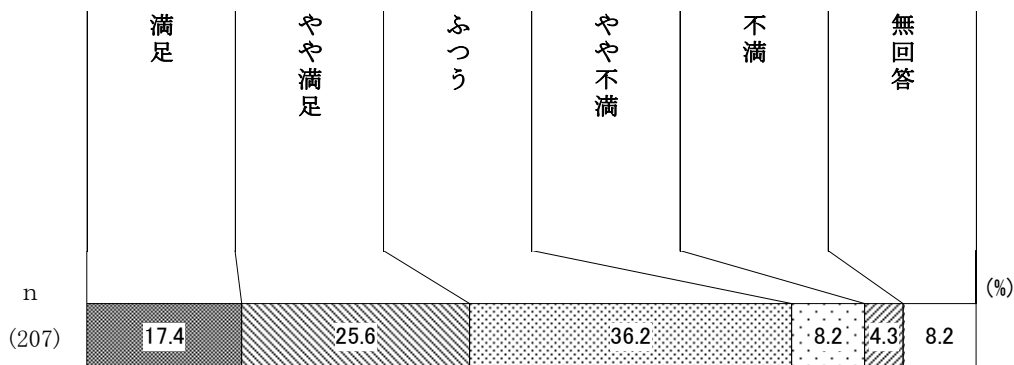


介護保険料が家計の負担となっているかについては、「とても負担になっている」と「やや負担になっている」を合わせた<負担になっている>は、非認定が約7割と最も多く、次いで要介護3～5の6割台後半、要介護1～2では6割台前半、要支援1～2が5割台前半となっており、非認定で負担感が多くなっています。一方、「とくに負担になっていない」は要支援1～2で3割台後半となっています。

(4) 介護保険サービス全般の満足度

【要介護3～5調査のみ】

問15 あなたは、介護保険サービス全般について満足していますか。[1つに○]

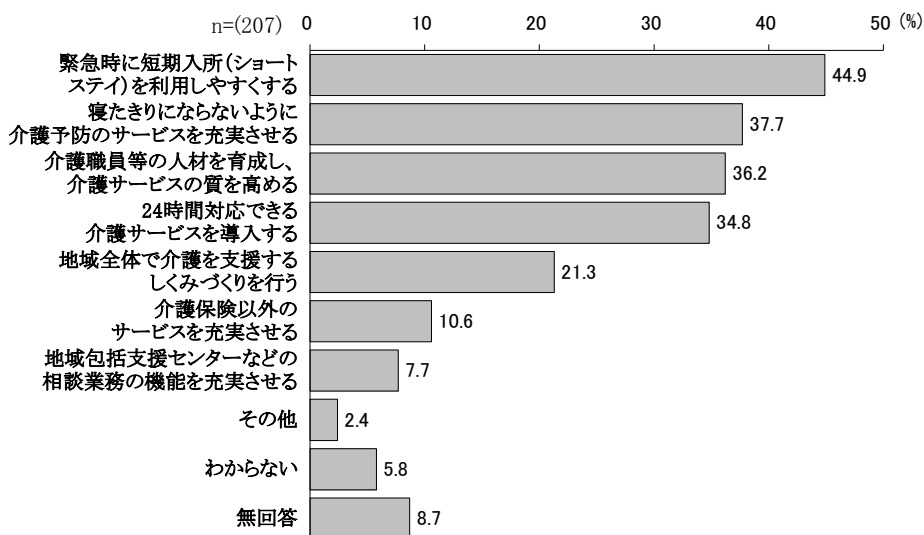


介護保険サービス全般についての満足度は、「ふつう」が3割台半ばを超え、最も多くなっています。次に「やや満足」「満足」の順に続き、これらを合わせた<満足>は4割台前半となっています。

(5) 介護保険サービスの充実に必要なこと

【要介護3～5調査のみ】

問16 「介護保険サービス」をより充実させるために、あなたが必要と思うことは次のうちどれですか。[3つまで○]

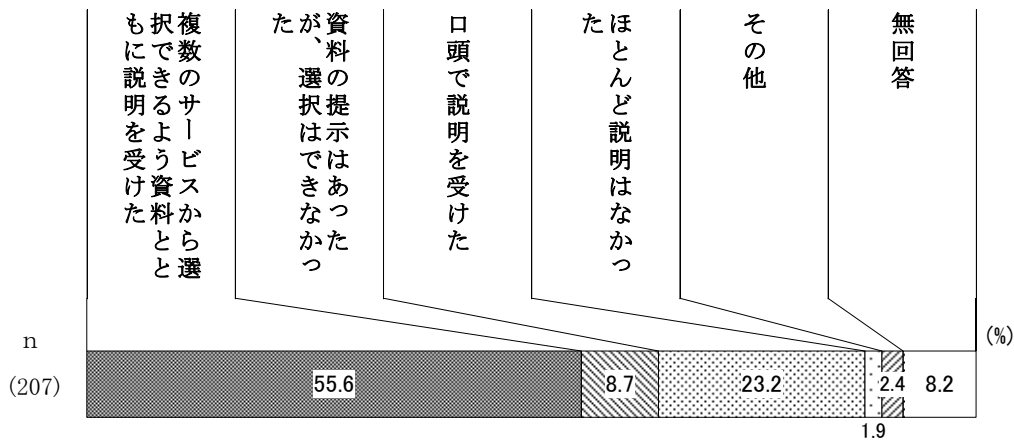


介護保険サービスをより充実させるために必要なことについては、「緊急時に短期入所（ショートステイ）を利用しやすくする」が4割台半ばで最も多くなっています。次に「寝たきりにならないように介護予防のサービスを充実させる」「介護職員等の人材を育成し、介護サービスの質を高める」「24時間対応できる介護サービスを導入する」が3割台で続いています。また、「地域全体で介護を支援するしくみづくりを行う」は2割強となっています。

(6) ケアプラン作成にあたっての説明状況

【要介護3～5調査のみ】

問17 ケアマネジャーはケアプラン作成に当たり、本人又は家族の方に、サービスの種類・内容・利用料などの説明を十分してくれましたか。[1つに○]

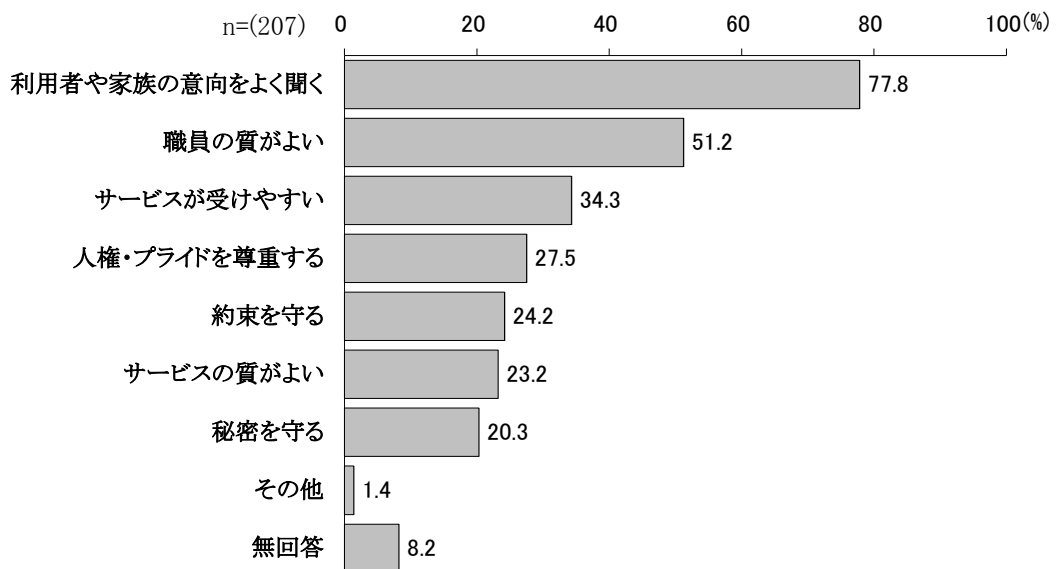


ケアプラン作成に当たってのケアマネジャーから本人又は家族へのサービスの種類・内容・利用料などの説明の有無は、「複数のサービスから選択できるように資料とともに説明を受けた」が5割台半ば、「口頭で説明を受けた」が2割台前半でこれらを合わせると、＜受けた＞は7割台後半となっています。また、「資料の提示はあったが選択はできなかった」が8.7%となっています。

(7) 介護サービス事業者の評価

【要介護3～5調査のみ】

問18 あなたが介護サービス事業者を評価する点はどんなことですか。[いくつでも○]

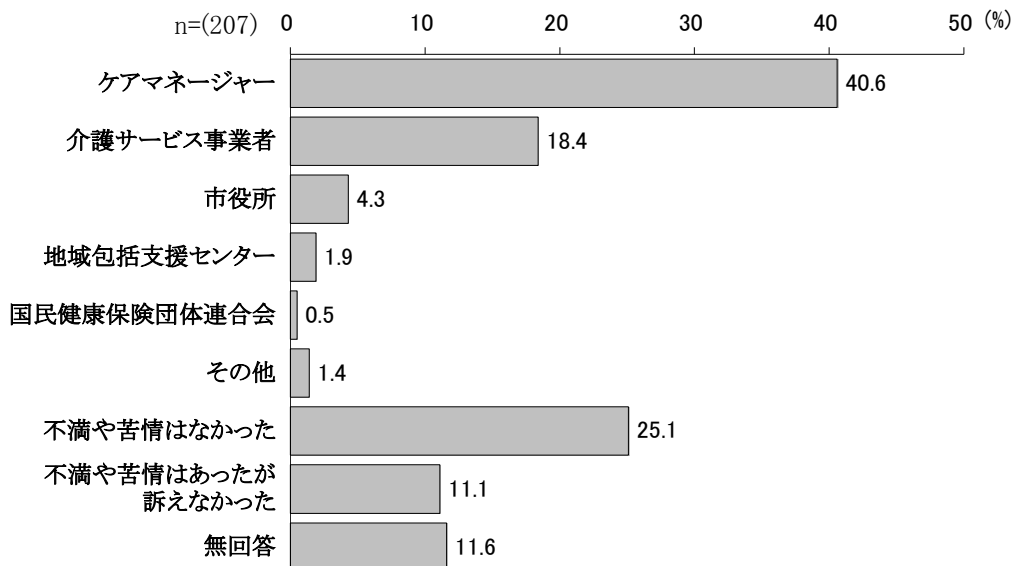


介護サービス事業者を評価する点は、「利用者や家族の意向をよく聞く」が7割台後半で最も多く、次いで「職員の質がよい」が5割台前半、「サービスが受けやすい」「人権・プライドを尊重する」と続いています。

(8) サービスに不満や苦情がある場合の訴え先

【要介護3～5調査のみ】

問19 介護サービス事業者の提供するサービスに不満や苦情がある場合に、誰に不満や苦情を訴えましたか。[いくつでも○]



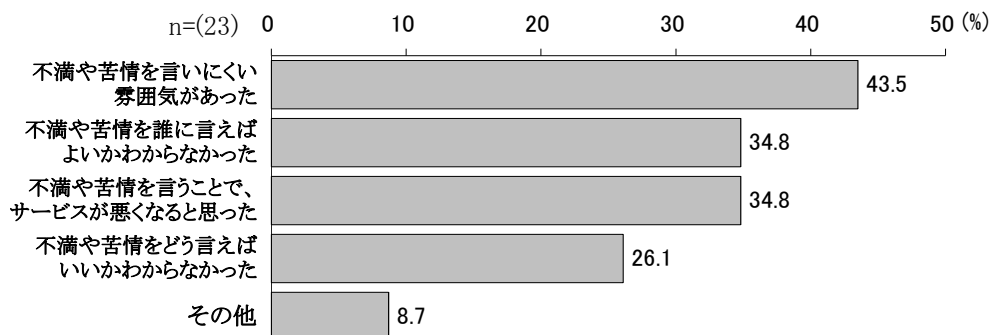
介護サービス事業者の提供するサービスに不満や苦情がある場合の不満や苦情の訴え先は「ケアマネージャー」が約4割で最も多く、次いで「介護サービス事業者」が1割台後半、「不満や苦情はあったが訴えなかった」が1割台前半となっています。一方、2割台半ばが「不満や苦情はなかった」と回答しています。

(9) サービスに不満や苦情がある場合に訴えなかった理由

【要介護3～5調査のみ】

問19で「2. 不満や苦情はあったが訴えなかった」と答えた方におたずねします。

問19-1 不満を訴えなかった理由はなんですか。[いくつでも○]



サービスに不満や苦情があったが訴えなかったと回答した方の理由は、「不満や苦情を言いにくい雰囲気があった」が4割台前半で最も多く、「不満や苦情を誰に言えばよいかわからなかった」「不満や苦情を言うことで、サービスが悪くなると思った」が3割台半ばで続いています。

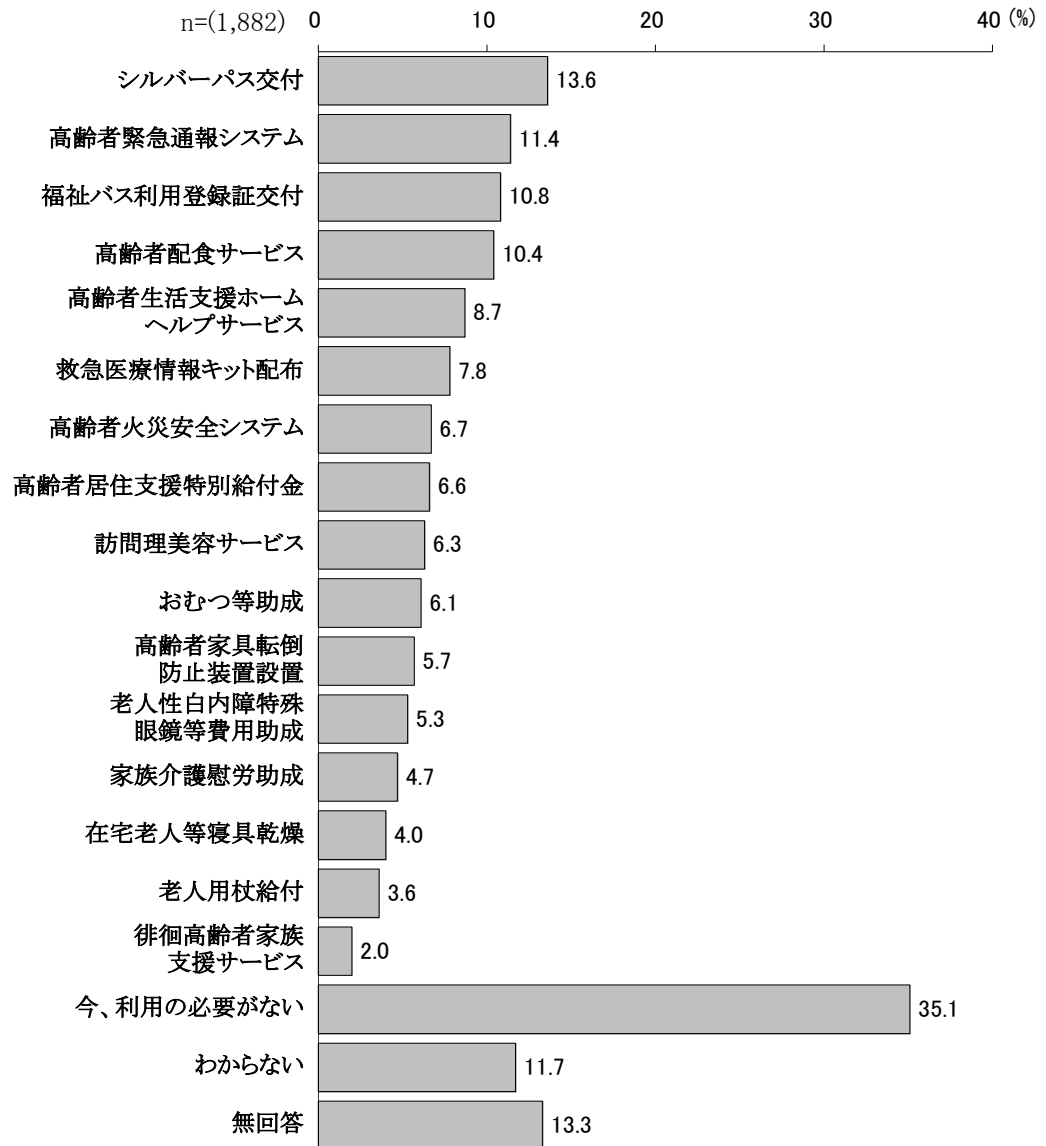
12. 高齢者施策について

(1) 高齢者福祉の在宅サービスの利用希望

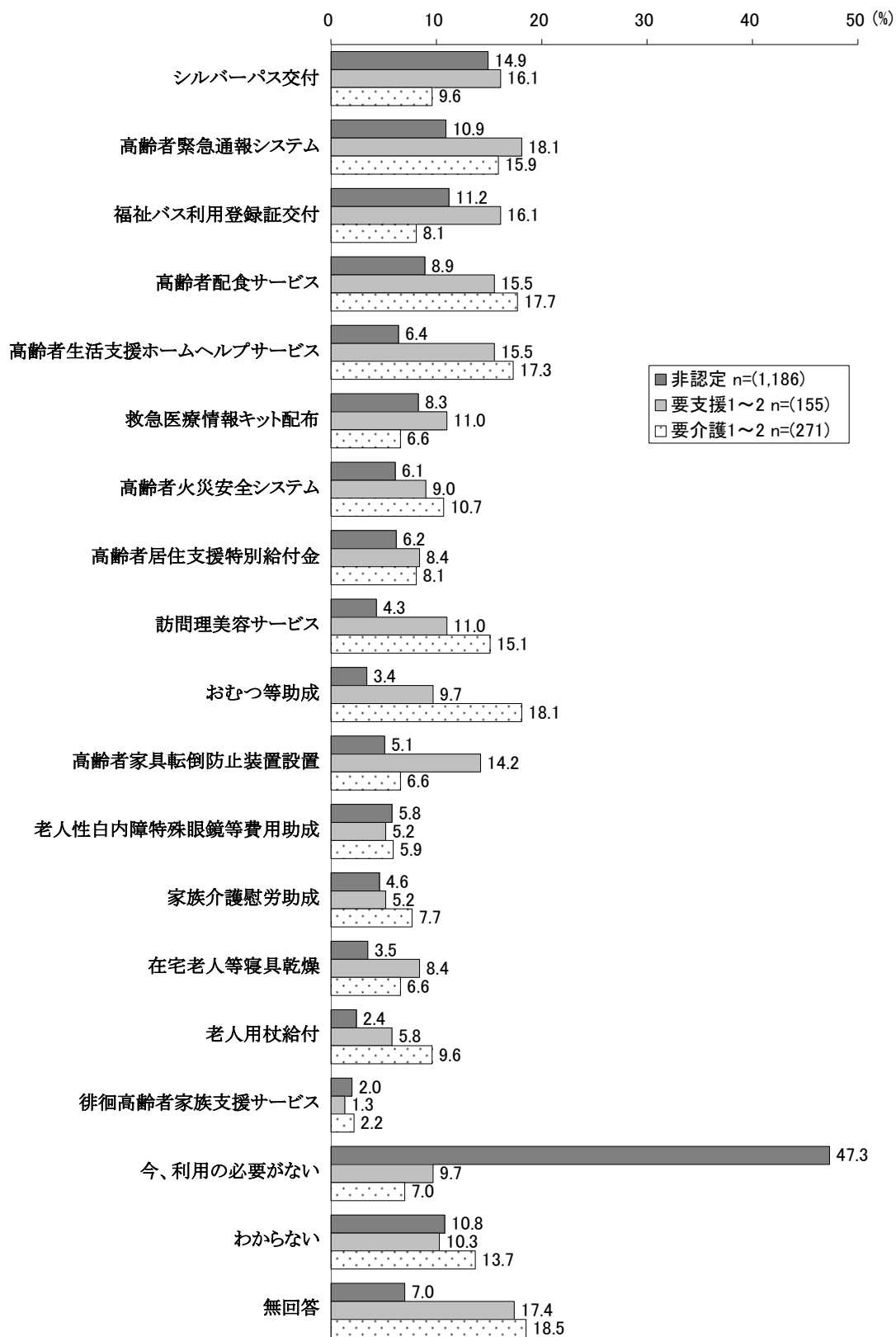
【非認定～要介護2調査のみ】

問45 福生市では介護保険制度以外に次のような高齢者のための在宅サービスを実施していますが、利用したいものはどれですか。[いくつでも○]

全体



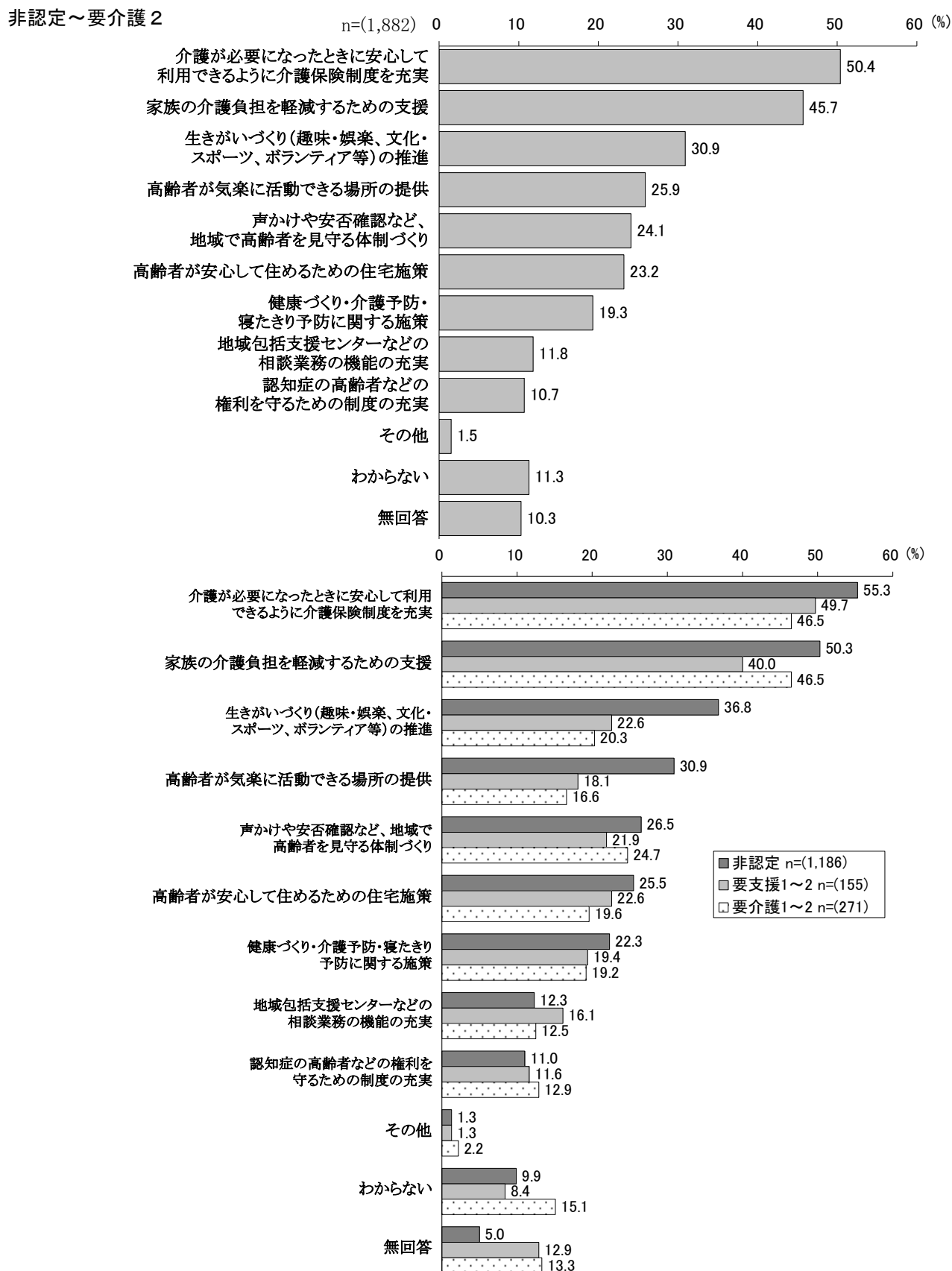
第2章 高齢者生活実態調査結果の詳細



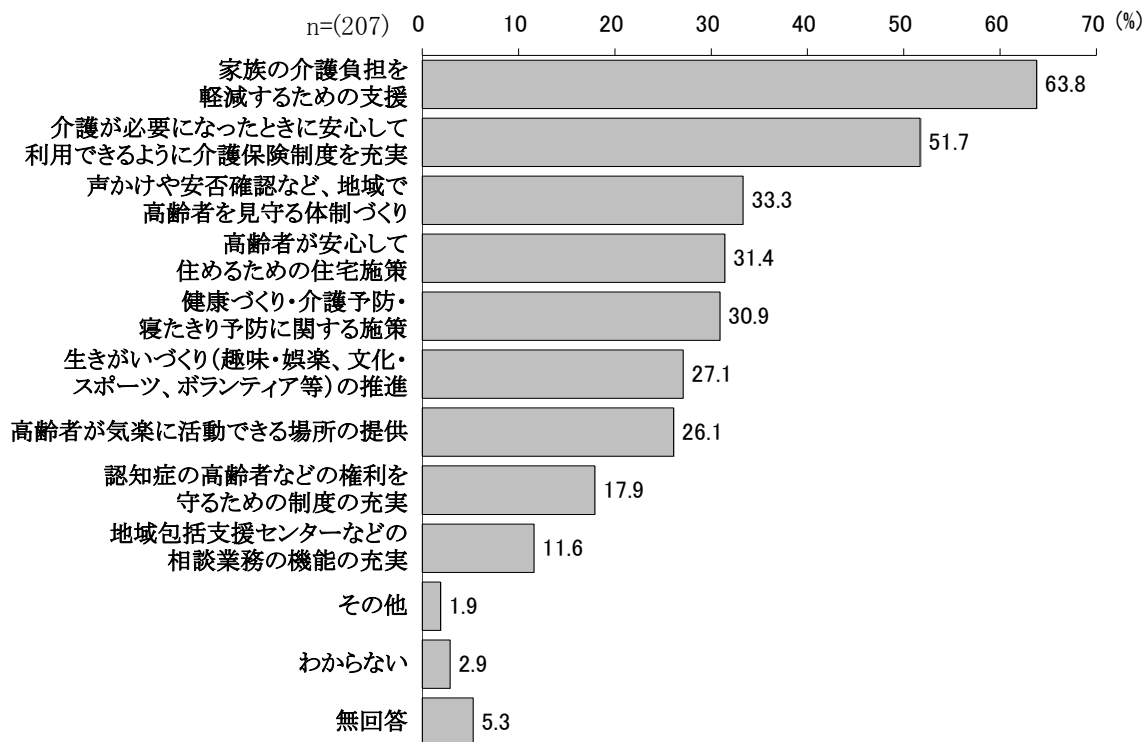
介護保険制度以外の高齢者のための在宅サービスで利用したいサービスは、要支援1～2では、「高齢者緊急通報システム」「シルバーパス交付」「福祉バス利用登録証交付」「高齢者配食サービス」「高齢者ホームヘルプサービス」の割合が多く、要介護1～2では、「おむつ等助成」「高齢者配食サービス」「高齢者生活支援ホームヘルプサービス」と続いています。一方、非認定の4割台後半の方が「今、利用の必要がない」と回答しています。

(2) 高齢者福祉の充実のために必要なこと

問46 高齢者福祉がより充実するために、あなたが必要と思うことは次のうちどれですか。
 [いくつでも○] 【要介護3～5/問22】



要介護3～5



高齢者福祉がより充実するために必要なことについては、非認定、要支援1～2では「介護が必要になったときに安心して利用できるように介護保険制度を充実」が約5割～5割台半ばで最も多く、要介護1～2では「介護が必要になったときに安心して利用できるように介護保険制度を充実」と「家族の介護負担を軽減するための支援」がともに4割台後半となっています。要介護3～5では、「家族の介護負担を軽減するための支援」が6割台前半で最も多く、次いで「家族の介護負担を軽減するための支援」が5割台前半となっています。非認定では、「生きがいがづくり（趣味・娯楽、文化・スポーツ、ボランティア等）の推進」が3割台後半、「高齢者が気軽に活動できる場所の提供」と続いています。要支援1～2では、「生きがいがづくり（趣味・娯楽、文化・スポーツ、ボランティア等）の推進」「高齢者が安心して住めるための住宅施策」が続いており、要介護1～2では、「声かけや安否確認など、地域で高齢者を見守る体制づくり」「高齢者が安心して住めるための住宅施策」と続いています。